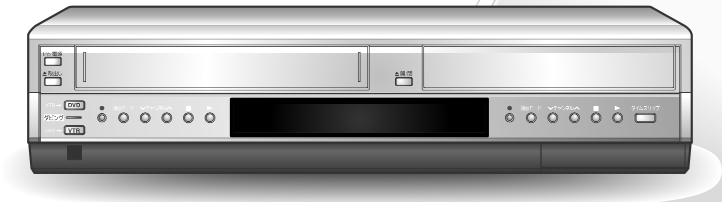
TOSHIBA

東芝VTR一体型DVDビデオレコーダー取扱説明書

形名 **D-VR1**

操作編

最初に「準備編」をお読みください。



- このたびは東芝VTR 一体型DVDビデオレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのVTR 一体型DVDビデオレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。
- インターネットによるオンライン登録または、同梱されておりますユーザー登録ハガキによるユーザー登録にご協力ください。
（インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス
https://www3.toshiba.co.jp/dvd/db/）

もくじ

はじめに ●お使いになる前にお読みください。

■ 安全上のご注意 5
■ ディスクについて 6
ディスクの使い分けのヒント 11
■ビデオカセットテープについて 12
■ 本機について 13
■ 各部のなまえ 14
前面 14
背面 16
リモコン 18
表示窓 20
■ 操作をはじめる前に 22

DVD 録画

■ 録画の前に 30
DVD-RAM/RWディスクの初期化について（論理フォーマット） 32
DVD-RAM物理フォーマットについて 33
文字入力のしかた 34
■ 番組を録画する 36
■ 外部機器から入力して録画する 40
■ 番組を予約録画する（録るナビ） 43
■ Gコード予約 50
■ その他 52
同じ番組の専用ディスクを作る（予約ディスク作成） 52
録画内容を削除する 53
録画内容を保護する 53
技術情報 54

DVD 再生

■再生のしかたや再生時について 56
■ 録画した内容を再生する（見るナビ） 57
■ DVDビデオディスクを再生する 63
トップメニューを使って再生する 64
■ 放送中の番組をとめてあとで見る（TVお好み再生） 65
■ 録画中に録画済みの部分を見る（追っかけ再生） 66
■ いろいろな速さの再生 67
早送り/早戻しする 67
前後のチャプター／トラックへスキップする 68
スローモーションで再生する 68
コマ送り／コマ戻しで再生する 69
静止画をめくる（静止画が記録されたディスクの再生） 69
■ 番号を使ってサーチする 70
番号を指定して頭出しする 70
経過時間を指定して頭出しする（タイムサーチ） 71
■ 子画面で見る（P in P再生） 72
■ アングルを変えて見る 73
■ 字幕の表示と切り換え 74
■ 拡大して見る（ズーム） 75
■ 音声の切り換え 76
■ 動作と設定の状態を画面で確認する 78
状態表示と設定状況表示 78
タイムバーを使う 79
■ クイックメニューで選べる機能 80

DVD 編集

■ 編集の前に 84
■ チャプター作成 87
■ プレイリスト編集（必要な場面を集める） 92
■ サムネイル設定（見るナビの画像を変更する） 97
■ ディスク内ダビング（パーツ単位でダビングする） 100

■一括削除
（パーツをまとめて削除する）............ 102
■オリジナルタイトル結合
（二つのタイトルを一つにする）.......... 104
■DVD-Videoファイナライズ
処理をする.. 106
■DV連動録画
（デジタルビデオカメラの映像を録画する）.... 110

VTR 録画

■テレビ番組を録画する....................... 114
■コマーシャルをカットして録画する..... 116
■Gコードで予約する............................ 118
■内容を指定して予約する.................... 121
■予約内容の確認・修正・取り消し 124
予約内容の確認・修正 124
予約内容の取り消し 126
ジャンルを設定する 127
■いろいろなタイマー予約 128
テープの残量に合わせて録画する
（ジャスト録画）.............................. 128
コマーシャルカットをしながら
タイマー録画する 128
■タイマー予約後に本機を使う、タイマー
録画を途中でやめる 130
タイマー予約後に本機を使う 130
■ナイター延長に備える 131
ナイター延長を設定する
（予約時刻のシフト）...................... 131
ナイター延長をタイマー録画中に
設定する（終了時刻の延長）........... 132
■ダブルナビを使う（録るナビ）............ 133
録るナビデータを登録する 134
録るナビで予約する 135
■外部機器から入力して録画する......... 137

VTR 再生

■テープを見る...................................... 140
テープを再生する 140
テープを早戻しや早送りする 140
留守録したテープを再生する
（留守録再生）................................. 141
■速さを変えてテープを見る 143
テープを見ながら早戻しや
早送りをする 143
2倍の速さで見る（2倍速再生）...... 143
スローモーションで見る
（スロー再生）................................. 144
画像を一時的に止める
（静止画再生）................................. 144
コマ送りで見る（コマ送り再生）.... 144
■コマーシャルを早送りする................. 145
■テープの走行量、残量時間を見る...... 146
■見たい番組を探す 148
頭出し信号の記録 148
見たい番組を頭出ししながら探す
（頭出しサーチ）.............................. 148
番組を指定して探す
（飛越しサーチ）.............................. 149
■音声を切り換える.............................. 150
■ダブルナビを使う（見るナビ）............ 151
見るナビで探す 152

（つづく）

ダビング

■ VTRからDVDへダビングする 154
　VTRからDVDへ簡単ダビングをする . 154
　VTRからDVDへ見るナビダビングをする 155
　VTRからDVDへ手動でダビングをする 157
■ DVDからVTRへダビングする 159
　DVDからVTRへ簡単ダビングをする 159
　DVDからVTRへ見るナビダビングをする 160
　DVDからVTRへ手動でダビングをする 161

ディスク一覧

■ ディスク一覧の使いかた 164
　ディスク一覧の基本操作 164
　別の画質・音質設定を想定してディスクの残量を調べる 165
　目的のディスクを探す 165
　ディスク情報を管理する 166

機能設定

■ 初期設定の変更と機能の設定（DVD） 170
　DVDプレイヤー設定 174
　映像・音声設定 177
　画面表示設定 180
　各種操作設定 181
　録画機能設定 182
　管理設定 184
■ ビデオの機能をお好みに設定する（VTR） 185
　お好みの設定に変える 185
　各設定項目の詳細 187

その他

■ 故障かな…?と思ったら 190
■ 本体表示窓のエラー表示（DVD） 193
■ 録画可能時間一覧表（DVD） 194
■ 言語コード表 195
■ 仕様 196
■ アスペクト比（画面比）について（DVD） 198
■ 索引 200
■ インフォメーション 203
■ 商品の保証とアフターサービス .... 裏表紙

本取扱説明書では、参照していただきたいページを、➡で表しています。➡のページもあわせてご覧ください。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ **表示の説明**

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ **図記号の例**

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	"⃠"は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	"●"は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	"△"は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

別冊(準備編)の安全上のご注意を必ずお読みください。

ディスクについて

録画や再生できるディスクにはいろいろな種類と規格があります。使えるディスクをよくご確認のうえ、正しくお使いください。

お知らせ
- ディスクの取扱いについては、ディスクの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクにマークがあっても、データの作りかたやディスクの状態によって、再生または録画ができない場合があります。

録画／再生ができます

ディスク	マーク（ロゴ）	内容	備考
DVD-RAM	RAM RAM4.7	• **片面4.7GB(12cm)** • **両面9.4GB(12cm)**	8ページ「DVD-RAMディスクについて」をよくお読みください。
DVD-R	R R4.7	• **4.7GB For General Ver. 2.0(12cm)**	9ページ「DVD-Rディスクについて」をよくお読みください。 録画に使った機器やディスクによっては、録画・再生ができない場合があります。
DVD-RW	RW	• **Ver. 1.1(12cm)**	9ページ「DVD-RWディスクについて」をよくお読みください。 録画に使った機器やディスクによっては、録画・再生ができない場合があります。

DVD-RAMディスクは、パッケージに「このディスクは4.7GB DVD-RAMディスクに対応したビデオレコーダーとドライブでご使用いただけます」や「このディスクは1回コピーが許可された映像の記録にも対応しています」などと表示されたディスクを選んでお使いください

■ディスクの上手な使い分け

保存版・録画ライブラリづくりには「DVD-RAM」。
世界標準のDVD-VR（Video Recording）規格に準拠した録画方式に対応。フレーム単位の再生範囲指定やチャプター分割、不要部分の削除、画質劣化のない繰り返し録画ができるため、エアチェック用に最適です。また、カートリッジ付きなので、長期保存や家族での利用が安心なほか、9.4GBの両面ディスクで省スペースなライブラリづくりができます。

配付用オリジナルディスクづくりには「DVD-R」。
DVDプレーヤーとの互換性を持つ世界標準のDVD-Video規格に準拠し、記録できます。本機でDVD-Rを作成して友人に配付したり、交換したりする際に便利です。
また、書き換えできる「DVD-RW」も同様に使用できます。
＊DVD-Video規格の制限により、コピーワンスの番組は録画できません。二カ国語放送の番組は主音声または副音声しか録画できません。このため、テレビ番組の保存には不向きな場合があります。
＊本機でのDVD-R/RWディスクへの録画は、DVD-Videoモードだけに対応しており、DVD-VRモードでは録画できません。

本機で録画したDVD-RAM/R/RWディスクはすべての機器での再生を保証するものではありません。また、他の機器で録画したDVD-RAM/R/RWディスクのすべてを本機で再生できることを保証するものではありません。

再生だけができます

ディスク	マーク（ロゴ）	内容	備考
DVDビデオディスク	DVD VIDEO	• 12cm／8cm • リージョン番号が2およびALL • 映像方式：NTSC	本機のリージョン（地域）番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。
DVD-RW	DVD RW	• 12cm • DVD-VRモード	コピーフリー以外の番組を記録した映像を再生することはできません。 また、ディスクによっては、再生できない場合があります。
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	• 12cm／8cm • 映像方式：NTSC • バージョン1.0およびバージョン2.0	
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	• 12cm／8cm	
CD-R CD-RW	COMPACT disc COMPACT disc	• 12cm • CD-DA（音楽用CD）フォーマット	ディスクによっては、再生できない場合があります。

• 本機で録画・再生できる映像方式はNTSC方式です。
• 市販されているDVDビデオディスクであっても再生できないことがあります。その場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までお問い合わせください。（連絡先は裏表紙に記載されています。）

DVD-RAMディスクについて

■**本機はDVD-RAM規格Version2.0または2.1に準拠したDVD-RAMディスクだけが使用できます**
この規格に準拠していないDVD-RAMディスクはそのままでは使用できません。他の規格でフォーマットされたものをご使用になる場合は、本機のディスク初期化機能で初期化してお使いください。

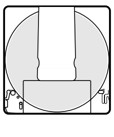
●規格に準拠したDVD-RAMディスクでも、他社の機器やパソコンで記録／編集されたもの、タイトル数が非常に多かったり空き容量が少ないものなどは、録画・編集・ダビングなどができない場合があります。また、静止画を含むタイトルなども編集やダビングができない場合があります。

●パソコンでUDF2.0で初期化されたDVD-RAMディスクは、DVD-RAM規格Version2.0に準拠しておりませんので、必ず本機で初期化し直してからお使いください。

●本機は著作権保護技術を使用しています。「このディスクは、1回コピーが許可された映像の記録にも対応しています。」などと表示されたディスクを使用すれば、一度だけコピーが許可された映像の録画ができます。表示がないDVD-RAMディスクでは、一度だけコピーを許された映像であっても録画できません。
また、ディスク一覧機能をご利用になる場合にも、同表示のあるディスクが必要です。

■**本機には、カートリッジDVD-RAMディスク(市販品)をお使いになることをお勧めします**

●DVD-RAMには、カートリッジ付きとカートリッジなしがあります。本機はどちらにも対応しておりますが、カートリッジ付きをお使いになることをお勧めします。



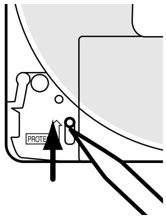
●非常に精密な情報を記録しますので、ディスクに指紋やほこりがわずかでも付くと、正常に録画・再生・編集・初期化ができなくなることがあります。カートリッジ付きのほうが指紋やほこりが付きにくいので、安定した録画・再生・編集ができます。

●カートリッジのシャッターは手であけないでください。中のディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでもはいると、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。

●カートリッジには、中のディスクが取り出せるもの(TYPE2／4)と取り出せないもの(TYPE1)があります。取り出せるものでも、カートリッジにはいった状態でお使いになることをお勧めします。
どうしても取り出したい場合は、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

●市販品の中には、カートリッジからディスクを取り出すと、録画・編集できなくなるものがあります。

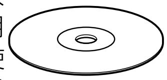
●**録画内容を誤って消さないために**
カートリッジには録画を禁止する機能が付いています。
ライトプロテクトタブ(誤消去防止用のつまみ)を先の細いもので「PROTECT」側にしてください。再生はできますが、録画や消去はできなくなります。ディスクの説明書もご覧ください。



• 「PROTECT」側にしてあるディスクは、本機の「タイトル毎レジューム再生」(➡58ページ)が働かなくなります。

■**カートリッジなしディスク(市販品)を使うときには**

●カートリッジなしディスクは、指紋やキズなどが付きやすいため、使用はお勧めできません。やむなくご使用になる場合は、指紋やほこりを付着させないように、十分気をつけて取り扱ってください。



●ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書く場合は、必ず先の柔らかいペンを使ってください。ボールペンなど先のとがった硬いものは使わないでください。

■**推奨ディスク**＊
Panasonic LM-AB120(4.7GB／120分)
Panasonic LM-AD240(9.4GB／240分)

●万一、何らかの不具合が発生した場合でも、録画／編集ができなかった内容の補償、録画／編集されたデータの損失、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような場合に発生した不具合も含まれます。
・本機で録画したDVDディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作(挿入、再生、録画、編集など)させた場合。
・前述の動作を行なったDVDディスクを、再び本機で動作させた場合。
・他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したDVDディスクを本機で動作させた場合。
●PC用のディスクではディスク一覧機能など一部の機能が正常に働かない場合があります。

DVD-Rディスクについて

■規格

●DVD-R for General Ver.2.0/2.1は録画・再生が可能です。

●2倍速記録対応ディスク(Ver.2.1/2Xなどの表記があります。)や4倍速記録対応ディスク(Ver.2.1/4Xなどの表記があります。)も使用できます。

●ビデオ用、録画用、120minなどの表示があるディスクを選んでください。

●DVD-R for authoring Ver.1.1は使用できません。

■録画条件

●録画が禁止または制限されている映像(コピー禁止やコピーワンス)は、録画できません。ディスクにCPRM対応と表示があっても、本機ではコピーフリーのものしか録画できません。

■推奨ディスク*

太陽誘電　DR47V-TP
太陽誘電　DVDR-V120TY

■確認済ディスク*

Panasonic LM-RF120(4.7GB／120分)

DVD-RWディスクについて

■規格

●DVD-RW Ver.1.1と表示されたディスクが使用できます。

●2倍速記録対応ディスク(Ver.1.1/2Xなどの表記があります。)も使用できます。

●ビデオ用、録画用、120minなどの表示があるディスクを選んでください。

■録画条件

●録画が禁止または制限されている映像(コピー禁止やコピーワンス)は、録画できません。ディスクにCPRM対応と表示があっても、本機ではコピーフリーのものしか録画できません。

●DVD-VRモードの記録はできません。

■推奨ディスク*

ビクター・JVC VD-RW120B
ビクター・JVC VD-RW120D

＊ 推奨ディスク、確認済ディスクについて
動作確認はしておりますが、すべてのディスクの動作を保証するものではありません。

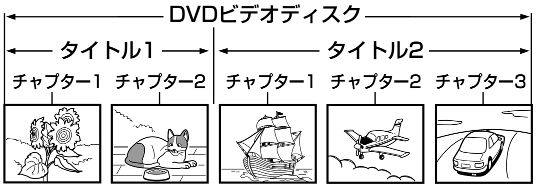
DVDビデオディスクについて

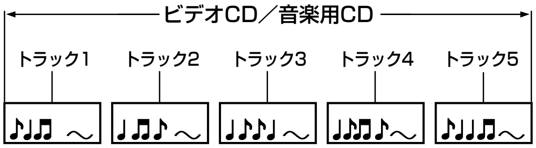
DVDビデオディスクのジャケットに表記されている例を紹介します。

マーク例	内容
2	収録されている音声の数を表わしています。(本例では、日本語、英語などのような2種類の音声が収録されています。)
2	収録されている字幕の数を表わしています。(本例では、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています。)
3	収録されている撮影角度(マルチアングル)の数を表わしています。(本例では、3種類の角度で収録されています。)
4:3	横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。
LB	レターボックス(横：縦＝4：3で上下に黒帯がはいっている画面)で記録されていることを示します。
16:9 LB	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビではレターボックスで再生するように指定されていることを示します。
16:9 PS	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビではパン＆スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生するように指定されていることを示します。 テレビに映し出される映像の縦横比は、テレビの画面サイズ(横：縦)やテレビの画面モードによって異なります。

ディスクの内容の区分

一般に、DVDビデオディスクに収録された内容は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCDと音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。





タイトル： DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。

チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。

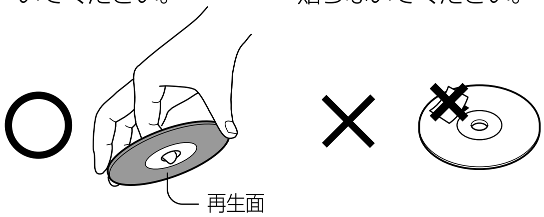
トラック： ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

DVD-RAM/R/RWディスクに録画をした場合、1回の録画を一つの「タイトル」とみなします。

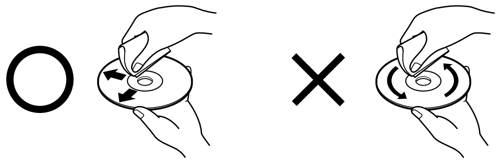
ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。
● ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクのお手入れのしかた

● ディスクに付いた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



● よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
● シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

ディスクの使い分けのヒント

本機での特性と機能をディスク別にまとめた概要です。ディスクを選ぶときに参照してください。

	DVD-RAMディスク	DVD-RWディスク	DVD-Rディスク
本機での特性	番組の繰り返し録画、お気に入りの映像集の保存などに向いています。コピーが1回許された映像の保存も対応ディスクを使用すれば可能です。	映像を記録して、DVDビデオディスクとして配付・再生する場合などに向いています。 記録済みのディスクも、内容を削除したり、すべて消去するなどして繰り返し書き込みができます。	映像を記録して、DVDビデオディスクとして配付・再生する場合などに向いています。 記録済のディスクに、他のDVDプレーヤーでも再生できるための処理(「DVD-Videoファイナライズ処理」)をした後は、内容の追加・修正・削除などは一切できません。
はじめてお使いになるとき	そのままお使いいただけますが、初期化をお勧めします。	ディスクの初期化が必要です。	そのままお使いいただけます。
録画する	○	○	○
録画した番組を削除する	○	○ ただし、ディスクに「DVD-Videoファイナライズ処理」をした後は、先にファイナライズを解除してから削除してください。	○ ただし、削除しても空き容量は元へ戻りません。 また、ディスクに「DVD-Videoファイナライズ処理」をした後では、削除は一切できません。
番組をさらに追加して録画する(追記)	○	○ ただし、ディスクに「DVD-Videoファイナライズ処理」をした後は、先にファイナライズを解除してから録画してください。	○ ただし、ディスクに「DVD-Videoファイナライズ処理」をした後では、追記はできません。
録画した内容に見出しを付ける タイトル名変更 サムネイル設定	 ○ ○	 ○ ○ ただし、ファイナライズ後はタイトル名変更やサムネイル設定などはできません。	 ○ ○ ただし、ファイナライズ後はタイトル名変更やサムネイル設定などはできません。
見たい場面を集める(プレイリスト編集)	○	×	×
プレイリストに沿って映像集を作る(ディスク内コピー)	○	×	×
本機で録画した内容を他の機器で再生する (動作を保証するものではありません。)	お使いになる機器がDVD-RAM対応機器であれば再生できます。その機器の取扱説明書にしたがって操作してください。	本機で「DVD-Videoファイナライズ処理」をしてください。処理後は、お使いになる機器がDVDビデオ対応機器であれば再生できます。(一部再生できない機種もあります。)	本機で「DVD-Videoファイナライズ処理」をしてください。処理後は、お使いになる機器がDVDビデオ対応機器であれば再生できます。(一部再生できない機種もあります。)
メッセージが出てディスクが使えないときは	初期化をしてください。初期化しても使えない場合は、DVD-RAM物理フォーマットもお試しください。	初期化をしてください。	―

ビデオカセットテープについて

カセットテープの取り扱いについて

本機やカセットテープは、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、以下の点をお守りください。

■ **ご使用前には、必ずテープの品質をお確かめください。**
品質の悪いテープを使用すると、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品をよごしたり傷つけたりして、故障の原因になります。

■ **品質の悪いテープの例**
- ほこりやカビなどでよごれたテープ
- ジュースや水などの液体が付いたテープ
- 波打ったりクシャクシャになったりしているテープ
- セロハンテープでつなぐなど、加工されたテープ
- たるんでいるテープ

■ **品質の悪いテープを使用すると**
ビデオヘッドがよごれ、再生をしたときに、画像が乱れたりテレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。このようなときは、ビデオヘッドのクリーニングをしてください。

■ **カセットの扱いかた**
- 新しいテープを使用するときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使用してください。
  新しいものはテープどうしが貼り付いている場合がありますので、早送り、巻き戻ししてほぐしてから使用することをお勧めします。
- ムラのある巻き取り状態はテープを傷めます。もう一度巻き直してください。
- 使用後は、テープを始端まで巻き戻しておいてください。
- 冬の屋外など寒いところから、急に暖かい部屋にテープを持ち込むと、テープに露(結露)が付くことがあります。そのまま使用するとテープを傷めますので、部屋の温度になじませて、露が取れてからお使いください。
- 磁気を持っているものに近づけないでください。
  磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたりすることがあります。
- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。
- カセットテープはほこりが付着しないようケースに入れ、テープたるみを起こさないよう立てて保管してください。
- テープを次のようなところに置かないでください。
  - ほこりの多いところ
  - 高温になるところ(推奨温度：15℃～25℃)
  - 温度差が激しいところ
  - 湿度の高いところ(推奨湿度：40%～60%)
  - 湯気や油煙の出るところ
  - 冷暖房機器に近いところ
  - 自動車のダッシュボードの中

使用カセットテープについて

本機は VHS 規格のＶＴＲ機器です。VHS マーク・S-VHS マークの付いたテープ以外は使用できません。
本機にはS-VHS簡易再生機能が付いています。S-VHSビデオで録画されたテープを再生することができますが、S-VHS本来の高解像度、高画質は得られません。

本機について

デジタルAVについて

本機は、従来の家電製品と異なり、複雑なソフトウェアで構成される「デジタルAV」製品です。本機の内部には、DVD-RAM/R/RWドライブが内蔵されています。これらのハードウェアは、パソコンと同様にオペレーティングシステム（OS）を介して、内部のプログラム（ソフトウェア）で制御されます。このため、電源を入れてから動作をするまでに、時間がかかります。また、録画内容の削除などの操作のときにも、時間がかかる場合があります。

再生するときの制約

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

録画するときの制約

市販されているコピーが禁止されたDVDビデオディスク、ビデオCD、音楽用CD、ビデオテープの内容を、本機でコピーすることはできません。
録画が制限されていないものは、個人使用の範囲内でだけ、コピーや編集ができます。1回コピーが許可された映像（コピーワンス）は、DVD-RAMディスクへの録画はできますが、ダビングやその他の編集が制限されます。また、DVD-R/RWディスクへの録画はできません。

ソフトウェアの変更について

本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていただいたお客様には当社判断により案内をさせていただく場合がありますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。ユーザー登録についてのご案内は、本取扱説明書表紙をご覧ください。

ビデオヘッドのクリーニングについて

いつもきれいな画像を見るためのお手入れのしかたです。

■ **再生画面がざらついているときには、クリーニングテープをお使いください。**
ビデオヘッドがよごれると、テレビ番組はきれいに映るのに、ビデオを再生すると次のような症状が出ることがあります。

- 画像がざらついている
- 画像が不鮮明
- 画像が出ない（単色の背景色が出る）

録画・再生をすると、ビデオヘッドが少しずつよごれてきます。
再生中に、テレビ画面に「クリーニングテープをおためしください」の表示が出たときは、ビデオヘッドがよごれています。ビデオヘッドをクリーニングしてください。

■ **クリーニングテープについて**
市販の乾式クリーニングテープをご利用ください。
クリーニングテープを使用しても効果がない場合のクリーニングは技術を要しますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

正常な画像

ビデオヘッドがよごれているときの画像

初期 → 末期

このような画像になったらクリーニングテープをお使いください。

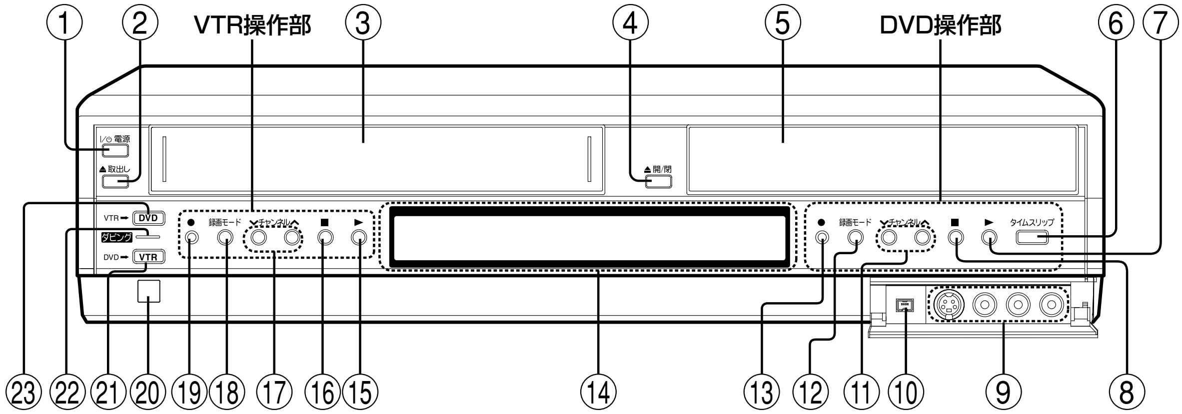
■ **ビデオヘッドは長時間使用すると摩耗します。**
クリーニングしても鮮明な画像が戻らない場合は、ビデオヘッドが摩耗していることがあります。
このような場合はビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 湿式のクリーニングテープを使用すると故障の原因となることがあります。
- 古くなったテープをお使いになるとヘッドがよごれやすくなり、画面がざらつきやすくなりますので、クリーニングテープをお使いください。
- トラッキングがずれているときでも、上記の症状が出ることがあります。この場合は、トラッキングを調整してください。「画面をきれいにする」（➡141 ページ）をご覧ください。

各部のなまえ

詳しくは➯のページをご覧ください。

前面



① 電源ボタン ➯22、23ページ
電源を入／待機にします。

② 取出しボタン ➯25ページ
ビデオテープを取出します。

③ テープ挿入口 ➯24ページ
ビデオテープを入れます。

④ 開／閉ボタン(⏏)
➯23、24ページ
ディスクトレイを開閉します。

⑤ ディスクトレイ ➯23ページ
DVDドライブにディスクを入れます。

⑥ タイムスリップボタン ➯65、66ページ
タイムスリップモードに切り換えます。

⑦ 再生ボタン(►) ➯63ページ
DVDディスクの再生を開始します。

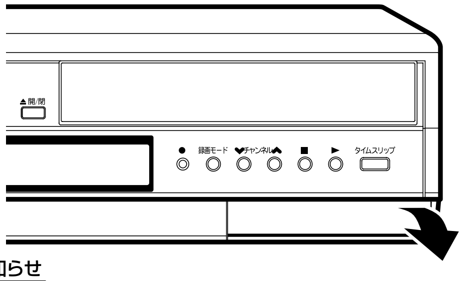
⑧ 停止ボタン(■) ➯39、58ページ
DVDディスクの再生や録画を停止します。

⑨ 入力2端子(VTR/DVD共用) ➯40、137ページ
ビデオデッキやカメラ一体型ビデオなどから映像・音声をダビングするときに使います。

⑩ DV端子 ➯110ページ
DVデジタルビデオカメラなどから映像・音声をDVDディスクにダビングするときに使います。

⑪ チャンネルボタン➯22、36ページ
DVD側のチャンネルを選択します。

■前面扉のあけかた／閉めかた
扉の右側から指で前方向に倒して扉を開きます。



お知らせ
- 扉をあけた状態で、扉に力を加えたり、扉の上にものを載せたりしないでください。破損や故障の原因になります。

⑫ **録画モードボタン**⇨37ページ
DVD側の録画モード(画質モード)を選択します。

⑬ **録画ボタン(●)**⇨37ページ
DVDディスクの録画を開始します。

⑭ **表示窓**⇨20ページ

⑮ **再生ボタン(►)**⇨140ページ
ビデオテープの再生を開始します。

⑯ **停止ボタン(■)**⇨115、140ページ
ビデオテープの再生や録画を停止します。

⑰ **チャンネルボタン**⇨22、114ページ
VTR側のチャンネルを選択します。

⑱ **録画モードボタン**⇨114ページ
VTR側の録画モード(標準／3倍)を選択します。

⑲ **録画ボタン(●)**⇨114ページ
ビデオテープの録画を開始します。

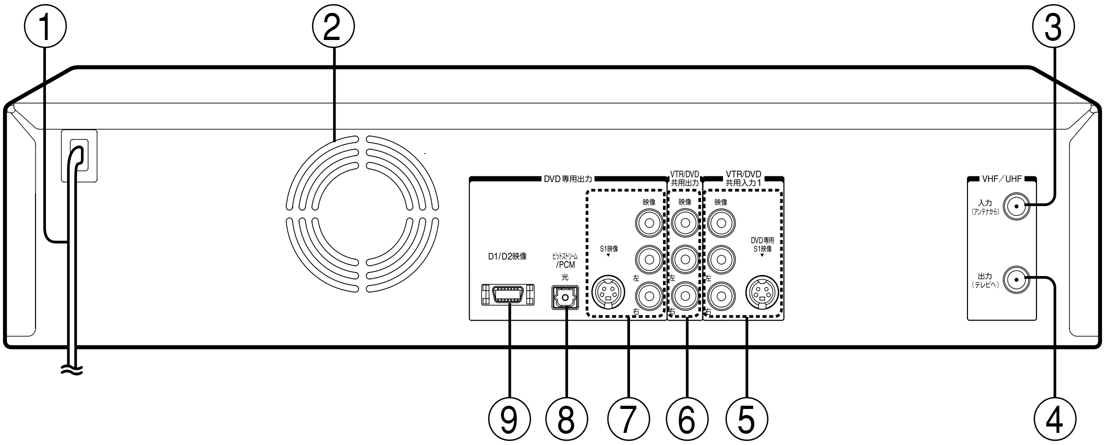
⑳ **リモコン受光部**⇨準備編14ページ

㉑ **DVD➡VTRダビングボタン**⇨159ページ
DVDからVTRへダビングを開始します。

㉒ **ダビングインジケーター**⇨156、159ページ
VTR⟷DVDダビングしているときに点灯します。

㉓ **VTR➡DVDダビングボタン**⇨156ページ
VTRからDVDへダビングを開始します。

背面



① 電源コード

② 冷却用ファン
通風孔をふさがないでください。

③ VHF/UHF入力端子 ⇨準備編16ページ
テレビのアンテナ線を接続します。

④ VHF/UHF出力端子 ⇨準備編16ページ
テレビのアンテナ入力端子と接続します。

⑤ VTR/DVD共用入力1端子 ⇨40、137ページ
CSデジタルまたはBSデジタルチューナー、他のビデオやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声を入力します。

BSデジタルのワイド放送を録画するには、S1映像端子に接続してください。チューナー側の設定が正しくない場合や、映像端子(黄)で接続している場合にはアスペクト情報(画面比)が正しく検出されないことがあります。

S1映像端子はDVD側専用の入力端子です。

⑥ **VTR/DVD共用出力端子**
➡準備編18、23ページ

テレビやAVアンプに映像・音声信号を出力します。

リモコンの出力切換ボタンで、DVD側の出力とVTR側の出力を切り換えられます。

⑦ **DVD専用出力端子**
➡準備編19、20、23ページ

テレビやAVアンプに映像・音声信号を出力します。
DVD側専用の出力端子です。DVD/VTR出力切換(➡22ページ)に関係なく、DVD側の映像と音声が出力されます。

⑧ **ビットストリーム／PCM光音声出力端子**
➡準備編24、25ページ

光デジタル音声信号を出力します。デコーダー内蔵AVアンプなどの光デジタル音声入力端子と接続します。

光デジタルケーブルを接続するときは、形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。

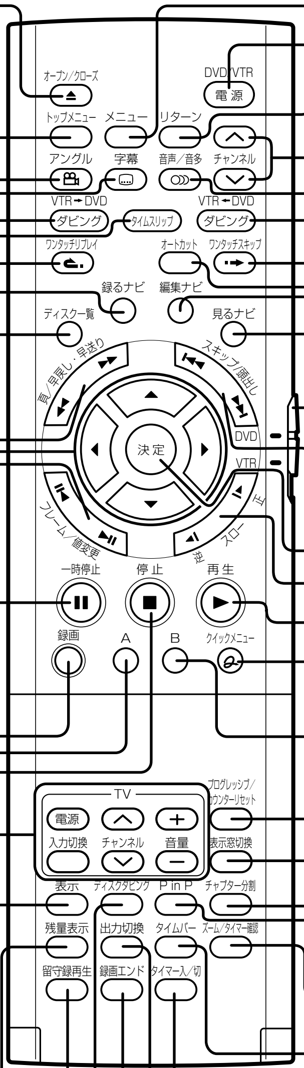
DVD側専用の出力端子です。DVD/VTR出力切換(➡22ページ)に関係なく、DVD側の音声だけが出力されます。

⑨ **D1/D2映像出力端子➡準備編20ページ**

テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにD1/D2端子があるときに接続します。
DVD側専用の出力端子です。DVD/VTR出力切換(➡22ページ)に関係なく、DVD側の映像だけが出力されます。

リモコン

(おもて面)



オープン/クローズ ボタン ⇨23、24ページ

トップメニュー ボタン ⇨64ページ

アングル ボタン ⇨73ページ

字幕 ボタン ⇨74ページ

VTR→DVDダビング ボタン ⇨ 156ページ

タイムスリップ ボタン ⇨65、66ページ

ワンタッチリプレイ ボタン ⇨67、142ページ

録るナビ ボタン ⇨ 43、135ページ

ディスク一覧 ボタン ⇨164ページ

頁/早戻し・早送り ボタン ⇨57、67、140ページ

方向（▲/▼/◀/▶）ボタン ⇨57、170ページ

フレーム/値変更 ボタン ⇨43、69ページ

一時停止 ボタン ⇨39、58、115、144ページ

録画 ボタン ⇨37、114ページ

A ボタン ⇨57ページ

停止 ボタン ⇨ 39、58、115、140ページ

テレビの操作に使います。⇨準備編56ページ

表示 ボタン ⇨78ページ

残量表示 ボタン ⇨31ページ

留守録再生 ボタン ⇨141ページ

ディスクダビング ボタン ⇨101ページ

メニュー ボタン *1

電源 ボタン ⇨22、23ページ

リターン ボタン *2

チャンネル ボタン ⇨22、36、114ページ

音声/音多ボタン⇨76､150ページ

DVD→VTRダビング ボタン ⇨159ページ

ワンタッチスキップ ボタン ⇨67、142ページ

オートカット ボタン ⇨116ページ

編集ナビ ボタン ⇨92､102ページ

見るナビ ボタン ⇨57、97、152ページ

DVD/VTR操作切換スイッチ ⇨22、155、156ページ

スキップ/頭出し ボタン ⇨68、148ページ

決定 ボタン ⇨57、145ページ

スロー ボタン ⇨68、144ページ

再生 ボタン ⇨63、140ページ

クイックメニュー ボタン ⇨26、36、155ページ

B ボタン ⇨89、170ページ

プログレッシブ/カウンターリセット ボタン ⇨準備編20ページ

表示窓切換ボタン⇨20､146ページ

チャプター分割 ボタン ⇨87、158ページ

P in P ボタン ⇨72ページ

ズーム/タイマー確認 ボタン ⇨75、121ページ

タイムバー ボタン ⇨79ページ

タイマー入/切 ボタン ⇨122ページ

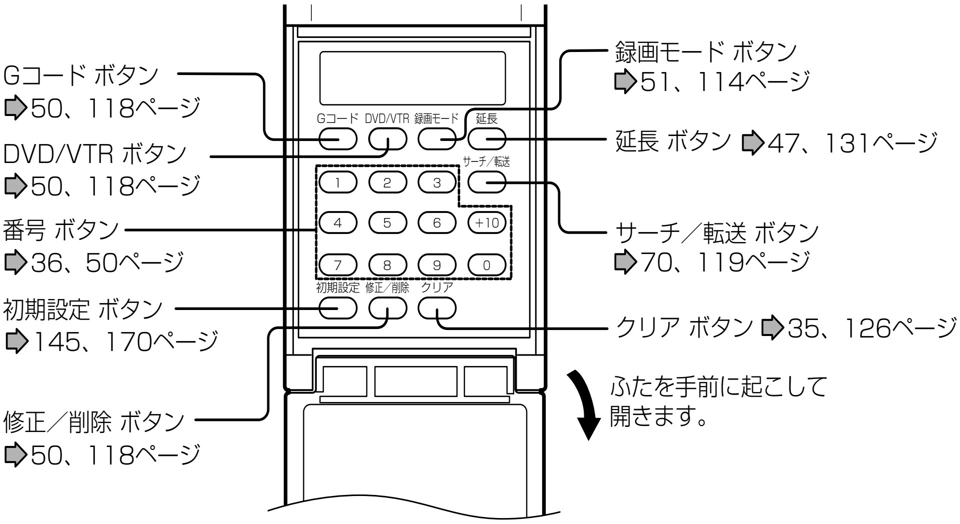
出力切換 ボタン ⇨22、140ページ

録画エンド ボタン ⇨115、152ページ

*1 メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使って再生する」（➡64ページ）と同様の手順で行ないます。
ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

*2 リターンボタン
ディスクで指定された画面に戻ります。
ディスクの説明書もご覧ください。

（ふたの中）



● **DVD/VTR操作切換スイッチについて**

DVD側を操作するとき：「DVD」側にしてください。

VTR側を操作するとき：「VTR」側にしてください。

● **リモコンのボタン名の色について**

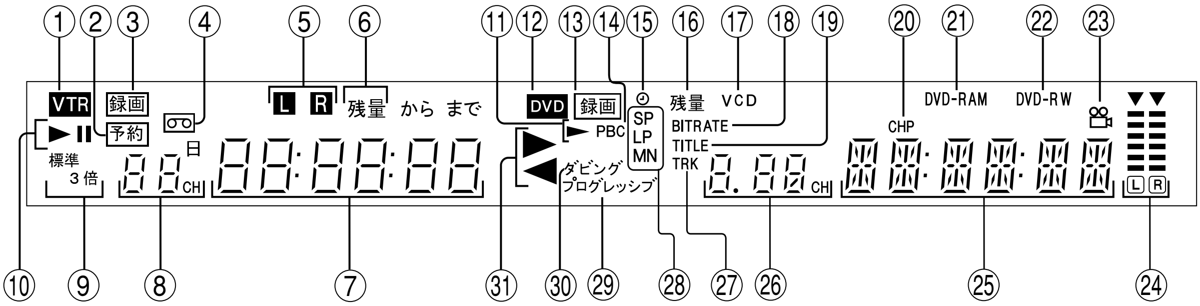
橙色：DVD側だけ使用できます。

黒色：VTR側だけ、または共通で使用できます。

• ふたの中のボタン名については、この色分けはありません。

● **電源ボタン、Gコードボタン、VTR→DVDダビングボタン、DVD→VTRダビングボタンは、DVD/VTR操作切換スイッチに関係なく、操作できます。**

表示窓



■ 表示窓の見かた

表示窓切換

リモコンの「表示窓切換」ボタンを押すと、表示が切り換わります。
DVD側：チャンネル表示、タイトル経過時間、タイトル番号、時刻表示など
VTR側：テープ走行量、テープ残量、時刻表示
ディスクや録画されている状態によって表示が切り換わらないことがあります。

① **VTR表示**
VTR出力モードになっているときに表示されます。

② **VTR予約録画待機アイコン表示 ⇨130ページ**
VTR側で予約録画の待機中に表示されます。

③ **VTR録画アイコン表示**
VTR側で録画しているときに表示されます。

④ **カセット表示⇨24ページ**
ビデオカセットテープがはいっているときに表示されます。

⑤ **VTR音声出力表示⇨150ページ**
VTR側の音声出力の種類を表示します。
L+R：ステレオまたは二重放送(主+副)
L：左チャンネル(主音声)
R：右チャンネル(副音声)
L、R消灯：モノラル

⑥ **ビデオ残量表示⇨146ページ**
ビデオカセットテープの録画可能な残量時間を表示しているときに点灯します。

⑦ **VTRマルチ表示⇨146ページ**
VTR側の現在の時刻、経過時間、残量、録画予約時刻、メッセージなどを表示します。

⑧ **VTRチャンネル表示**
VTR側のチャンネル、外部入力などを表示します。

⑨ **VTR録画モード⇨114ページ**
VTRで録画するときの録画モードが表示されます。

⑩ **VTR走行表示**
VTRの走行状態を表示します。

⑪ **DVD再生表示**
DVDの再生操作中に表示されます。

⑫ **DVD表示**
DVD出力モードになっているときに表示されます。

⑬ **DVD録画アイコン表示**
DVD側で録画しているときに表示されます。

⑭ **PBC表示**

「PBC」(➡177ページ)が「入」で、PBC付きビデオCDがはいっているときに点灯します。

⑮ **DVD録画予約アイコン表示➡39ページ**

DVD側で録画予約があるときに点灯します。

⑯ **DVD残量表示**

DVDディスクの録画可能な残量時間を表示しているときに点灯します。

⑰ **VCD／CD表示**

VCD：ビデオCDがはいっているときに点灯します。

CD　：CDがはいっているときに点灯します。

⑱ **ビットレート表示**

録画時の設定されたビットレート値、または再生時の実際のビットレート値を表示しているときに点灯します。

⑲ **タイトル表示**

タイトル番号を表示しているときに点灯します。

⑳ **チャプター表示**

チャプター番号を表示しているときに点灯します。

㉑ **DVD-RAM表示**

DVD-RAMが使用されているときに表示されます。

㉒ **DVD-RW/DVD-R表示**

DVD-RWが使用されているときはDVD-RWと表示され、DVD-Rが使用されているときはDVD-Rと表示されます。

㉓ **アングルアイコン表示 ➡73ページ**

マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点滅します。

㉔ **DVD音声出力レベルメーター**

DVD側のアナログ音声の出力レベルを表示します。

L＋R：ステレオまたは二重放送(主＋副)
L：左チャンネル(主音声)
R：右チャンネル(副音声)
L、R消灯：モノラル

レベルメーター表示はあくまでも目安であり、正確に音量を表示するものではありません。

㉕ **DVDマルチ表示**

DVD側の現在の時刻、経過時間、残量、録画予約時刻、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

㉖ **DVDチャンネル表示**

DVD側のチャンネル、外部入力、タイトル番号、トラック番号、ビットレートなどを表示します。

㉗ **トラック表示**

トラック番号を表示しているときに点灯します。

㉘ **画質モード表示 ➡37ページ**

現在選ばれている画質モードが点灯します。

MN(マニュアル=任意)／SP(スタンダード・プレイ=標準)／LP(ロング・プレイ=長時間)／ジャスト(自動)のときは「MN」「SP」「LP」の三つが同時に点灯します。

㉙ **プログレッシブ表示**

プログレッシブ方式で信号が出力されているときに点灯します。

㉚ **ダビング表示**

VTRからDVDまたはDVDからVTRへダビング中に点灯します。

㉛ **ダビング方向表示**

ダビング中の方向を表示します。

操作をはじめる前に

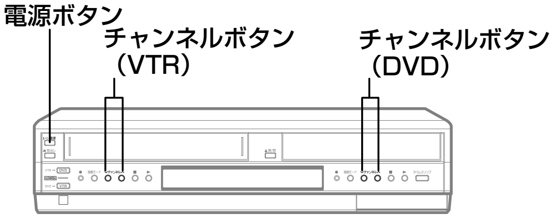
■ 準備はお済みですか？

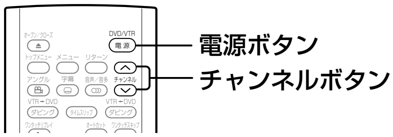
- 別冊の「準備編」をご覧になり、必要な準備を済ませてください。
- テレビやオーディオシステムなど、接続機器の電源を入れ、本機をつないでいる入力に切り換えてください。

■ 電源の入れかた

（本書は、本体および本体に接続した機器（テレビなど）の電源がすべてはいっていることを前提に説明しています。）

電源を入れるには、本体の「電源」ボタンまたはリモコンの「電源」ボタンを押します。





電源がはいると、しばらくしてスタートアップ画面が表示されます。
次に画面の右上に「Loading」アイコンが表示されます。

例

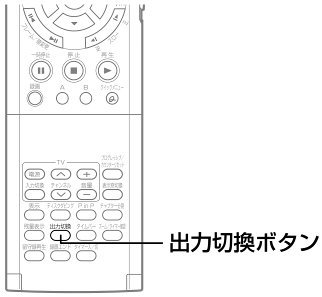
このアイコンが消えると、本機は操作できる状態になります。ディスクがはいっている状態では、ここまでの起動時間が若干長くなる場合があります。

お知らせ

- はじめて電源を入れたときは、DVD出力モード（DVD側の映像を出力している状態）になりますが、次回からは電源を切った状態がDVD出力モードかVTR出力モードかによって、電源を入れたときの出力モード（表示される画面）が変わります。
- スタートアップ画面と「Loading」アイコンは、DVD出力モードのときに表示されます。

■ DVD/VTR出力切換について

リモコンの出力切換ボタンを押して、DVD側の出力映像、音声（DVD出力モード）とVTR側の出力映像、音声（VTR出力モード）を切り換えられます。

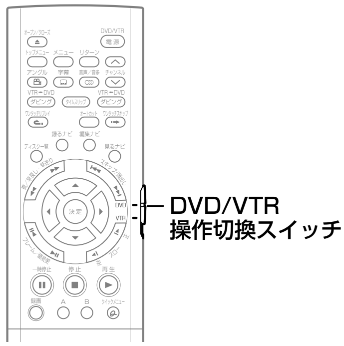


お知らせ

- DVD専用出力端子（➡17ページ）からは、出力切換に関係なくDVD側の映像、音声が出力されます。

■ DVD/VTR操作切換について

リモコンのＤＶＤ／ＶＴＲ操作切換スイッチを「DVD」側にするとDVD側の操作を、「VTR」側にするとVTR側の操作ができます。
本書では、DVD側の操作をDVDモード、VTR側の操作をVTRモードと記述しています。



■ 本機を通してテレビを見る

本機の電源がはいったあとは、通常はテレビに放映中の映像が出ています。（再生を止めたときも、画面はテレビの映像になります。）
このときは、本機やリモコンの「チャンネル」ボタンで見たいチャンネルが選べます。

■ 電源の切りかた

本体の「電源」ボタン、またはリモコンの「電源」ボタンを押します。

画面右上に「Unloading」アイコンが表示され、電源が切れて待機状態になります。

ご注意

- 動作中または待機状態に切り換わった直後に停電したり電源プラグをコンセントから抜いた場合は、DVDディスクに録画できなくなる場合があります。
  万一そのような状態になった場合、ディスクによっては本機のディスク初期化機能で初期化すれば、録画できるようになりますが、そのときには録画されていた内容はすべて消去されてしまいますので注意してください。
- 本機で使用したときに異常を示すアラート(警告)表示が出るDVD-RAMディスクを、本機以外の機器で録画／再生すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので注意してください。ディスクを初期化して正常な状態に戻した場合は問題なく使用できます。
- 本機が操作中に止まってしまい、何も動作しなくなった場合は、15分以上放置してみてください。操作ができるようになる場合があります。そのあとは、いったん電源を切り、再度電源を入れてお使いください。15分以上放置しても回復しない場合は、本体のDVD側の「停止」ボタンを、10秒以上押し続けてください。本機が強制的に終了処理をして、電源が切れますから、もう一度電源を入れてお使いください。(この処理は緊急的なものであり頻繁に行なわないでください。データが消去されたり破壊される場合もあります。)(15分の放置が有効に働くのは、「ブラウン管保護」(➡180ページ)が「入」に設定してあるときにかぎります。)

お知らせ

- DVD-RAM/R/RWドライブが動作しなくなった場合、ただちに本機の使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。異常なままで使用していると、破損の程度が進み、修理に時間と多額の費用がかかる場合があります。
- 「電源」ボタンを押したとき、DVD側で録画中の場合は、録画を中止して電源を切るかどうかのメッセージが表示されます。DVD/VTR切換スイッチを「DVD」側にして、「はい」または「いいえ」を選んでください。
- 予約録画などの「終了後電源切る」の設定をしても、終了時にVTRのテープが動作中の場合は、自動的に電源は切れません。

■ ディスクの入れかた

本機で使用できるディスクをご確認のうえ、正しくお使いください。(➡6、7ページ)

⚠注意

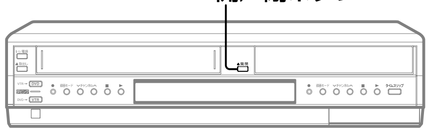
- ディスクトレイに、手を入れないこと。
  指をはさみ、けがの原因となることがあります。
  特にお子様がいるときにはご注意ください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。

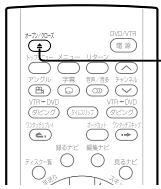
禁 止

1 ディスクトレイをあける

本体の「開／閉」ボタンを押すまたはリモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側(DVDモード)にして、「オープン／クローズ」ボタンを押します。

開／閉ボタン





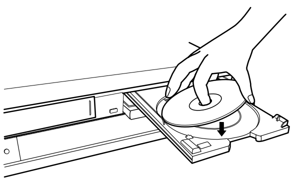
オープン／クローズボタン

2 ディスクを入れる

カートリッジなしのディスク

再生面を下にして置きます。

再生するディスクによってはディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因になります。



ディスクは、内側の溝に合わせて置いてください。

(つづく)

（つづき）

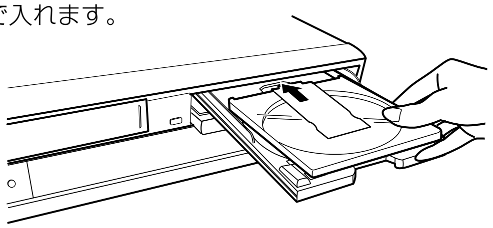
TYPE1/TYPE2/TYPE4カートリッジDVD-RAMディスク

片面ディスク

印刷がある面を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。

両面ディスク

記録／再生する面の表示を上にして、矢印を奥に向け、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。



3 **ディスクトレイを閉める**

本体の「開／閉」ボタンまたはDVDモードでリモコンの「オープン／クローズ」ボタンを押します。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、本体またはリモコンのボタン操作で行ってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが閉まる途中で止まった場合、保護処理機能により自動的にもう一度出てきます。止まった状態で無理に閉めようとすると、破損する可能性がありますのでご注意ください。
- 万一ディスクがトレイから取り出しできなくなった場合は、いったん本機の電源を切り、その後本体の「開／閉」ボタンまたはDVDモードでリモコンの「オープン／クローズ」ボタンを押すことによって、本機の電源がはいり、ディスクトレイがあく場合があります。この操作を行なってもディスクが取り出せない場合は本取扱説明書の裏表紙に記載の「東芝家電修理ご相談センター」までご相談ください。

■ トレイロック機能

ディスクトレイがあかないようにロックすることができます。

リモコンのＤＶＤ／ＶＴＲ操作切換スイッチを「DVD」側にして、リモコンの「一時停止」ボタンを約3秒以上押し続ける

ロックを解除するときも、停止中に「一時停止」ボタンを約3秒以上押し続けます。

お知らせ

- 電源を切ったときはロックが解除されます。

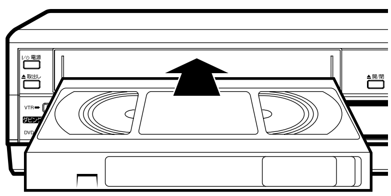
■ テープの入れかた

⚠注意

- テープ挿入口に手や異物を入れないでください。
  ケガや故障の原因になります。
  特にお子様にはご注意ください。

手を挟まれないよう注意

1 **テープを入れる**

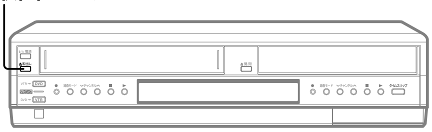


- テープの見える面を上にしてください。
- 自動的に電源がはいり、カセット表示が点灯します。

■ テープの取り出しかた

1 本体の「取出し」ボタンを押す

取出しボタン

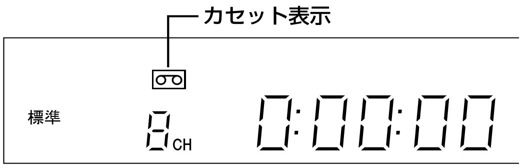


- テープを取り出します。
- 電源が「切」のときでも、電源が「入」になり、テープが出ます。

お知らせ

- テープの出し入れのときは、カセット表示が点滅します。

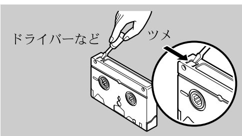
例



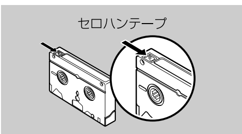
■ 録画内容の保護と解除

大切な録画済みテープを間違って消さないために、テープには「誤消去防止用ツメ」が付いています。

- 「ツメ」を折っておくと、録画ができません。



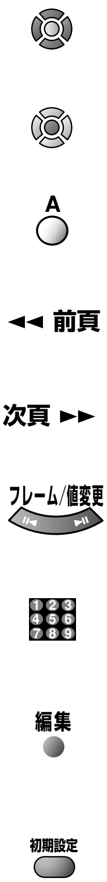
- 再び録画できるようにするには、「ツメ」を折った穴の上にセロハンテープを二重に貼ります。



■ GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)の使いかた(DVDモード)

DVD側で再生するとき、録画するとき、あるいは好みで設定を変えるときなど、本機のDVD関係のほとんどの機能は、専用の画面表示が用意されていて、その上で操作ができるようになっています。
おもな操作方法は、画面下部の「操作ガイド」をご覧ください。リモコンのボタンの使いかたを、絵表示でお知らせしています。

例



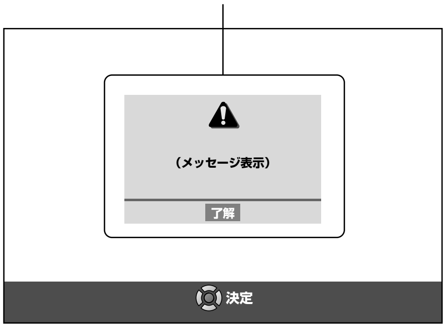
絵表示の例		おもな機能
	方向ボタン	項目を選びます。
	「決定」ボタン	選んだ項目や設定内容を決定します。
A	「A」ボタン	表示内容を切り換えます。
◄◄ 前頁	「頁(◄◄)」ボタン	前のページの表示に戻ります。
次頁 ►►	「頁(►►)」ボタン	次のページの表示へ進みます。
フレーム/値変更	「値変更」ボタン	数値を変更したり設定を切り換えます。
123 456 789	番号ボタン	数値を入力します。
編集	「編集ナビ」ボタン	「編集ナビ」画面を表示/終了します。
初期設定	「初期設定」ボタン	機能設定画面を表示/終了します。

■ メッセージが現れたら

操作中、メッセージ画面が表示されることがあります。状況により内容は異なりますが、おもに以下のように操作してください。

メッセージ画面

例



例

選択項目が2つ

方向ボタン(◀/▶)でどちらかを選んだあと(緑色で選択)「決定」ボタンを押してください。
メッセージ画面が消えます。

選択項目が1つ

内容を確認したら「決定」ボタンを押してください。
メッセージ画面が消えます。

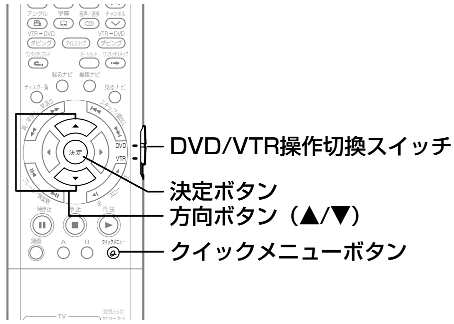
選択項目なし

自動的に消えます。

■ クイックメニューの使いかた(DVDモード)

本機の機能を幅広く利用するには、クイックメニューが簡単で便利です。クイックメニューとは、再生中、録画中など、状態ごとに関連する機能を一覧表示するもので、ボタンひとつで呼び出せます。VTR側の操作では、クイックメニューは表示されません。

● クイックメニューの基本操作

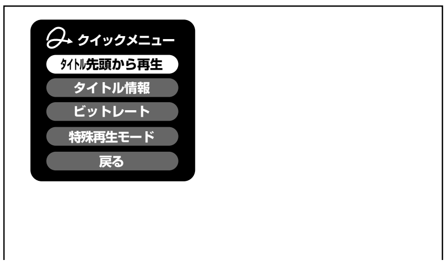


1）DVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側にする

2）「クイックメニュー」ボタンを押す

以下のような画面(「クイックメニュー」)が表示されます。(表示内容は本機の使用状況によって異なります。)

クイックメニューの例



3）方向ボタン(▲/▼)で項目を選び「決定」ボタンを押す

●クイックメニューを途中で消すには

もう一度「クイックメニュー」ボタンを押す

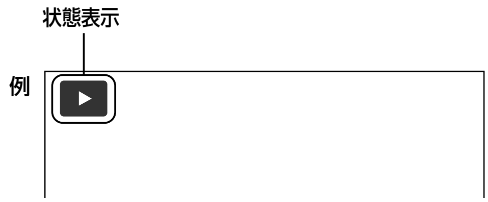
または

「戻る」を選んで「決定」ボタンを押す

■ 状態表示

● DVDモード

操作をすると、以下のようなマークが画面に約3秒間表示され、動作の状態を示します。



おもな状態表示
(ディスクによっては該当しないものがあります。)

- ▶ : 再生
- II : 一時停止
- ■ : 停止
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- ▶▶I : 進む方向のスキップ(頭出し)*
- I◀◀ : 戻る方向のスキップ(頭出し)*
- I▶x1/2 : 進む方向のスローモーション
- ◀Ix1/2 : 戻る方向のスローモーション
- II▶ : コマ送り
- ◀II : コマ戻し
- ● : 録画
- ●II : 録画一時停止
- タイトルエンド : タイトルの最後まで再生したときに表示
- ▪➡ : ワンタッチスキップ
- ⮌ : ワンタッチリプレイ
- チャプター分割 : チャプター分割
- 1/20 : 進む方向の1/20スキップ
- 1/20 : 戻る方向の1/20スキップ

* マークと同時に以下も表示します。

DVD-RAM DVD-R DVD-RW :
タイトル番号/タイトル名およびチャプター番号/チャプター名

DVD-VIDEO : タイトル番号およびチャプター番号

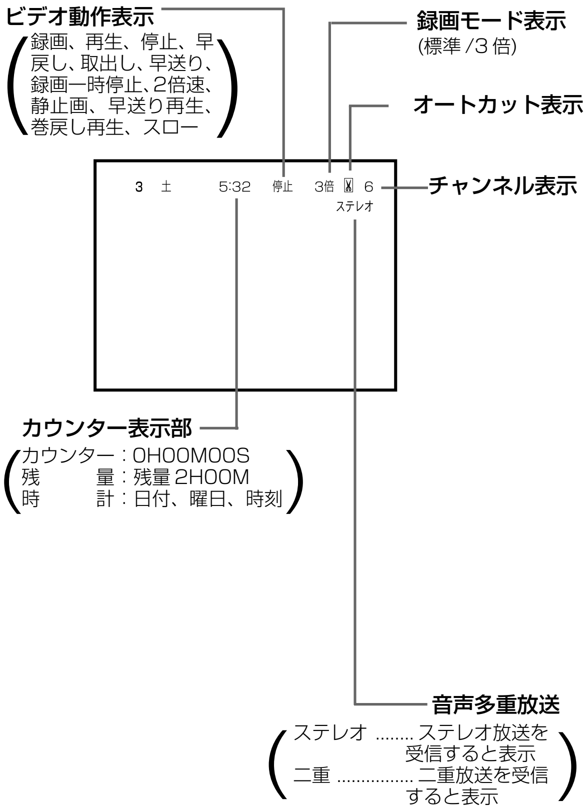
VCD CD : トラック番号

お知らせ

- 状態表示が出ないようにしたいときは、DVDモードの初期設定で「画面表示」(➡180ページ)を「切」に設定します。
- 経過時状態表示のほかに、設定の状況などを追加して表示させることもできます。➡78ページをご覧ください。

● VTRモード

操作をすると、以下のような表示が画面に約5秒間出ます。



お知らせ

- この画面表示が出ないようにしたいときは、VTRモードの機能設定画面の「画面表示」(➡187ページ)を「切」に設定します。

■ 起動時／終了時のアイコン表示

起動時／終了時に画面右上に出るアイコンには以下のようなものがあります。（DVD出力モード）これらが表示されている間は、本機はそれぞれ以下の処理をしています。

起動・ディスクの読み込み・録画終了

ディスクの取り出し・終了

トレイの引き出し

トレイの収納

本取扱説明書について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表しています。

- DVD-RAM ：DVD-RAMディスク
- DVD-RW ：DVD-RWディスク
- DVD-R ：DVD-Rディスク
- DVD-VIDEO ：DVDビデオディスク
- VCD ：ビデオCD
- CD ：音楽用CD

また、操作方法は特にことわりのないかぎり、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使いかたも同じです。

本章での操作は、リモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側(DVDモード)にして行なってください。

録画中にコピーガード信号を検出した場合には、録画は自動的に一時停止し、画面にはメッセージが表示されます。この状態は「一時停止」ボタンを押しても解除できません。(「停止」ボタンで録画を停止させることはできます。)コピーガード信号が継続して検出されると録画を停止します。

DVD 録　画

ディスクに録画をしてみましょう。

- 録画の前に
- 番組を録画する
- 外部機器から入力して録画する
- 番組を予約録画する（録るナビ）
- Gコード予約
- その他

録画の前に

本機で録画するときに知っておきたい情報です。録画の前にお読みください。

従来のビデオデッキでは、録画するにはテープが必要でしたが、本機はDVD-RAM/R/RWディスクに録画ができますので、テープの巻き戻しや録画する位置を確認するなどの手間がいらず、すぐに録画がはじめられます。さらにDVD-RAMディスクを使えば、録画した内容を編集して、必要なところだけをライブラリとして残すことができます。

■ 準備はお済みですか？

テレビ番組を録画する際は、録画したいチャンネルが本機で受信できていることを事前にご確認ください。
録画したいチャンネルが本機を通して映らないときは、別冊の「準備編」をもう一度お読みになり、接続や各設定が正しく行われているかお調べください。
また、本機の時計の時刻設定が済んでいないと、あらゆる録画ができません。初期設定で時刻設定を済ませてください。

ご注意

- 本機の録画にはDVD-RAM規格Version2.0または2.1に準拠したDVD-RAMディスクだけが使用できます。ただし、規格に準拠している場合でも、複雑な記録がされているDVD-RAMディスクには、記録されているデータを保護する意味で追加の録画ができないことがあります。記録済みのDVD-RAMディスクに録画を追加する場合は、事前に、録画ができるか／残量時間が表示されるかを確認し、それらが問題なくできていれば録画用のディスクとして使用できます。重要な録画には、新しいDVD-RAMディスクのご使用をお勧めします。

■ ディスク初期化について

DVD-RAM/RWディスクは、新品でもはじめて使う前にディスクを初期化してください。初期化することによって、本機で使用するディスクとして情報を管理することができるようになります。

DVD-Rディスクは、初期化は不要です。

DVD-RAM/RWディスクの初期化については⇨32ページをご覧ください。

DVD-RAMディスクを初期化しても使用できない場合、初回設定で「DVD-RAM物理フォーマット」をすることで使用できるようになる場合があります。

物理フォーマットのしかたは⇨33ページをご覧ください。

■ DVD-RAMディスクに録画するときは

本機で録画できるディスクを確認のうえご用意ください。（⇨6、7ページ）

ディスクによっては、本機に入れたときに初期化が必要な場合があり、メッセージでお知らせします。画面の指示にしたがって初期化をすると、本機で録画や再生ができるようになります。
なお、パソコンなどで初期化したディスクは、使用できない場合があります。

■ DVD-RWディスクに録画するときは

本機で録画できるディスクを確認のうえご用意ください。（⇨6、7ページ）

ディスクによっては、本機に入れたときに初期化が必要な場合があり、メッセージでお知らせします。画面の指示にしたがって初期化をすると、本機で録画や再生ができるようになります。
なお、パソコンなどで初期化したディスクは、使用できない場合があります。

DVD-RWディスクに録画したあと、他の機器で再生するには、ファイナライズ処理をしてください。（⇨106ページ）
ただし、ファイナライズ処理をすると、追記できなくなります。追記したい場合は、ファイナライズを解除してください。（⇨109ページ）

- 本機以外で録画したDVD-RWディスクのファイナライズ・ファイナライズの解除・データの追記はできません。
- DVD-VRモードで記録されたディスクへの追記や編集はできません。
- 本機以外で録画した未ファイナライズのディスクは認識できません。間違えて初期化をしないようにご注意ください。

■ DVD-Rディスクに録画するときは

本機で録画できるディスクを確認のうえご用意ください。(➡6、7ページ)

DVD-Rディスクに録画したあと、他の機器で再生するには、ファイナライズ処理をしてください。(➡106ページ)
ただし、ファイナライズ処理をすると、追記できなくなります。

- いったんファイナライズをしたディスクは、ファイナライズを解除することはできません。
- 本機以外で録画したDVD-Rディスクのファイナライズ・データの追記はできません。

■ DVD-R/RWディスク書き込み可能回数上限

ディスクによっては、100回程度書き込みを行うと、ディスクにそれ以上書き込みができなくなることがあります。その場合でも、ディスクにすでに記録済みのデータを見るナビ表示(再生)することができます。

■ ディスクの空き容量を調べる

1)「残量表示」ボタンを押す

画面の下側に、現在の残量が表示されます。本体表示窓にも残量が表示されます。

2) 残量を確認したら、もう一度「残量表示」ボタンを押して表示を消す

お知らせ
- ディスクの空き容量は、「録るナビ」画面の「クイックメニュー」から「残量計算」を選んでも調べられます。(➡48ページ)

■ 予約録画について

待機状態や、再生・録画・編集中でも、予約録画開始時刻になると、自動的に電源を入れたり、それまでの動作を中断して予約録画を開始します。

■ 他の動作中に録画予約時刻になったときは

本機では基本的に、予約録画の実行が最優先されます。現在、録画ボタンを押して録画していても、録画予約の開始時刻になると、現在の録画を停止して、予約された録画をします。

■ 録画予約時刻が重なったときは

前の録画が終わらなくても、次の予約の開始時刻になると次の録画が始まります。
DVD-RAMディスクに録画している場合は、次の録画開始時刻の約15秒前に先の録画が終了します。
DVD-RディスクやDVD-RWディスクに録画している場合は、終了処理のため約2分前に録画が終了します。終了処理のあいだは、DVD-RディスクやDVD-RWディスクの操作はできません。

DVD側とVTR側で録画予約時刻が重なっても別々に録画が実行できます。

ご注意
- 録画終了後、画面右上に「Loading」のアイコンが表示されます。これは録画終了処理(記録管理情報を記録する)をしていることを示すもので、この表示が消えるまでチャンネル切換以外の操作を受け付けません。録画終了処理時間は録画時間やディスクの使用量によって異なります。
- 録画中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけたり、録画内容が読み出せなくなることがあります。
- 本機動作中に、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した場合には、録画内容がすべて消えることがあります。
- 予約録画の開始時刻約5分前以降に、停電したり停電が復帰した場合には、その予約録画が実行されない場合があります。

録画の前に(つづき)

DVD-RAM/RW ディスクの初期化について（論理フォーマット）

**本機ではじめてDVD-RAM/RWディスクをお使いになるときは必ずお読みください。
DVD-Rディスクの場合、初期化は不要です。**

次のような場合はディスクの初期化が必要です。
（メッセージでお知らせする場合もあります。）

例：

- 本機ではじめてDVD-RAM/RWディスクをお使いになるとき(新品のディスクなど)
- 録画／削除を繰り返して、不要なデータがディスクに蓄積したとき
- エラーなどディスクにトラブルが起きたとき
- パソコン用のDVD-RAMディスクも、この初期化をすると、本機での録画用としてお使いになれます。(➡8ページ)

初期化という処理をすると、ディスクが論理的にフォーマットし直され、ディスク本来の性能と容量を最大限に利用できるようになります。ただし、初期化をすると、それまで記録されていたデータは、すべて消去されますので、使用中のディスクの初期化をする場合は、事前に記録内容を確認して、消去されても差し支えないことを確認してください。

■ 初期化のしかた

初期化するディスクを本機に入れてください。
ディスクの入れかたは、➡23ページをご覧ください。

1) 停止中に、「クイックメニュー」ボタンを押す

以下のような画面(「クイックメニュー」)が表示されます。(表示内容は本機の使用状況によって異なります。)

例

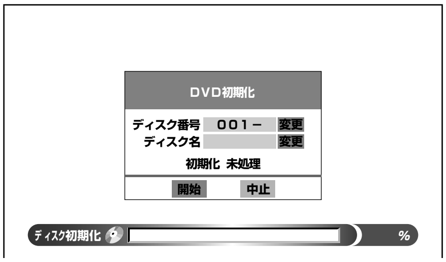
2) 方向ボタン(▲/▼)で、「ディスク管理」を選び、「決定」ボタンを押す

右側にサブメニューが表示されます。

例

3) 方向ボタン(▲/▼)で、「DVD初期化」を選び、「決定」ボタンを押す

例



ディスク番号

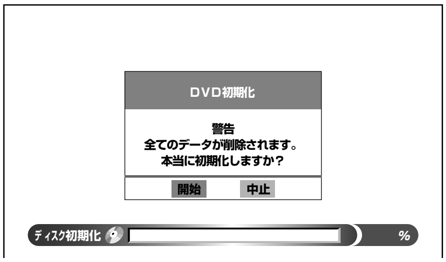
ディスクは初期化時に、管理のため自動的に番号が割りふられますが、好きな番号(3桁まで)と、両面ディスクの区別用に、AB面を任意に付けることができます。(DVD-RWディスクでは、ディスク番号は設定できません。)

(1) 方向ボタン(▲/▼)でディスク番号の「変更」を選び、「決定」ボタンを押す
(2) 方向ボタン(▲/▼)を押して数字を選ぶ
(3) 方向ボタン(◀/▶)を押して桁を移動する
(4) (2)と(3)を繰り返す
(5) 「決定」ボタンを押す

ディスク名

お好みでディスク名をつけられます。
(1) 方向ボタン(▲/▼)でディスク名の「変更」を選び、「決定」ボタンを押す
文字入力画面が表示されます。
(2) 「文字入力のしかた」(➡34ページ)にしたがってディスク名を入力する
(3) 「A」ボタンを押して文字入力画面を消す

4) 方向ボタンで「開始」を選び、「決定」ボタンを押す



5) 方向ボタンで「開始」を選び、「決定」ボタンを押す

初期化が始まります。

初期化が終わると、画面が消えます。

DVD-RAM 物理フォーマットについて

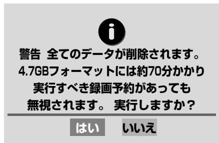
物理フォーマットをすることで、使用できない(何度初期化しても正しく認識されなかったり、使用しているうちに認識されなくなった)DVD-RAMディスクが、使用できるようになる場合があります。(使用可能になることを保証するものではありません。)
「DVD-RAMディスクの初期化」は管理情報という一部のデータを書き換えるだけですが、「DVD-RAM物理フォーマット」はディスク内のデータすべてを書き換えるので、非常に時間がかかります。
4.7GB片面のDVD-RAMディスクで約70分かかり、「DVD-RAM物理フォーマット」を実行中は、予約録画や他の機能は、処理が終了するまで働きません。また、DVD-RAMディスクに記録されていたすべての情報は消去されます。この機能を使用する前には十分に注意してください。

1) 停止中に、「初期設定」ボタンを押す

2) 方向ボタン(◀/▶)で「管理設定」を選び、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「DVD-RAM物理フォーマット」を選び、「決定」ボタンを押す

4) メッセージ画面が表示されたら、方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押して実行する



中止する場合は「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 終了後自動で電源を切るか、フォーマットを本当に実行してよいかのメッセージ画面が表示されたら、方向ボタン(◀/▶)で「はい」または「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押して実行する

お知らせ

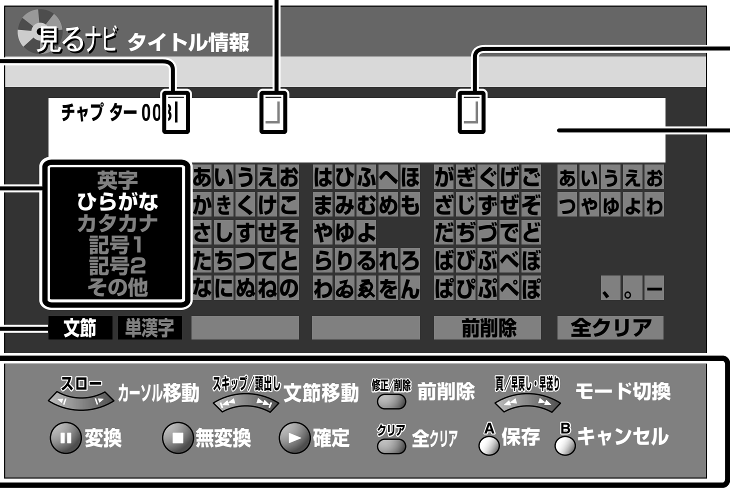
- ディスクがよごれている状態で「DVD-RAM物理フォーマット」をすると、物理フォーマットに失敗する場合があります。また、物理フォーマットに失敗しない場合でも、記録に失敗しやすいディスクになります。必ず事前によごれを確認し、必要に応じてディスクをクリーニングしてください。傷やクリーニングをしても取り除けないよごれがある場合、物理フォーマットはしないでください。
- 次のようなDVD-RAMディスクに効果が期待できます。
  - 物理フォーマットが正しくされていないディスク
  - ディスク上のよごれやほこりなどが原因で、書込みエラーが多く発生し、追加記録ができなくなったり、通常の初期化ができなくなったディスク
- 途中で物理フォーマットに失敗した、または中止したディスクを使用する場合は、物理フォーマットを最初からやり直す必要があります。
- ディスク内部の欠陥数が、本機の管理上限を超えた場合、物理フォーマットをしても使用できません。
- 物理フォーマットでエラーが発生すると、表示窓に「ERR－01」が表示されます。
  このエラーメッセージを消すときは、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

録画の前に(つづき)

文字入力のしかた

ディスク名やタイトル名・チャプター名を画面上のソフトウェアキーボードから入力できます。

例



カーソル
これよりも左側に文字が入力されます。

文字入力モード
反転しているのが、現在選ばれている入力モードです。

「英字」、「カタカナ」モードのときは、「半角」または「全角」が選べます。

「見るナビ」画面で1行目に表示される目安位置を表します。

「見るナビ」画面で表示できる最大文字数を表します。

文字入力欄
入力途中の文字や選んだ文字などが表示されます。

操作ガイド

■ リモコンのボタンと操作ガイド

文字はおもにリモコンの方向ボタンを使って入力します。その他に使うボタンは画面下部の操作ガイドでお知らせします。

例

- スロー：左右にカーソルの位置を移動します。
- 1～9：数字を入力します。
- 修正/削除：カーソルより左にある文字を、一文字ずつ削除します。
- クリア：入力欄にある文字を、すべて削除します。
- 頁/早戻し・早送り：入力するモードを切り換えます。
- A：入力欄の文字を保存して、前の画面に戻ります。
- B：文字入力をキャンセルして、前の画面に戻ります。
- スキップ/頭出し：変換する文字群の変換単位を、前後に移動します。
- ❚❚：ひらがなを漢字に変換します。
- ■：ひらがなを漢字に変換しないで、ひらがなのまま決定します。
- ▶：変換した漢字を決定します。

■ 入力モードを切り換える

文字を入力する前に、「頁(◀◀/▶▶)」ボタンを押して、入力モードを選びます。
選べるモードは以下の六つです。

「**英字**」：
アルファベットや数字を入力できます。

「**ひらがな**」：
ひらがなを入力できます。入力したひらがなは漢字に変換できます。

「**カタカナ**」：
カタカナを入力できます。

「**記号1**」、「**記号2**」、「**その他**」：
特殊な文字や、絵記号などを入力できます。

お知らせ

- 「文節移動」、「変換」、「無変換」、「確定」は、ひらがなモード以外では使用できません。
- 文字入力モードは、方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押しても切り換えられます。

■ 文字を入力する

カーソルの左側に文字がはいっている場合があります。不要であれば、次のいずれかの方法で文字を削除してください。

文字削除のしかた
- 文字入力欄の文字をまとめて削除する
  方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で「全クリア」を選び、「決定」ボタンを押す
  またはリモコンのふたをあけて「クリア」ボタンを押す
- カーソルの左側の文字を1字削除する
  方向ボタンで「前削除」を選び、「決定」ボタンを押す
  またはリモコンのふたをあけて「修正/削除」ボタンを押す

例：「サンタset」を入力する

1)「頁」ボタンを押して、カタカナモードを選ぶ

漢字を入力するには、「漢字を入力する」をご覧ください。

2) 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で文字を選び、「決定」ボタンを押す

カーソル(|)の位置に、選んだ文字がはいります。

「サ」→「決定」→「ン」→「決定」→「タ」→「決定」の順に押します。

3)「頁(◀◀/▶▶)」ボタンで英字モードに切り換えて、2)の要領で文字を選ぶ

「s」→「決定」→「e」→「決定」→「t」→「決定」の順に押します。

さらに文字を追加する場合は、1)、2)の手順を繰り返します。

4) 文字入力が終わったら、「A」ボタンで保存する

画面が変わり、入力したディスク名やタイトル名が表示されます。

お知らせ
- 入力できる文字は、全角で32文字、半角で64文字です。
- 入力欄に必要ない情報が表示されていたり、入力済みの文字を訂正したいときには、「クリア」ボタンで一括削除するか、「修正/削除」ボタンでいらない文字を削除します。

■ 漢字を入力する

例：「特集」を入力する

1)「頁(◀◀/▶▶)」ボタンを押して、ひらがなモードを選ぶ

2) 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で文字を選び、「決定」ボタンを押す

「と」→「決定」→「く」→「決定」→「し」→「決定」→「ゅ」→「決定」→「う」→「決定」の順に押します。

3)「一時停止」ボタンを押す

漢字に変換されます。

変換せずにそのままひらがなを入力したい場合は、「停止」ボタンを押して無変換を選びます。

入力したひらがなに下線が付いている状態でないと、変換できません。

とくしゅう ⇒ (変換を押す) ⇒ 特集

変換したい漢字が一度で出ないときには、「一時停止」ボタンを繰り返し押します。

変換したい漢字が出ないときには、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で、画面上の「単漢字」を選び、「一時停止」ボタンで漢字を一つずつ探せます。

4) 希望の漢字が表示されたら、「再生」ボタンで決定する

(確定を押す)

■ 文節を移動する

変換途中に「スキップ」ボタンを押すと、隣の文節を選べます。
文節のくくりが正しくないときは、「スロー」ボタンでカーソルを移動すると文節のくくりを変更できます。

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

番組を録画する

予約をしないで、今すぐ録画する手順です。

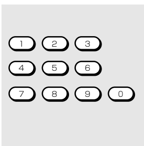
■ 準備

- 録画したいディスクを入れてください。
  - ・録画できる残量があるディスクを入れてください。
  - ・カートリッジ付きのディスクの場合は、ライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。
- DVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側にしてください。
- DVD-R/RWに録画する場合は、自動的に「DVD互換モード」が「入」の状態で録画されます。「DVD互換モード」には「入（主音声）」と「入（副音声）」がありますので、初期設定でどちらかを選んでください（➡183ページ）。「DVD互換モード」が「切」に設定されている場合は、自動的に「入（主音声）」で録画されます。
- DVD-R/RWに録画する場合は、記録する映像にあわせて「DVD-Video記録時画面比」を設定してください。（➡183ページ）

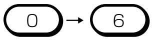
ふたをあける

チャンネル

1 番号ボタンで、録画するチャンネルを選ぶ

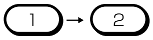


例：チャンネル6を選ぶ



チャンネル12を選ぶ

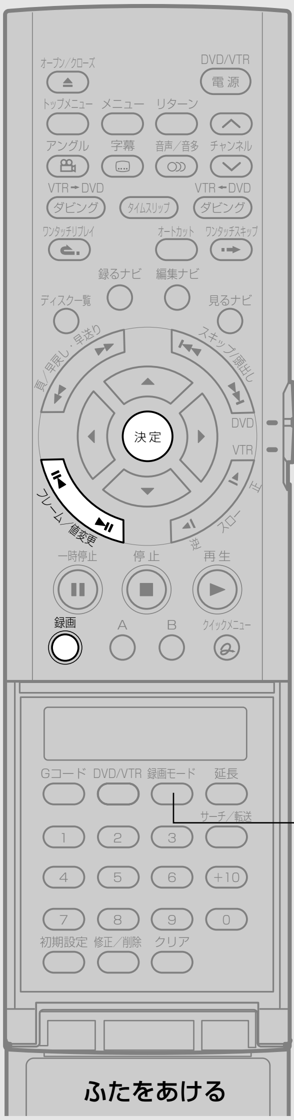
「1」→「2」（続けて押す）



「チャンネル」ボタン（∧/∨）でも選べます。

2 「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させる

3 方向ボタン（▲/▼）で「録画・画質/音質設定」を選び、「決定」ボタンを押す



4 「値変更」ボタンで、画質、音質の設定No.を選ぶ

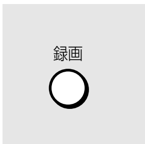
例

「モード」、「レート」および「音質」の内容については、44ページをご覧ください。

5 「決定」ボタンを押す

設定画面が消えます。

6 「録画」ボタンを押す



録画が始まります。

■ 録画モードボタンの使いかた

通常の録画をする前の停止状態で、「録画・画質/音質設定」設定を切り換えられます。録画モードボタンを押すたびに、「録画・画質/音質設定」で設定されている五つの内容（モード（SP／LP／マニュアル）、レート、音質の組合せ）のうち一つを切り換えできます。選択した内容は表示窓に表示されます。（SP／LP／MN）

（つづく）

はじめに
DVD 録画
DVD 再生
DVD 編集
VTR 録画
VTR 再生
ダビング
ディスク一覧
機能設定
その他

番組を録画する(つづき)

お知らせ

- 録画中は、チャンネルや画質モードなどの変更はできません。
- 録画できる最大のタイトル数は、どのDVDディスクでも99です。これを超えると空き容量があっても録画ができなくなります。
- 録画中でも、「録るナビ」画面を表示させて録画予約ができます。
- 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
- モノラル放送は、録画すると左右に同じ音声が記録されます。
- 「L-PCM」の音質モードで、音声多重放送を記録したときは、ステレオ音声として記録されます。
  音声多重放送を録画したときの再生音は、「主音声」と「副音声」が同時に出力されますので、「音声／音多」ボタンで出力する音声を選んでください。
- 「DVD互換モード」(➡183ページ)を「入」に設定しているときは、モノラル放送は左、右チャンネルにそれぞれ同じ音声が記録され、二カ国語放送は選んだ主、または副音声が左、右チャンネルの両方に記録されます。
- ディスクの記録状態により、「録画」ボタンを押してから実際に録画が始まるまでの時間には若干の差があります。
- 録画中に録画予約の開始時刻になると、現在の録画を中止して予約録画を優先して開始します。現在の録画を継続するには、録画予約を取り消してください。(「録画予約を削除する」(➡47ページ))
- レート1.4Mbps、画面比16：9の設定でDVD-R/RWディスクへ録画すると、画面比を4：3に変更して録画します。

■ 録画を終了する

「停止」ボタンを押す

■ 録画を一時停止する(不要な場面をカットする)

録画中に、「一時停止」ボタンを押す

「一時停止」ボタンをもう一度押すと、録画が始まります。

お知らせ

- 録画中に一時停止することで、自動的にチャプターの境界ができます。

■ 録画チャンネルを変える

1) 録画中に、「一時停止」ボタンを押す

録画が一時停止します。

2) 「チャンネル」ボタンで録画チャンネルを変える

3) 「一時停止」ボタンを押して、録画を再開する

■ 録画しながら別の番組を見る(録画中に裏番組を見る)

1) 録画をはじめる

2) テレビの入力切換を「テレビ」にする

3) テレビ側のチャンネルボタンで、見たい番組を選ぶ

■ 録画時のノイズを低減する機能を使う(録画DNR)

録画の前に、初期設定で「録画DNR」を設定します。内容の詳細は➡183ページをご覧ください。

■ 録画中に、録画の終了時刻を設定する

1) 録画中に「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「録画終了時刻設定」を選び、「決定」ボタンを押す

表示が以下のように変わります。

例

3) 方向ボタン(▲/▼)で入力位置を選び、「値変更」ボタンを押して設定を変える

4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 録画終了時刻を設定すると、予約録画となって本体表示窓に録画予約表示(「◷」)が点灯します。
- 終了時刻は、現在の時刻よりも5分以降の時刻にしか設定できません。
- 入力が「L0」(ライン0)での通常録画中は、録画終了時刻の設定をすることはできません。

■ 録画中に、録画してある別のタイトルを再生する(別タイトル再生) DVD-RAM

DVD-RAMへの録画中に、同じDVD-RAMに録画してある別のタイトルを再生することができます。

1) 録画中に、「見るナビ」ボタンを押す

2) 方向ボタンで、見たいタイトルを選び、「決定」ボタンを押す

選んだタイトルの再生が始まります。

「停止」ボタンを押すと再生が止まり、録画中の画面に戻ります。もう一度「再生」ボタンを押すと、止めた続きを再生します。

お知らせ

- 別タイトルの再生画像が出るまでに、時間がかかることがあります。
- 別タイトル再生中は、以下のことはできません。
  - ープログラム再生(リピート、イントロスキャンなど)
  - ー編集(プレイリスト作成、ディスク内ダビング、タイトル/チャプター名設定、サムネイル設定など)
  - ー早聞機能での再生
- ディスクの記録状態によっては、再生中に一時停止する場合があります。

■ 録画中にチャプターを作成する

録画中に「チャプター分割」ボタンを押す

押したところにチャプター境界ができ、その前後が別々のチャプターになります。

お知らせ

- DVD-R/RWに録画したタイトルは、あとからチャプター分割できません。

■ DVD-R/RW録画時にチャプターを自動作成する

「DVD-Video時チャプター分割」(➡183ページ)を設定する

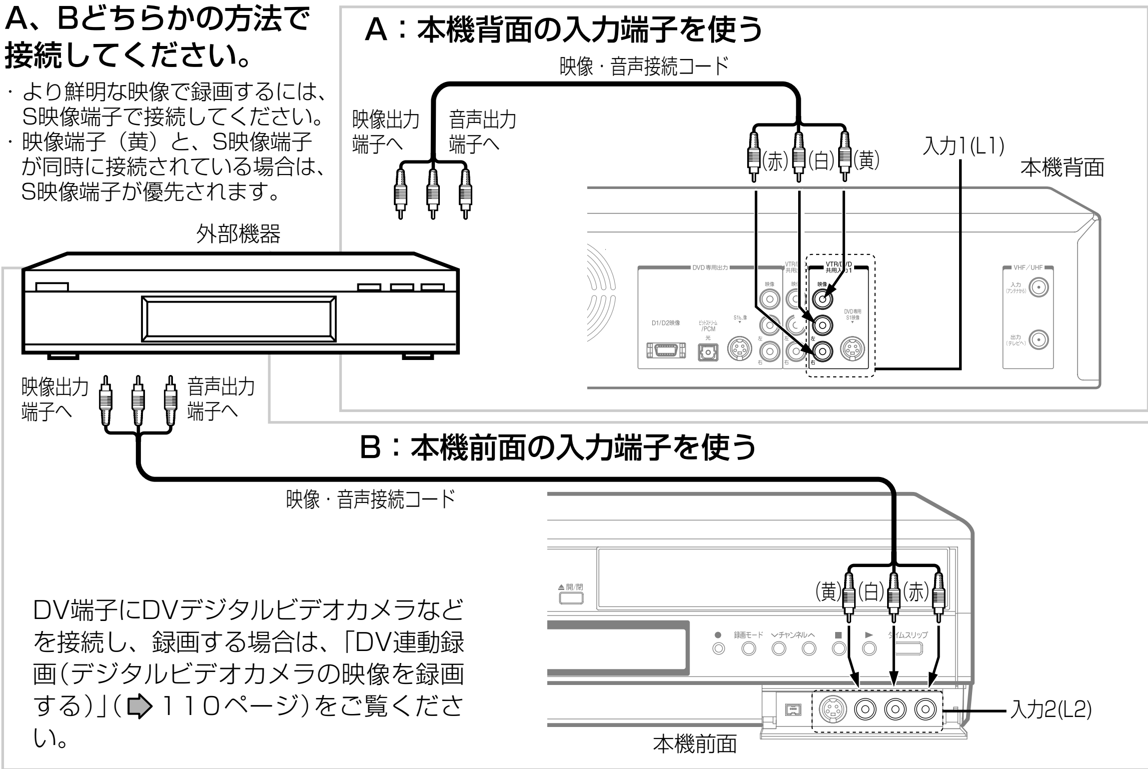
DVD-RAM DVD-RW DVD-R

外部機器から入力して録画する

本機に外部機器を接続してDVDディスクに録画します。

A、Bどちらかの方法で接続してください。

・より鮮明な映像で録画するには、S映像端子で接続してください。
・映像端子（黄）と、S映像端子が同時に接続されている場合は、S映像端子が優先されます。



DV端子にDVデジタルビデオカメラなどを接続し、録画する場合は、「DV連動録画（デジタルビデオカメラの映像を録画する）」（110ページ）をご覧ください。

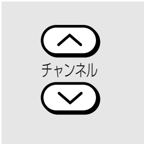
■ 準備

- 録画したいディスクを入れてください。
  - ・録画できる残量のあるディスクを入れてください。
  - ・カートリッジ付きのディスクの場合は、ライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。
  - ・DVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側にしてください。

お知らせ

- DVDオーディオやSACDの再生機を外部入力に接続しても、本機は従来の音楽用CDの音声帯域にしか対応できません。したがって、本機から出力される音声や記録される音声は、音楽用CDより高い帯域の音声はカットされてしまいます。接続する機器の説明書もご覧ください。
- DVD-R/RWディスクに録画する場合には、あらかじめ接続されている機器側で希望する音声を選んでおいてください。（例えば二カ国語放送で日本語を選ぶ。）本機への外部入力の音声は、「DVD互換モード」（183ページ）の設定にかかわらず、ステレオ音声とみなしてそのまま記録されます。
- 録画が禁止または制限されている映像（コピー禁止やコピーワンス）はDVD-R/RWディスクへ録画できません。コピーワンスの映像は、DVD-RAMディスクへ録画できます。
- BSデジタル放送などの番組を外部チューナーから録画した場合、放送内容に応じて通常の4:3の部分と16:9の部分が混在する場合があります。DVD-R/RWディスクへの記録時には、DVD-Video規格の制限により、これらの混在が許されていません。
  このため、番組を外部チューナーなどから録画する場合は、DVD-RAMディスクをご使用ください。

1 「チャンネル」ボタンを繰り返し押して、本体表示窓に「L1」または「L2」を表示させる



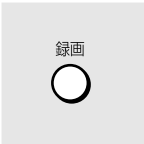
押すごとに表示が切り換わります。

L1： 背面の入力1端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

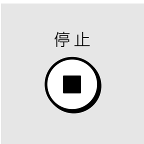
L2： 前面の入力2端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

2 外部機器を再生状態にする

3 本機の「録画」ボタンを押して、録画をはじめる



4 外部機器からの録画を終了するときは、「停止」ボタンを押す



■ ビデオデッキやカメラ一体型ビデオから入力して録画する場合について

●ビデオテープを再生する前に、ビデオデッキのコンディションを整える

ヘッドクリーニングや、トラッキング調整をして、ビデオテープが最良の状態で再生できるようにしてください。再生の状態が良くないと、再生された信号にノイズが混ざって、コピー禁止信号に誤判別してしまい、本機に録画できない場合があります。
ビデオデッキ間のダビングに使用する「ダビングモード」などは使わずに、通常テレビで鑑賞する状態で再生してください。TBC(タイムベースコレクタ)機能なども、コピー禁止信号と誤判別させる信号を付加してしまう場合があるので、このような場合はその機能を使用しないでください。
なお、ビデオデッキ側で調整しても、録画時点の状態や、ビデオテープの使用および保管状態によっては、本機で録画できない場合があります。

●本機で録画中に、接続したビデオデッキ側を操作しない

ビデオデッキの再生や停止、静止画の前後や早送り再生(CUE)や早戻し再生(REVIEW)のときには、ノイズが発生する場合があります。これらのノイズをコピー禁止信号と誤判別してしまう場合があります。
最初に接続したビデオデッキ側で再生を開始させ、映像が安定してから、本機での録画を開始してください。録画中は接続したビデオデッキ側の操作はせずに、ダビングしたい部分の再生がすべて完了してから、本機の録画を停止し、ビデオデッキを停止してください。途中に不要な部分があってもそのまま録画して、本機の編集機能(⇨83ページ)で不要部分を削除してください。途中で接続したビデオデッキを操作する場合は、本機の録画を一時停止するか、または停止してください。ビデオデッキの操作後、再びビデオデッキの再生が安定してから、本機での録画を再開してください。

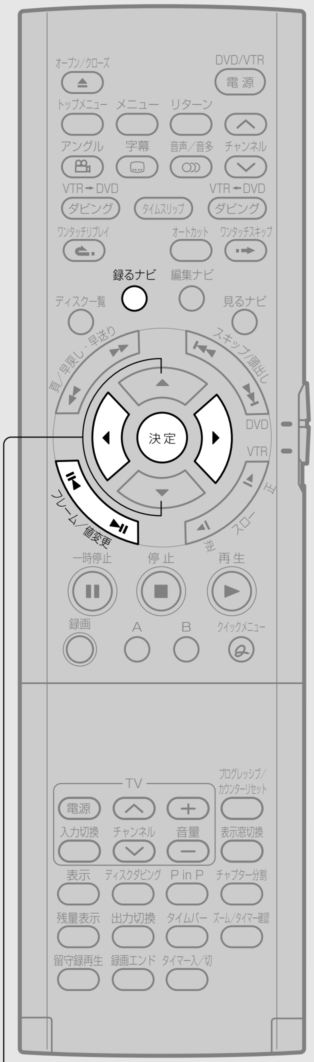
●カメラ一体型ビデオから入力して録画する場合

再生や操作に関する注意点は、ビデオデッキと同様です。
カメラ一体型ビデオを再生するときは、バッテリーを使うと消耗によって最後まで録画できないことがありますので、ACアダプターを使ってください。

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

番組を予約録画する(録るナビ)

録画の予約は「録るナビ」画面を使います。残量計算や録画に必要な情報が簡単に集められるので、準備に手間がかかりません。
「録画の前に」(⇨30ページ)もあわせてお読みください。



方向ボタン（▲/▼）

1 停止中に、「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

例

2 「決定」ボタンを押す

「CH」の項目に現在のチャンネルが表示され、データを入力できる状態になります。

3 方向ボタン(◀/▶)で設定する項目を選び、「値変更(II◀/▶II)」ボタンでデータを入力する

- 設定する内容は、次ページをご覧ください。
- データの入力は、方向ボタン(▲/▼)でもできます。

4 設定が終わったら、「決定」ボタンを押す

続けて他の録画予約をするときは、方向ボタン(▼)を押して次の行に移動したあと、手順2～4を繰り返してください。

5 「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

録画予約が設定されました。

- 電源を切る場合は、「電源」ボタンを押してください。

（つづく）

番組を予約録画する(録るナビ)(つづき)

お知らせ

- ディスクトレイがあいたままの状態で予約録画の開始時刻になっても、ディスクトレイは自動的に閉じません。録画できるDVDディスクをあらかじめ本機に入れておいてください。
- 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
- DVD-RAMディスクの再生中にDVD-RAMディスクへの予約録画が始まると、一瞬再生画面が静止します。
- 「DVD互換モード」(➡183ページ)を「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定していると、音声多重放送では選んだ音声(主または副)だけが記録されますので、「DVD互換モード」は、DVD-R/RWディスクへ書き込むときだけ「入」に設定するようにしてください。
- DVD-R/RWディスクへ書き込む場合、「DVD互換モード」は予約ごとに設定してください。(➡183ページ)

■ 設定項目

項目	設定値	説明
実行	√	「√」がある番組の予約録画を実行します。
CH	1～64ポジション、L1 ～L2	録画したい番組のチャンネルを設定します。(スキップ設定したチャンネルは表示されません。)
日付	今日から2ヶ月先(62日)の日付まで、毎日曜日～毎土曜日、月－木曜日、月－金曜日、月－土曜日、毎日	録画したい番組の日付を設定します。
開始	0：00～30：59	録画の開始時刻です。(初期値として10分後の時刻が表示されます。)　番号ボタン(ふたの中)でも入力できます。
終了	0：00～30：59	録画の終了時刻です。(現在時刻から2分以降が設定できます。)　番号ボタン(ふたの中)でも入力できます。
記録先	DVD	DVDディスクが指定されています。(設定の変更はできません。)
モード(画質)	SP	録画時間、画質とも標準の設定です。(音質設定の「L-PCM」を選ぶと設定できません。)
	LP	長時間録画したいとき。ただし、画質は「SP」モードに比べると下がります。(音質設定の「L-PCM」を選ぶと設定できません。)
	マニュアル	レート(ビットレート)を任意に設定できます。
	ジャスト	記録直前のディスクの空き容量に合わせて自動的に画質レートを設定します。(ディスクの空き容量が足りない場合は、番組の最後まで記録できません。)2時間半以上の番組は設定できません。
レート(ビットレート)	1.4 2.0～9.2	録画モードが「SP」、「LP」、「ジャスト」では指定できません。2.0～9.2の範囲で0.2Mbpsずつ任意に指定できます。(音質の設定値によって、設定できる上限値が変わります。)
音　質	DD D /M1	標準の音質です。
	DD D /M2	DD D /M1よりも良い音質です。音楽番組などの録画にお勧めします。
	L-PCM	圧縮していないデジタル音声でオーディオCD同等の音質ですが、録画できる時間は短くなります。
ディスク		予約ディスク(➡52ページ)に録画するときは予約ディスクマークが付きます。

DD D /M1、DD D /M2は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。
設定1としてDD D /M1はDolby Digital 192kbps、設定2としてDD D /M2はDolby Digital 384kbpsとなっています。

お知らせ

- 録画予約時刻を設定するときは、0：00～30：59まで入力することができます。24：00以降を入力して「決定」ボタンを押すと予約日付が次の日に変わり、時刻が0：00～6：59で表示されます。
- 「モード」、「レート」および「音質」について、詳しくは➡54、194ページをご覧ください。
- 録るナビ以外にも、Gコードなどで録画予約ができます。「録画」の章(➡50ページ)をご覧ください。
- レート設定をおおよそ「4.0Mbps」よりも低く設定して録画した場合、いろいろな速さの再生が正しく働かないことがあります。また、他のレート設定よりノイズが多く発生し、画質も下がります。
- 「CH」が「L0」(ライン0)の予約録画はできません。

■ 画質を選ぶときのポイント

- **通常の録画や迷っているときには**
  「SP」モードをお勧めします。
- **見たら消すような番組を録画したいときには**
  「LP」モードをお勧めします。画質は落ちますが、長時間記録することができます。
- **高画質での録画には**
  「マニュアル」モードをお勧めします。レートを高く設定するほど、高画質な映像になりますが、録画できる時間は短くなります。6.0Mbps〜6.8Mbpsあたりがお勧めです。
- **空き容量にはいるように予約録画したいときには**
  「ジャスト」モードをお勧めします。ディスクの空き容量に合わせて、画質のレートを自動的に選びます。
  この機能を使っても、録画する内容によってはディスクに収まらない場合もあります。また、ディスクの空き容量をすべて使い切る機能ではありません。

■ 予約内容の詳細を設定する

予約内容ごとに、詳細な設定ができます。

1) ⇨43ページの手順3で、「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

例

2) 方向ボタン(▲/▼)で、設定する項目を選び、「決定」ボタンを押す

各項目については「クイックメニューの詳細」をご覧ください。

3) 変更したい項目の詳細内容を方向ボタン(▲/▼)などで設定し、「決定」ボタンを押す

「録るナビ　録画予約一覧」画面の下部に選択中の予約に関する設定内容が表示されます。

クイックメニューの詳細

録画・画質/音質選択

登録してある画質/音質設定(1〜5)が選べます。

予約名変更

予約名を入力できます。

入力画面で入力します。(⇨34ページ)

DVD互換モード DVD-RAM DVD-RW DVD-R

DVD-R/RWに録画するときには主音声か副音声のどちらか一方が記録されます。(⇨183ページ)

予約のDVD互換モードを「切」にした場合でも、自動的にDVD互換モードは「入(主音声)」の状態で録画されます。

本設定は、各予約ごとに変更できます。

DVD-Video 記録時画面比 DVD-RW DVD-R

DVD-R/RWに録画するときの画面比を設定します。(⇨183ページ)

番組を予約録画する(録るナビ)(つづき)

最高画質ﾚｰﾄ容量節約

最高画質レートで録画しながら容量をなるべく節約したいときに設定します。通常は最高レートの9.2Mbpsで録画をし、映像に変化が少なく高いレートを必要としない部分だけ、一時的にレートを下げて録画ができます。

切：この機能は働かせず､通常の録画をします。

入：この機能を働かせます。

お知らせ

- 音質の設定が｢L-PCM｣のときは、画質が｢マニュアル8.0Mbps｣に設定されます。｢L-PCM｣以外のときは、｢マニュアル9.2Mbps｣に設定されます。
- ｢入｣に設定すると、｢モード｣、｢レート｣は変更できなくなります。
- 映像によっては使われる容量に差が出ない場合もあります。

無音部分チャプター分割　DVD-RAM

音声が無い(聴感上音のない)部分で自動的にチャプター分割をする機能です。

例えば、音楽クリップ集番組で、再生時の曲間頭出しの目安などに利用できます。完全なチャプター分割をしたり、あるいは完全に無音の部分でのみ自動的にチャプター分割をする機能ではありません。

切：この機能は働きません。

入：無音部分でチャプター分割をします。

お知らせ

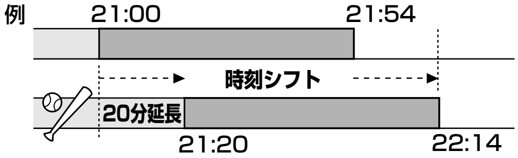
- 番組の内容や無音部分の状態によっては、チャプター分割されない場合や、分割位置が異なる場合があります。また、曲の中でも、無音部分やそれに近い部分があるとチャプター分割される場合もあります。
- 録音入力レベルの設定値によっては、チャプター分割されない場合や分割位置が異なる場合があります。
- ｢無音部分チャプター分割｣を｢入｣にしたときは、自動的にたくさんのチャプターが作成されるため、チャプター数の上限に達すると、それ以上のチャプターの作成は別の方法も含めてできなくなります。その場合は、チャプターを結合するなどしてチャプター数を減らしてください。(➡91ページ)
- DVD-R/RWディスクに録画するときは、この機能は働きませんが、自動的にチャプター分割する機能としては｢DVD-Video時チャプター分割｣(➡183ページ)があります。

ジャンル設定

予約番組のジャンルをあらかじめ設定できます。
｢ジャンル設定｣(➡184ページ)で登録したリストが表示されます。
予約内容などに応じてジャンルを設定します。

■ 録画の開始時刻／終了時刻をずらす（時刻シフトモード）

予約録画開始前に野球中継などがある場合、野球中継の放送延長などで、番組の終了時刻が繰り下がる可能性があるとき、簡単に録画の時間帯をずらせます。



1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン（▲/▼）で、時間帯をずらしたい録画予約を選ぶ

3) リモコンのふたをあけ、「延長」ボタンを押す

開始時刻と終了時刻が編集モードになります。

4)「延長」ボタンを繰り返し押す

押すたびに、開始時刻と終了時刻が10分ずつ最大60分まで後にずらせます。

5)「決定」ボタンを押す

6)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

ご注意

- 毎週や毎日などの予約の場合、ずらした開始時刻、終了時刻は必要に応じて元に戻してください。

■ 録画予約を追加する

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン（▼）で、何も入力されていない行にカーソルを合わせ、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン（◀/▶）で、設定する項目を選び、「値変更」ボタンでデータを入力する

4) 設定が終わったら、「決定」ボタンを押す

5)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

お知らせ

- 予約録画準備中や実行中は、現在時刻から5分15秒以内に開始する録画予約は追加できません。

■ 録画予約を削除する

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン（▲/▼）で、削除したい録画予約を選ぶ

3)「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

4) 方向ボタン（▲/▼）で「予約キャンセル」を選び、「決定」ボタンを押す

メッセージを確認して、録画予約を削除します。

5)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

お知らせ

- 予約録画中は録画予約の削除はできません。

■ 予約内容を変更する

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン（▲/　）で、修正したい録画予約を選び、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン（◀/▶）で、修正する項目を選び、「値変更」ボタンを押してデータを設定し直す

4)「決定」ボタンを押す

修正データが登録されます。

5)「録るナビ」ボタンで画面を終了する

ご注意

- 予約録画開始時刻5分前になると、その予約内容の変更はできません。予約のキャンセルはできます。

お知らせ

- 5分以内に始まる録画がない場合にかぎり、開始時刻を過ぎた録画予約も設定できます。ただし、予約の録画開始時刻から実際に録画を開始するまでの間は録画されません。

番組を予約録画する(録るナビ)(つづき)

■ 残量計算

一枚のDVDディスクに複数の番組を録画する際、画質・音質の選択をする場合に使います。

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニュー画面が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「残量計算」を選び、「決定」ボタンを押す

残量計算画面が表示されます。

4) 方向ボタン(▲/▼)で予約項目を選び、「決定」ボタンを押す
または
「値変更」ボタンを押す

行の先頭にチェックマークが付いている予約に対してだけ、残量を計算します。残量計算の結果は、ただちに画面下のグラフに表示されます。

チェックマークが付いていない場合、「値変更」ボタンを押して、チェックマークを付けます。

例

選択している予約項目　ディスクの残量

×が付いた予約は、この条件では録画が最後までできません。

5) 残量を調整したい場合は、予約データを修正する
(調整しないときは手順7へ進んでください)

変更できるのは「モード」、「レート」および「音質」です。

変更したい項目を選んで「決定」ボタンを押すと、編集モードになり、「値変更」ボタンで変更できます。

変更後はもう一度「決定」ボタンを押して決定します。

6)「A」ボタンを押す

予約データが更新されます。

7)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

お知らせ

- 予約ディスク(52ページ)を入れているときは、その予約ディスク以外のDVDディスクの予約には残量計算は働きません。
- 一度にできる残量計算は、録画開始時刻の近い順に最大8件までです。
- 録画中または予約録画準備中の予約データは更新できません。録画中または予約録画準備中でも、約5分以降の予約データの更新は可能です。

■ 予約録画を途中で止める

終了するには
本体の「■」ボタンを2回押す

一度押すとメッセージが表示され、その間にもう一度押します。

■ 予約録画が終了したら自動的に電源を切る

1) 予約録画の実行中に「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「終了後電源切る」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 予約録画終了時、VTRタイマー予約実行中などの場合は、電源は切れません。

■ 予約録画が終了しても電源入りを継続する

本体の電源が待機の状態で開始された録画の場合、録画終了後に自動的に電源が切れますが、自動的に電源が切れないようにできます。

1) 予約録画の実行中に「クイックメニュー」ボタンを押す

2)「終了後電源入り継続」を選び、「決定」ボタンを押す

■ 予約録画の途中で録画の終了時刻を延長する

予約録画中に、リモコンのふたをあけ、「延長」ボタンを押す

１回目を押すと、現在の終了時刻が表示されます。
その後1回押すごとに、終了時刻(本体表示窓に表示)が10分ずつ、最大60分まで後にずらせます。

お知らせ

- 手順の途中で他のボタンを押すと、その時点で延長時間が確定します。
- 終了時刻1分前を過ぎると延長できません。
- 延長を設定しても空き容量がなくなると録画を終了します。

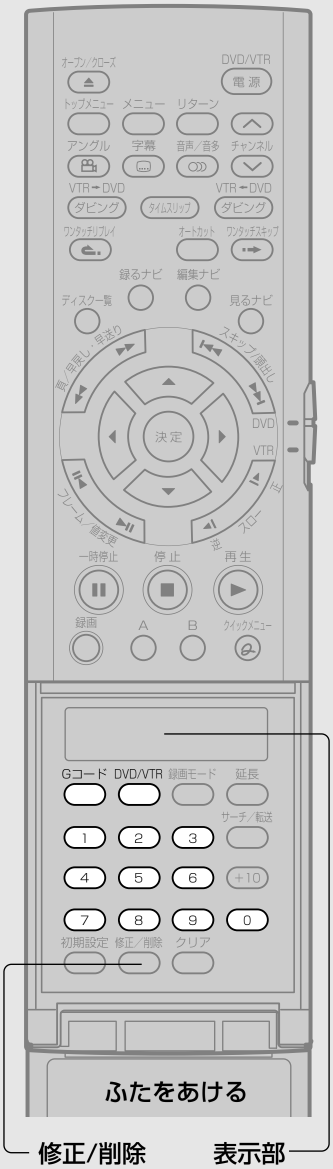
DVD-RAM DVD-RW DVD-R

Gコード予約

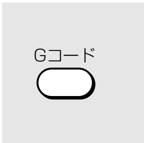
それぞれの番組に付いているGコードを入力するだけで、簡単に録画予約ができます。
2カ月先まで最大32番組の予約ができます。

■ 準備

- Gコードを使って予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります（準備編33ページ）。ガイドチャンネルが間違っていると、違う番組を録画してしまいます。
- 録画したいディスクを入れてください。
  - ・録画できる残量があるディスクを入れてください。
  - ・カートリッジ付きのディスクの場合は、ライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

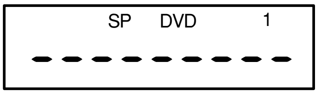


1 リモコンのふたをあけ、「Gコード」ボタンを押す

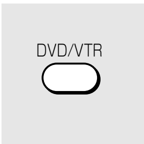


表示部に設定画面が表示されます。

例：

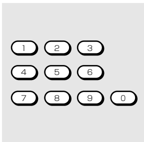


2 「DVD/VTR」ボタンを押して、「DVD」を選ぶ



- 「ＶＴＲ」を選ぶと、録画先がＶＴＲになります。（118ページ）

3 番号ボタンで、Gコードを入力する



例：

- Gコードは新聞・雑誌などのテレビ欄でお調べください。
- Gコード入力を間違えたときは、「修正/削除」ボタンを押して数字を消してから、入力し直します。

お知らせ

- 0から始まる番号を入力したときは、9桁まで数字が入力されます。

4 必要に応じて、以下の設定をする

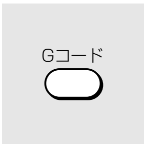
■画質モードの選択
「録画モード」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに、「SP」→「LP」の順に切り換わります。
「SP」、「LP」の内容については44ページをご覧ください。

5 本体に向けて「転送」ボタンを押す

予約の転送が成功すると、本体のブザーが「ピー」と鳴ります。（失敗時は「ピッピッピッ」と鳴ります。）
本体表示窓に、転送した内容が表示されます。

6 続けてGコード予約するときは、手順3～5の操作をする

7 予約が終わったら、「Gコード」ボタンを押す



リモコン表示部の表示が消えます。

お知らせ

- 同時に予約できるのは最大で32件です。すでに32件予約されているときは、転送エラーとなります。どれか予約内容を取り消してから予約してください。（47ページ）
- 番組によっては、数分長めに予約されることがあります。
- 次の場合、予約内容が転送されず、エラーになります。
  －実際にない番組を入力したとき
  －ありえない数字を入力したとき
  －ガイドチャンネルの設定がされていないとき
- 予約を取り消すには「録るナビ　録画予約一覧」で「クイックメニュー」ボタンを押し、クイックメニューで削除します。詳しくは「録画予約を削除する」（47ページ）をご覧ください。
- 「録るナビ」画面表示中には、Gコードを使った録画予約はできません。
- Gコード予約では、予定内容の変更や詳細な設定はできません。予約の転送後、「録るナビ」画面を表示させて設定してください。DVD-R/RWディスクに録画する場合は、予約のDVD互換モードを「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定してください。（45ページ）
- Gコード転送後、「録るナビ」画面で予約内容を確認してください。（43ページ）
- 二つの番組を続けて予約しているとき、前の番組を延長しても、次の番組の開始時刻になると次の番組が録画されます。

その他

同じ番組の専用ディスクを作る（予約ディスク作成）

DVD-RAM

連続ドラマなどを一枚のディスクに録画したいときに便利です。

予約データを書き込んだDVD-RAMディスクを「予約ディスク」といいます。予約ディスク一枚につき予約を一件だけ入れられます。
予約ディスクを作成すると、予約ディスクに書き込んだ録画情報に基づく録画は、そのディスクにしかできません。また、そのディスクには、予約ディスク上の予約に基づく録画しかできません。
例えば、月曜日夜9時から10時までの連続ドラマ用に予約ディスクを作ると、そのディスクにはそのドラマしか録画できなくなります。また、そのドラマの録画を予約しようとすると、本機がその予約ディスクを使用するように指定してきます。

1）DVD-RAMディスクを本機に入れる

2）「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

3）方向ボタン（▲/▼）で、録画したい予約データを選ぶ

4）「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

5）方向ボタン（▲/▼）で「予約ディスク作成」を選び、「決定」ボタンを押したあと、「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

予約データが転送されると、「録るナビ」画面上に予約ディスクを示すアイコンが表示されます。

予約ディスクがはいっていないときは、その行はグレー表示になります。

● 予約ディスクを解除するには

解除したいディスクを本機に入れた状態で、「録るナビ」画面で予約項目にカーソルを合わせます。「クイックメニュー」ボタンを押し、「予約ディスク解除」を選び、「決定」ボタンを押したあと、「はい」を選び、「決定」ボタンを押します。

● 予約ディスクの情報を削除するには

予約ディスクをなくしてしまったときなどには、予約ディスクの情報を削除します。
録るナビ画面で、予約ディスク情報を削除したい予約を選び、「クイックメニュー」ボタンを押します。クイックメニューから「予約ディスク強制解除」を選び、「選択リストを解除」を実行します。
録るナビ画面上に、挿入した予約ディスクの予約がないときは、「クイックメニュー」ボタンを押し、「予約ディスク強制解除」を選び、「挿入ディスクを解除」を実行します。

予約ディスクを日付指定で設定した場合、その予約録画が実行されると予約ディスクの情報は自動的に削除されます。

● 予約ディスクの録画を中止するには

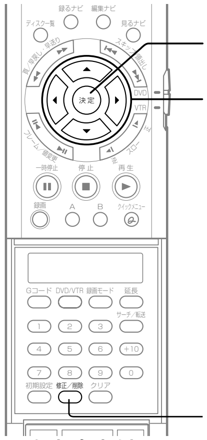
通常の予約録画同様、本体の「停止」ボタンを押すと、画面にメッセージが表示されます。
メッセージの表示中にもう一度「停止」ボタンを押すと、録画を停止します。

■ 録画中に予約ディスクの録画時刻がきたときは

録画中に予約ディスク用の予約録画開始時刻になった場合、予約ディスク用の録画は開始されず、実行中の録画が継続されます。

録画内容を削除する DVD-RAM DVD-RW DVD-R

ご注意
オリジナル(84ページ)のタイトル／チャプターを削除すると、内容は復元できませんので、削除する前には内容を十分ご確認ください。



1)「録画した内容を再生する(見るナビ)」(57ページ)の手順1～2を行なって、タイトル(またはチャプター)を選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから「タイトル削除」(または「チャプター削除」)を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す
または
リモコンのふたをあけ、「修正/削除」ボタンを押す

3) メッセージの内容を確認し、方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ
- タイトル(またはチャプター)の削除によって、そのあとのタイトル(チャプター)番号が繰り上がります。
- 約5秒以下の短いチャプターは削除できないことがあります。また、短いチャプターを削除しても空き容量の表示が変化しない場合があります。
- プレイリスト(84ページ)のタイトルまたはチャプターを削除しても、元となるオリジナルのタイトルやチャプターは影響を受けません。
- オリジナルのタイトルまたはチャプターを削除した場合、関連するプレイリストも影響を受けます。
- すべてのチャプターを削除したタイトルは自動的に削除されます。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルとチャプターは削除できません。
- ファイナライズ処理したDVD-R/RWディスクのタイトルは削除できません。
- DVD-R/RWディスクのチャプターは削除できません。
- DVD-RWディスクでタイトルを削除した場合、最後に記録したタイトルを削除した場合だけ空き容量が増えます。
- DVD-Rディスクはタイトルを削除しても空き容量は増えません。

録画内容を保護する DVD-RAM

録画した内容を削除できないように保護します。
保護はタイトル(オリジナル)単位で行ないます。

1)「録画した内容を再生する(見るナビ)」(57ページ)の手順1～2を行なって、タイトルを選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから「タイトル情報」を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す

3) タイトル情報画面で、「クイックメニュー」ボタンを押し、クイックメニューから「保護設定」を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す
保護設定のマーク(🔒)が付きます。

お知らせ
- 保護設定を解除するには、上の手順を繰り返します。
- ディスクを初期化すると、その中のタイトルは保護されている場合でもすべて削除されます。

その他(つづき)

技術情報

● 録画時間について

VTR(ビデオテープレコーダー)の場合、録画時間は、ビデオテープ自体の長さと録画速度(標準／3倍など)で決まります。ディスクの場合には、MPEG2(Moving Picture Experts Group2)という可変圧縮方式でビットレート(Mbps：1秒あたりの情報量)の値を変えることで、録画できる時間を変えることができます。
例えば、バケツに水道から水を入れるとき、蛇口を大きくひねって水をたくさん出すとバケツはすぐにいっぱいになり、少しだけひねって水を出すと、バケツはゆっくりいっぱいになります。このときのバケツがDVD-RAM/R/RWディスクで、蛇口の回し具合がビットレート、水がいっぱいになるまでにかかる時間が、録画できる時間にあたります。水をたくさん出す、つまりビットレートが高いと、すぐにディスクはいっぱいになり、ビットレートが低いとディスクがいっぱいになるまでの時間が長くなります。

● 画質について（SP、LP、ジャスト、マニュアルモードの使い分け）

ビットレート(Mbps)が高いということは、その映像に対する情報量が多く、低ければ情報量が少ないということです。ただし、ビットレートの値が高いからといって、必ずしも画質が良いとは言いきれません。ビットレートの数値の違いが大きいときは、画質の違いがわかりやすいのですが、近い値で比べると、その違いを感じにくい場合があります。
一般的に、録画時間を重視してビットレートを低く設定すると、動きのおだやかな映像では目立ちませんが、変化が激しい映像では、必要なデータの量が確保できずに細部の情報が欠落し、結果として画面が粗くなってしまいます。例えば、動きが激しい場面や、水面のように細かい光と影が多い場面では、画面に四角いノイズ(ブロックノイズ)が見えてしまいます。
本機では、4.7GBの未記録DVD-RAMディスクを使って「SP」モードで約2時間、「LP」モードで約4時間の記録ができる設定があります。「SP」モードを標準とし、長時間でかつ画質にこだわらない場合には「LP」モードで録画するという使い分けをお勧めします。
また、録画したい時間が2時間前後だったり、「SP」か「LP」かの選択に迷ったときには、「ジャスト」モードを選択してください。「ジャスト」モードでは、4.7GBの未記録DVD-RAMディスクの場合、録画する時間が約1時間以内から最長約2時間半までの範囲で、録画時間に応じて画質を自動的に設定しますので、簡単に良好な画質が得られます。
一部が録画済みのDVD-RAMディスクでも、その残容量に合わせてレート設定をします(録画の直前の空き容量に応じて画質は決定されますので、ディスクに空き容量が少ない場合には、当初確認した画質より低くなるか、最後まで録画できないことがあります)。この「ジャスト」モードは、DVD-R/RWディスクへの録画時でも選択できます。
音楽番組やアニメは一定以上の画質で録画したい、という場合は、「マニュアル」モードの選択をお勧めします。6Mbps以上の場合の画質で録画すると、おおむね良い画質で録画できますが、高くするほど記録時間は短くなります。

● DD D /M1、DD D /M2について

DVD-RAMディスクに録音する方式です。音声をそのまま録音するのではなく、デジタル信号に圧縮して録音し、再生時には元に戻します。1と2では規格上、使用されるデータの量が異なります。DD D /M1、DD D /M2は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。
設定1としてDD D /M1はDolby Digital 192 kbps、設定2としてDD D /M2はDolby Digital 384kbpsとなっています。

● L-PCM(リニアPCM)について

ドルビーデジタルと同様に音声の記録方式ですが、圧縮せずに、アナログ信号をサンプリングして48kHz/16bitのデジタル信号に変換して録音します。したがって、使用されるデータ量はドルビーデジタルよりも多くなります。

本章での操作は、リモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側（DVDモード）にして行なってください。

DVD 再生

ディスクの再生をしてみましょう。

- **再生のしかたや再生時について**
- **録画した内容を再生する（見るナビ）**
- **DVDビデオディスクを再生する**
- **放送中の番組をとめてあとで見る（TVお好み再生）**
- **録画中に録画済みの部分を見る（追っかけ再生）**
- **いろいろな速さの再生**
- **番号を使ってサーチする**
- **子画面で見る（P in P再生）**
- **アングルを変えて見る**
- **字幕の表示と切り換え**
- **拡大して見る（ズーム）**
- **音声の切り換え**
- **動作と設定の状態を画面で確認する**
- **クイックメニューで選べる機能**

再生のしかたや再生時について

再生するメディアによって操作の手順が変わります。各メディアを再生するときの基本的な再生方法は、それぞれのページをご覧ください。

● DVD-RAMに録画した内容を再生するとき

「録画した内容を再生する(見るナビ)」
(⇨57ページ)

● DVDビデオディスクを再生するとき

「DVDビデオディスクを再生する」
(⇨63ページ)

● DVD-R/RWを再生するとき

本機で録画したDVD-R/RWの場合：
「録画した内容を再生する(見るナビ)」
(⇨57ページ)
本機以外で録画したDVD-R/RWの場合：
「DVDビデオディスクを再生する」
(⇨63ページ)
DVD-VRモードで記録されたDVD-RWの場合：
「DVD-VRモードで記録されたDVD-RWディスクを再生する」
(⇨62ページ)

■ 放送中の映像に切り換えたいときは

「停止」ボタンを押して再生を止めます。

■ 録画をはじめたいときは

「停止」ボタンを押していったん再生を止めます。
そのあとで「録画」ボタンを押して録画を始めます。

■ ブラウン管保護機能

再生を一時停止した状態や、本機の各種メニューなどの表示を約15分間続けたままで何も操作しなかったときは、チューナーまたは外部入力の画面になります。
タイトルの最後まで再生を終えると静止画状態になりますが、この場合は10秒後にテレビ放送などの入力映像に自動的に切り換わります。

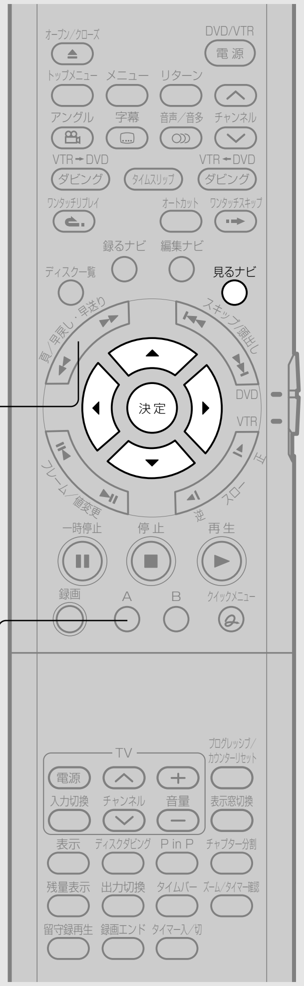
お知らせ

- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまいます。
- 再生が終わったあと、最後の場面で一時停止したりメニュー画面などが表示される場合があります。メニュー画面などの静止画面が長く続くと、接続しているテレビ画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」ボタンを押して、再生を終了してください。
- 追っかけ再生しているときは、再生の一時停止が約15分間続くと再生に戻ります。最後まで再生すると、「タイムスリップ」ボタンを押すまでタイトルエンドの静止画を表示し続けます。
- DV連動録画詳細表示で録画を15分間続けたままで何も操作しないでいると、フル画面表示になります。

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

録画した内容を再生する(見るナビ)

DVD-RAM/R/RWディスクに録画した内容は、タイトルやチャプターごとに、場面を並べて一覧表示(サムネイル表示)できるので、見たい内容が簡単に探せます。



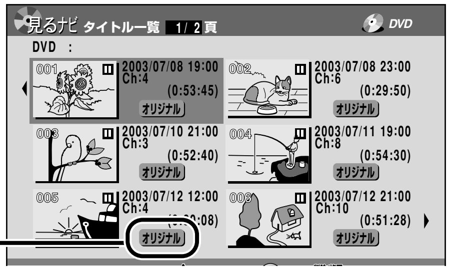
A

頁

1 停止中または再生中に、「見るナビ」ボタンを押す

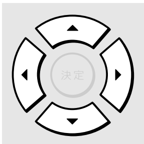
次のような表示(「見るナビ　タイトル一覧」画面)が出ます。

例



種類(オリジナル／プレイリスト)を示します。
84ページをお読みください。

2 方向ボタンで、見たいタイトル(またはチャプター)を選ぶ



- 「頁(◀◀/▶▶)」ボタンで前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「決定」ボタンを押す

選んだタイトル(またはチャプター)から再生が始まります。

お知らせ

- 見るナビタイトル一覧の表示の順番は、本機で録画した古い順に並びます。また、オリジナルとプレイリストでは先にオリジナルタイトルが古い順に並び、続いてプレイリストが古い順に並びます。
- 画面表示を消すには、「見るナビ」ボタンを押します。約15分以上放置すると自動的に「見るナビ」画面は消えます。
- サムネイルの「II」は、「タイトル再生設定」(181ページ)が「タイトル毎レジューム」に設定してあるときには、すべてのタイトルに表示されます。「タイトル連続再生」に設定してあるときには、最後に録画／再生／選択したタイトルだけに表示されます。
- DVD-RAM/R/RWディスクにはいっているタイトルは、手順1のサムネイル表示を他の場面に変えることができます。97ページをご覧ください。
- DVD-R/RWで「見るナビ」表示できるのは、本機で録画したディスクだけです。
- DVD-R/RWでは、録画中は「見るナビ」を表示することはできません。
- 録画中に録画してある別のタイトルを再生する場合は、39ページをご覧ください。
- 録画中または予約録画開始15秒前以内のタイトル／チャプターサムネイルは、黒地に「録画中…」の文字表示となり、選択しても再生できません。

録画した内容を再生する（見るナビ）（つづき）

■ 再生を止めるには

「停止」ボタンを押す

停止

■ 再生を一時停止する（静止画再生）

「一時停止」ボタンを押す

一時停止

• 普通の再生に戻すには、「再生」ボタン、または「一時停止」ボタンを押します。

お知らせ

• 静止画再生中は、音声は再生されません。

■ 最後に止めた位置から再生する（タイトル毎レジューム再生） DVD-RAM

本機では、最後に再生を止めた位置を記憶して、次回にその位置から再生をはじめることができます。

この機能を使うには、「タイトル再生設定」（➡181ページ）を「**タイトル毎レジューム**」に設定します。最後に止めた位置がタイトルごとに記憶され、例えばディスクの中に六つのタイトルが録画してあれば、それぞれを止めた位置から再生を再開（レジューム）することができます。

●タイトルの先頭から再生したいときは

再生中に、「クイックメニュー」ボタンを押したあと、「クイックメニュー」で「タイトル先頭から再生」を選んで「決定」ボタンを押す

●他のタイトルを再生したいときは

「見るナビ」ボタンで「見るナビ　タイトル一覧」画面を表示させて、再生したいタイトルを選ぶ

最後に止めた位置をタイトルごとに記憶しないで、最後の一箇所だけにすることもできます。「タイトル再生設定」（➡181ページ）を「**タイトル連続再生**」に設定します。

●タイトルの先頭から再生したいときは

「スキップ（⏮）」ボタンを、タイトルの先頭になるまで繰り返し押す

●他のタイトルを再生したいときは

「スキップ（⏮/⏭）」ボタンを繰り返し押す

お知らせ

• ディスクの記録内容や状態などの条件によって、タイトルやディスクの先頭から再生が始まるなど、タイトル毎レジューム再生の始まる位置が異なることがあります。
• ディスクによって、タイトル毎レジューム再生の始まる位置が多少ずれることがあります。

■ ダイジェストで再生する（インスタントダイジェスト再生） DVD-RAM

録画された1タイトルを先頭から約5秒間再生した後、約1分間スキップする動作を繰り返す機能です。

録画されている内容をダイジェストで見ることができます。

1）➡57ページの手順1、2を行ない、ダイジェスト再生したいタイトルを選ぶ

2）「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3）方向ボタン（▲/▼）で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す

4）方向ボタン（▲/▼）で「インスタントダイジェスト再生」を選び、「決定」ボタンを押す

インスタントダイジェスト再生が始まります。

お知らせ

• この機能は、DVD-RAMディスクに録画された1タイトル（オリジナルのみ）内でだけ働きます。
• この機能の動作中は、早送り／早戻しなどのいろいろな速さでの再生はできません。
• この機能の動作中に、「決定」ボタンを押すと、そのまま普通の再生になります。
• この機能の動作中に、「停止」ボタンを2回押すと、この機能は停止します。

■ タイトル(オリジナル)の各冒頭部分だけを再生してみて選ぶ(イントロスキャン)

DVD-RAM

1) **停止中、または57ページの手順1を行なったあと、「クイックメニュー」ボタンを押す**

「クイックメニュー」が表示されます。

2) **方向ボタン(▲/▼)で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す**

3) **方向ボタンで「イントロスキャン」を選び、「決定」ボタンを押す**

タイトル1から順に、各タイトルの冒頭部分が約5秒ずつ再生されます。

「スキップ」ボタンで、前後に移動できます。

▶▶I ：次のタイトルへ移動

I◀◀ ：現在のタイトルの先頭へ移動
続けて2回押すと、前のタイトルへ移動

4) **見たいタイトルになったら、「決定」ボタンを押す**

そのタイトルが再生されます。

お知らせ

- イントロスキャンを途中で止めるには、「停止」ボタンを2回押します。
- この機能は、DVD-RAMディスクに録画されたタイトル(オリジナル)に対してだけ働きます。

■ ディスク内のタイトル(オリジナル、プレイリスト(84ページ))をすべて再生する

DVD-RAM

「タイトル再生設定」(181ページ)を「タイトル連続再生」に設定すると、DVD-RAMの全タイトルを、「見るナビ」画面上の順番に、あたかも一本のビデオテープのようにつなげて再生します。

■ ディスク内のタイトル(オリジナル)をすべて再生する(全タイトルORG再生)

DVD-RAM

DVD-RAMの全タイトル(オリジナル)を、「見るナビ」画面上の順番に、あたかも一本のビデオテープのようにつなげて再生します。

1) **停止中に、「クイックメニュー」ボタンを押す**

「クイックメニュー」が表示されます。

2) **方向ボタン(▲/▼)で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す**

例

3) **方向ボタン(▲/▼)で「全タイトルORG再生」を選び、「決定」ボタンを押す**

例

タイトル1の先頭から再生が始まります。

お知らせ

- 全タイトルORG再生を解除するには、「停止」ボタンを2回押します。
(ただし、別タイトル再生(39ページ)で、「全タイトルORG再生」をしているときは、「停止」ボタンを2回押すと、録画が停止しますのでご注意ください。)
または「クイックメニュー」ボタンを押して、「クイックメニュー」を表示させたあと、方向ボタン(▲/▼)で「全タイトルORG再生解除」を選び、「決定」ボタンを押します。
- 最後のタイトルまで再生すると、全タイトルORG再生は終了します。
- 手順3)で「全タイトルORGリピート」を選ぶと、全タイトルORG再生を繰り返します。

録画した内容を再生する(見るナビ)(つづき)

■ 選んだタイトルの詳しい情報を見る

1) ⇨57ページの手順2でタイトル(またはチャプター)を選んだあと、「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「タイトル情報」を選び、「決定」ボタンを押す

選んでいるタイトルの情報が見られます。

例

タイトル情報を変更する

1) 「見るナビ　タイトル情報」を表示中に「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

例

2) 方向ボタン(▲/▼)で各項目を選び、「決定」ボタンを押す

タイトル名入力：

文字入力画面が表示されます。
⇨34ページの要領で、タイトル名を入力します。

チャプタ名入力：
(名前を入力するチャプターを、「頁(◀◀/▶▶)」ボタンで表示させてから選んでください。)
文字入力画面が表示されます。
⇨34ページの要領で、チャプター名を入力します。

チャプタ名削除：
(対象のチャプターを、「頁(◀◀/▶▶)」ボタンで表示させてから選んでください。)

録画日時入力：
日付の項目に移動します。

保護設定：
選んでいるタイトルの保護を設定します。
保護設定のマーク「」が付きます。(⇨53ページ)

ジャンル変更：
サブメニューが表示されます。
方向ボタン(▲/▼)でジャンルを選び、「決定」ボタンを押します。
選んだジャンル名とマークが表示されます。

お知らせ

- 対象のDVD-RAM/R/RWディスクがはいっていないと設定を変更できません。
- DVD-Rディスクのタイトル名などは、残量が少ないときなどに書き換えられなくなる場合があります。
- DVD-R/RWディスクの場合は、タイトルの保護設定はできません。
- 「B」ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- 手順を途中でやめるときは、「見るナビ」ボタンを押します。

■ 本機にはいっているディスクの情報を確認する

1)「見るナビ」ボタンを押す

「タイトル一覧」が表示されます。

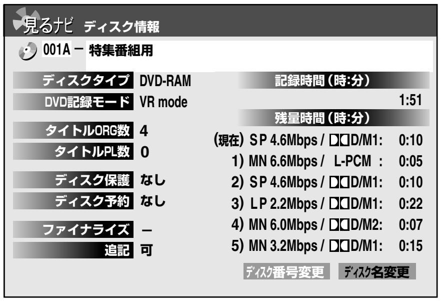
2)「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「ディスク情報」を選び、「決定」ボタンを押す

本機にはいっているディスクの情報を確認できます。

例



ディスク情報を変更する

DVD-RAMのディスク番号やディスク名を変えることができます。

1) 方向ボタン(◀/▶)で「ディスク番号変更」または「ディスク名変更」を選び、「決定」ボタンを押す

2) ⇨34ページの要領で、ディスク名を入力する

ディスク番号を変更するときは「値変更(⏮/⏯)」ボタンを使います。

お知らせ

- 新規のDVD-R/RWディスクの場合にはディスク名の変更ができません。一度録画をした後で設定してください。
- DVD-Rディスクのディスク名は、残量がないときなどに書き換えられなくなる場合があります。

■ タイトル一覧の表示を並べ替える

タイトル一覧の表示を並べ替えたり、ジャンル別の検索をします。

1)「見るナビ」ボタンを押す

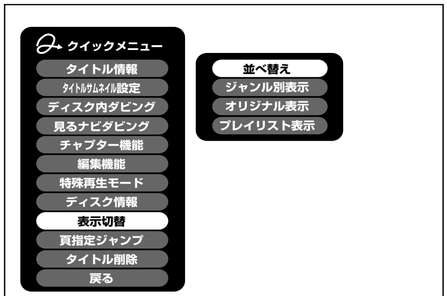
「タイトル一覧」が表示されます。

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「表示切替」を選び、「決定」ボタンを押す

例



4) 方向ボタン(▲/▼)で表示方法を選び、「決定」ボタンを押す

- **並べ替え**
  並べ替える条件に合わせて表示します。
  並べ替えの条件を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す
- **ジャンル別表示**
  登録してあるジャンル別に検索して表示します。ジャンルを方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す
- **オリジナル表示**
  オリジナルタイトルだけ表示します。
- **プレイリスト表示**
  プレイリストタイトルだけ表示します。

お知らせ

- 「並べ替え」、「ジャンル別表示」、「オリジナル表示」、「プレイリスト表示」した結果は、電源を切るまで保持されます。解除するには、クイックメニューの「表示切替」から「並べ替え／絞り込み解除」を選択します。

■ タイトル一覧のページをジャンプする

1) 「見るナビ」ボタンを押す

「タイトル一覧」が表示されます。

2) 「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「頁指定ジャンプ」を選び「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタン、値変更ボタンまたは番号ボタンで指定するページ番号を入力する

例

- 方向ボタン(▲/▼)または「値変更(⏮/⏭)」ボタンまたは番号ボタン：ページ番号を入力
- 「クリア」：入力したページ番号をキャンセル

5) 指定ページ番号を入力後、「決定」ボタンを押す

指定したページのタイトル一覧が表示されます。

■ DVD-VRモードで記録されたDVD-RWディスクを再生する DVD-RW

- DVD-VRモードで記録されたディスクの内容を再生する場合も➡63ページの手順でできます。

お知らせ

- コピーワンスの映像が含まれているものや、ディスクによっては正しく再生されないことがあります。
- 最後に止めた位置から再生する「タイトル毎レジューム」(➡181ページ)は使用することができません。

DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD

DVDビデオディスクを再生する

ビデオCDや音楽用CD、ファイナライズ処理後のDVD-R/RWも同じ手順で再生できます。
録画した内容を再生するには**⇨57ページをご覧ください。**

■ 準備

- テレビやオーディオシステムなど、接続機器の電源を入れ、本機を接続している入力に切り換えてください。
- 再生したいディスクを本機に入れてください。（⇨23ページ）

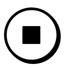
1 「再生」ボタンを押す

再生が始まります。

- ディスクによっては、本機に入れただけで再生が始まることがあります。
- 再生が始まるまで、多少時間がかかることがあります。これは、ディスクに記録されている情報を読み込むための時間です。

■ 再生を止めるには

「停止」ボタンを押す



■ 再生を一時停止する（静止画再生）

「一時停止」ボタンを押す

- 普通の再生に戻すには、「再生」ボタン、または「一時停止」ボタンを押します。

お知らせ

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

お知らせ

- DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネス）を下げると、見やすくなります。

DVDビデオディスクを再生する(つづき)

最後に止めた位置から再生する(続き再生)

DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

「停止」ボタンを押して再生を中断しても、その続きから再生できます。

再生を止めたあと、「再生」ボタンを押すと、止めた続きが再生されます。
再生を止めたあと、もう一度「停止」ボタンを押すと続き再生が解除されます。

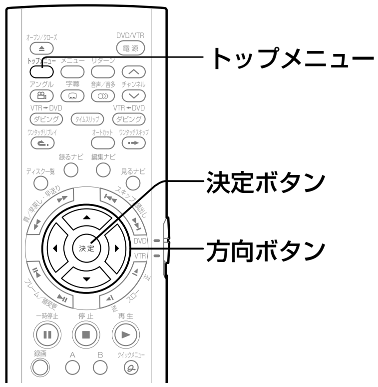
お知らせ

- 以下のときは、続き再生の機能が働きません。
  - 初期設定画面で、「DVDディスクメニュー言語」(174ページ)や「DVDパレンタルロック」(175ページ)の設定をしたとき
  - PBC付きビデオCDで、「PBC」(177ページ)を「入」の設定で再生しているとき
  - ディスクトレイを引き出したとき
  - DVD-R/RWをファイナライズしたとき
  - DVD-RWのファイナライズを解除したとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- 続き再生中に初期設定画面を使って設定を変えても、続き再生を解除したあとでないと働かない場合があります。

トップメニューを使って再生する

DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO

DVDビデオディスクには、全体の構成を確かめたり、見たい場面が選べるように、トップメニューと呼ばれるメニュー画面が記録されている場合があります。たいていは一定の場所で自動的に表示したり、必要なときに呼び出すようになっています。詳細はディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を説明します。それぞれのディスクの説明書もあわせてご覧ください。



1)「トップメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタンで再生したいタイトルを選ぶ

各タイトルに番号が付いている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3)「決定」ボタンを押す

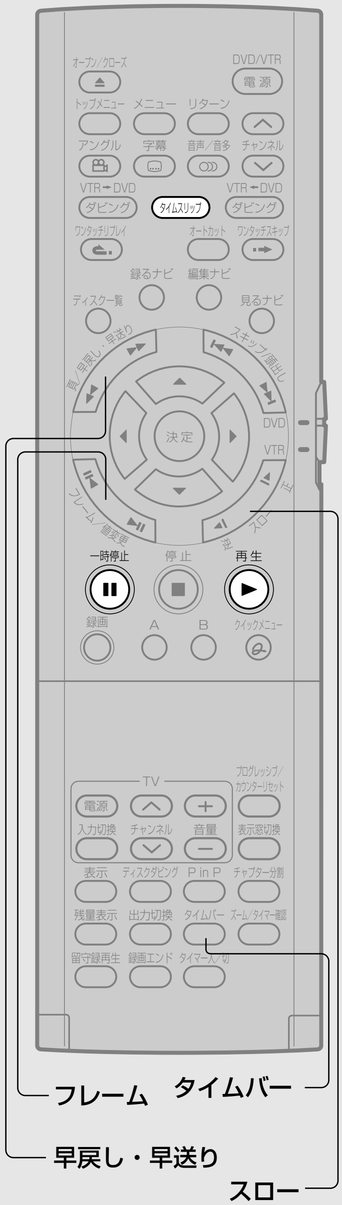
お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、「決定」ボタンを押さずにもう一度「トップメニュー」ボタンを押すと、もとの位置から再生が始まります。(ディスクによって異なります。)
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った再生はできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE(タイトル)」ボタンと呼んでいる場合があります。

DVD-RAM

放送中の番組をとめてあとで見る(TVお好み再生)

放送中の番組やこれから見る番組を、一時的にDVD-RAMディスクに記録することで、ふいの電話や来客などがあっても番組を一時停止し、あとで続きを見ることができます。繰り返したりスローにしたりと、決定的瞬間をじっくり見るときにも役立ちます。



1 本機を通して番組を見ているとき、または番組が始まる直前に、「タイムスリップ」ボタンを押す

現在見ている番組の映像が一時停止状態になります。
ボタンを押してからの放送内容は、DVD-RAMディスクに一時的に記録されていきます。

2 「一時停止」ボタン、または「再生」ボタンを押して、止めた続きを見る

- 現在見ている映像と、実際の放送との位置関係は、タイムバーで確認できます。「タイムバー」ボタンを押してください。
- すぐには一時停止を解除できない場合があります。

3 お好みで、見たい場面を以下の操作で探す

早戻し／早送り：「早戻し・早送り」ボタンを押す
スロー／逆スロー再生：「スロー」ボタンを押す
コマ送り／コマ戻し：「一時停止」ボタンを押してから、「フレーム」ボタンを押す

- 普通の速さの再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。
- 早送りできるのは、実際の放送の数十秒前までです。

4 終了するときは、「タイムスリップ」ボタンを押す

DVD-RAMディスクへの記録が止まります。
書き込んだ内容を保存するか消去するかを確認するメッセージが表示されます。
方向ボタン(◀/▶)で「はい」「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押します。

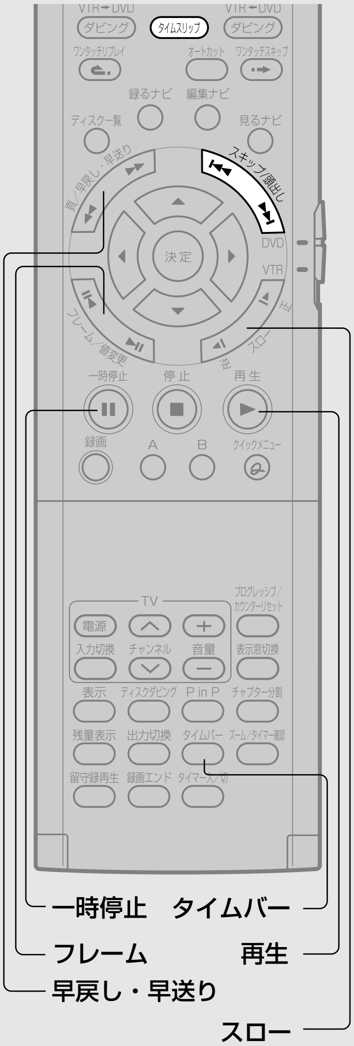
お知らせ

- TVお好み再生は、本機で録画をしているときはできません。
- TVお好み再生はDVD-RAMディスクに空き容量がなくなると停止します。空き容量がまったくない場合は動作しません。
- TVお好み再生中は、録画予約はできません。
- TVお好み再生中は、早聞機能(➡67ページ)は働きません。
- TVのお好み再生は、ご使用のディスクの状況によって再生画面が数秒間後戻りしたり、一時停止する場合があります。

DVD-RAM

録画中に録画済みの部分を見る（追っかけ再生）

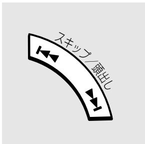
録画しながら、同じ番組の録画済みの部分に戻って再生することができます。録画の終了まで待たずに見られるので、特に長時間の番組などに便利な機能です。



1 DVD-RAMディスクの録画中に、「タイムスリップ」ボタンを押す

現在録画している番組が再生状態になります。

2 「スキップ」ボタンを押す



番組の先頭まで戻り、自動的に再生が始まります。

- 現在見ている場面と、実際の放送との位置関係は、タイムバーで確認できます。「タイムバー」ボタンを押してください。

3 お好みで、見たい場面を以下の操作で探す

早戻し／早送り：　「早戻し・早送り」ボタンを押す
スロー／逆スロー再生：　「スロー」ボタンを押す
コマ送り／コマ戻し：　「一時停止」ボタンを押してから、「フレーム」ボタンを押す

- 普通の速さの再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。
- 早送りできるのは、録画している実際の放送の数十秒前までです。

4 終了するときは、「タイムスリップ」ボタンを押す

画面が放送中の映像に戻ります。

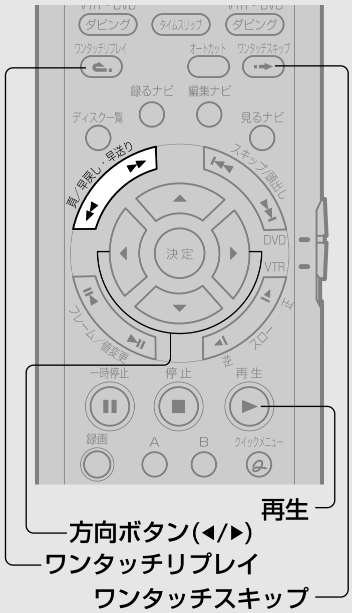
お知らせ

- 追っかけ再生中に空き容量がなくなると録画は停止しますが、録画された分までは再生を続けます。空き容量がない場合は録画ができないので、追っかけ再生も動作しません。
- 追っかけ再生の再生画像が出るまでに、時間がかかることがあります。
- 追っかけ再生では実際の放送位置には追いつきません。見ている映像は、実際の放送より数十秒の遅れがあります。
- 追っかけ再生中は、録画予約はできません。
- 追っかけ再生中に、終了後の電源制御の設定はできません。
- 「終了後電源切る」を設定していても、追っかけ再生中に録画終了時刻がきた場合、電源は切れません。
- ディスクの記録状態によっては、再生画像が数秒間後戻りしたり、一時停止することがあります。
- 追っかけ再生中は、早聞機能（67ページ）は働きません。

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD

いろいろな速さの再生

早送り / 早戻しする　DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD



1　普通の再生中に、「早戻し・早送り」ボタンを ◀◀ または ▶▶ の方向に押す

▶▶：早送り
◀◀：早戻し

「早戻し・早送り」ボタンを押すたびに、それぞれの再生する速さが切り換わります。
「▶▶」の表示の速度では、音声付きで早送りができます。（早見早聞機能）
（DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD-VIDEOの場合）

- DVD-RAMの録画中に、DVD-RAMで別タイトル再生をしながら早送りをする場合、早聞機能は働きません。

お知らせ

- 早送り／早戻しの速さは、再生するディスクによって異なります。
- ディスクおよび記録状態によっては、早聞き再生の音声や映像が乱れることがあります。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」ボタンを押す

■ 内容を飛ばして見る（ワンタッチスキップ）

再生中に、「ワンタッチスキップ」ボタンを押す

ボタンを押すたびに、設定した時間分をスキップします。
スキップする時間の設定は、「各種操作設定」の「ワンタッチスキップ設定」で設定できます。（➡181ページ）

■ 内容を分割して飛ばす（1/20分割ジャンプ）

再生中に、方向ボタン（◀/▶）を押す

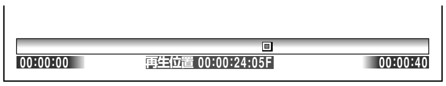
ボタンを押すたびに、再生中のタイトルやトラックの1/20にあたる時間をスキップします。

タイトルやトラックの長さが1分以上の場合だけです。

■ タイムバー表示

早送り／早戻し中は、画面にタイムバーが表示されます。

例



詳細は➡79ページをご覧ください。

■ 少し前に戻る（ワンタッチリプレイ）

再生中に、「ワンタッチリプレイ」ボタンを押す

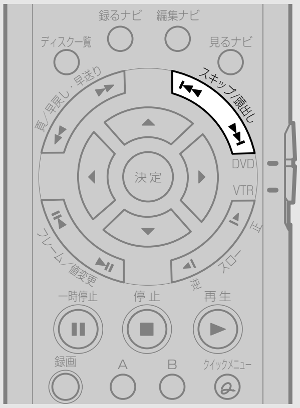
ボタンを押すたびに、設定した時間分を前に戻し、そこから再生を再開します。
戻す時間の設定は「各種操作設定」の「ワンタッチリプレイ設定」で設定できます。（➡181ページ）

お知らせ

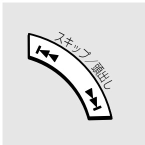
- ディスクによっては、ワンタッチリプレイができないものもあります。
- ディスクの構造上、機能が制限される部分があります。
- 再生状態によっては、操作したとおりに戻らない場合があります。

いろいろな速さの再生(つづき)

前後のチャプター／トラックへスキップする DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD



1 「スキップ(|◀◀/▶▶|)」ボタンを繰り返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を選ぶ



選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

▶▶|：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

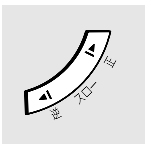
|◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
続けて二度押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

お知らせ

- タイトルによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- DVD-RAMディスクの再生では、「タイトル再生設定」(⇨181ページ)が「タイトル連続再生」に設定されているときは、同じディスク内の他のタイトルのチャプターも頭出しできます。「タイトル毎レジューム」に設定されているときは、現在のタイトル内のチャプターだけが頭出しできます。
- DVDビデオディスクとDVD-R/RWディスクの場合、「DVDビデオタイトル停止」(⇨176ページ)を「無」に設定しているときは、他のタイトルにジャンプします。「スキップ(|◀◀)」ボタンで前のタイトルに戻ったときは、そのタイトルの最初のチャプターが頭出しされます。「DVDビデオタイトル停止」が「有」に設定されているときは、現在のタイトル内だけでチャプターの頭出しができます。

スローモーションで再生する DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD

1 再生中に、「スロー」ボタンを押す



|▶：進む方向のスローモーションで再生します。

◀|：戻る方向のスローモーションで再生します。

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

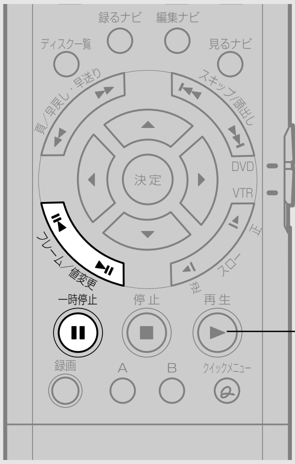
お知らせ

- スロー再生はスムーズな連続動画にはなりません。
- ビデオCDでは戻る方向のスローモーションはできません。
- 速さの表示はおおよその目安です。
- スロー再生中は、音声は再生されません。

■ 普通の再生に戻すには

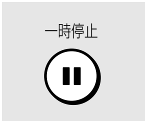
「再生」ボタンを押す

コマ送り／コマ戻しで再生する DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD



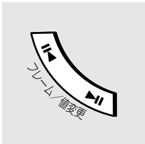
再生

1 再生中に、「一時停止」ボタンを押す



静止画になります。

2 「フレーム(II◀/▶II)」ボタンを押す



▶II方向：コマ送り
II◀方向：コマ戻し

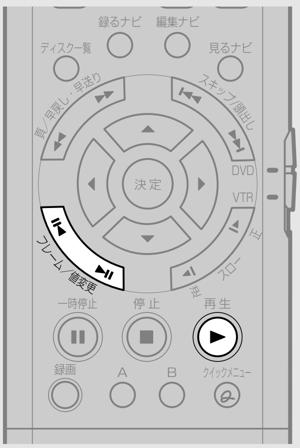
■ 普通の再生に戻すには

「再生」ボタン、または「一時停止」ボタンを押す

お知らせ

- コマ送り／コマ戻し再生中は、音声は再生されません。
- コマ戻し再生は、スムーズな連続動画になりません。
- コマ送り／コマ戻し時には、画面が前後に数コマ動くことがあります。
- 位置によっては再生されないコマがあります。
- ビデオCDはコマ戻しできません。

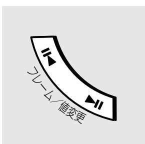
静止画をめくる（静止画が記録されたディスクの再生） DVD-RAM DVD-VIDEO



1 「再生」ボタンを押す

静止画の1枚目が再生されます。
DVD-Videoの場合、ディスクの作りによって異なりますが、「再生」ボタンで続けて次の静止画を表示する場合や、「決定」ボタン、「スキップ」ボタンで静止画を切り換えることができる場合があります。

2 「フレーム(II◀/▶II)」ボタンを押す



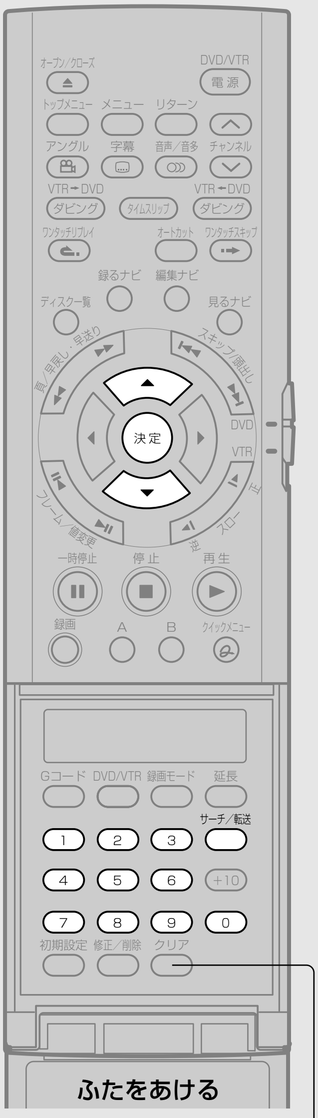
▶II方向：次の静止画が再生されます。
II◀方向：前の静止画が再生されます。

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD

番号を使ってサーチする

番号を指定して頭出しする

記録内容の単位である「タイトル」、「チャプター」、「トラック」には、順番に番号がふられています。この番号を使って頭出しします。



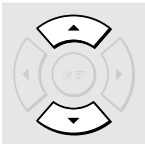
クリア

1 「サーチ」ボタンを押す

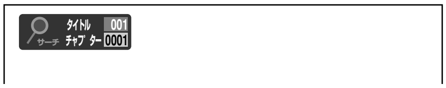
ビデオCD／音楽用CDのときは、手順2は不要です。

例：

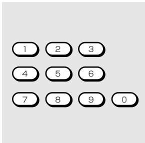
2 方向ボタン(▲/▼)で、頭出し先(「タイトル」または「チャプター」)を選ぶ



例：チャプターを頭出しする



3 番号ボタンで、頭出し先の番号を入力する



例：チャプター／トラック番号25を入力するには「2」→「5」の順に押す

4 「決定」ボタンを押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- 「クリア」ボタンを押すと、入力した番号の表示が消えます。設定画面を消すときは、「サーチ」ボタンを数回(ディスクの種類によって異なります)押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- DVD-RAM/R/RWディスクでタイトルを削除すると、以降のタイトルは番号が繰り上がります。
- DVD-RAMディスクでは、新たに録画したタイトル(オリジナル)は、タイトル(プレイリスト)の前に挿入され、タイトル(プレイリスト)は番号が一つずつ繰り下がります。

経過時間を指定して頭出しする（タイムサーチ）

1 「サーチ」ボタンを押す

ディスクの種類で押す回数が異なります。
下の表示が出るまで押してください。

例

2 番号ボタンと方向ボタン(◀/▶)で時間を入力する

例：1時間25分30秒を入力するには

$\underset{\text{時間}}{\text{「0」→「1」}}$→「▶」→$\underset{\text{分}}{\text{「2」→「5」}}$→「▶」→$\underset{\text{秒}}{\text{「3」→「0」}}$

3 「決定」ボタンを押す

指定したところから再生が始まります。

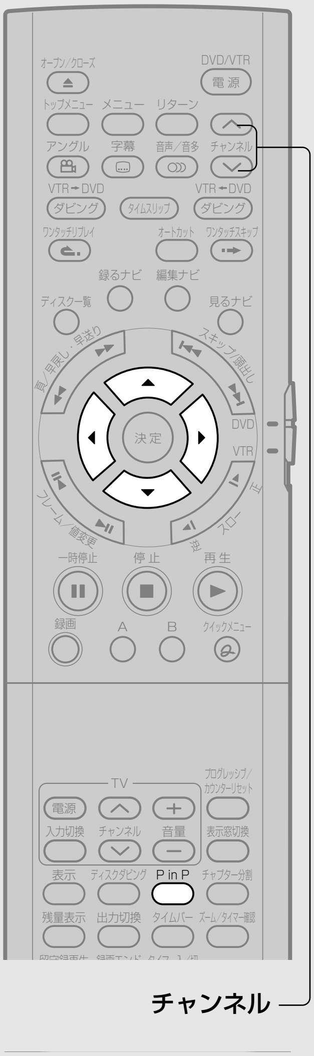
お知らせ

- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。
- タイムサーチできるのは、ディスクの種類によって異なります。DVD-RAM/R/RWディスク、DVDビデオディスクでは現在選択している同じタイトル内、ビデオCD／音楽用CDでは現在選択している同じトラック内です。
- 「クリア」ボタンを押すと、入力した項目の時間表示が「00」になります。

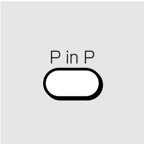
DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD

子画面で見る(P in P再生)

再生しながら、子画面で放送中の番組を見ることができます。(P in P：ピクチャーインピクチャー)

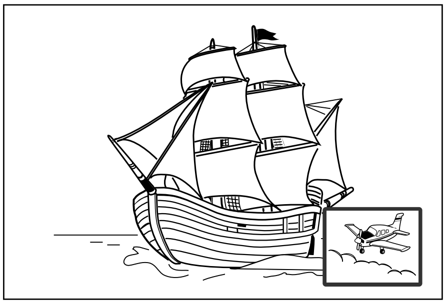


1 再生中に、「P in P」ボタンを押す

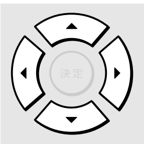


子画面(放送中、または録画中の番組)が表示されます。

例

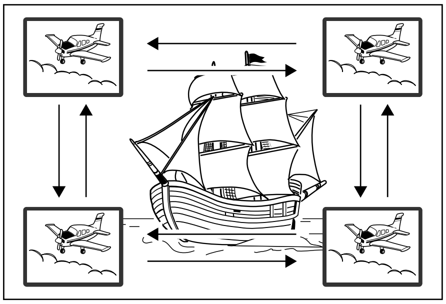


2 方向ボタンを押して、子画面を配置する場所を選ぶ



表示できる場所は以下の四つです。

例



「↑／↓／←／→」は移動できる方向です。
子画面を消すには「P in P」ボタンを押します。

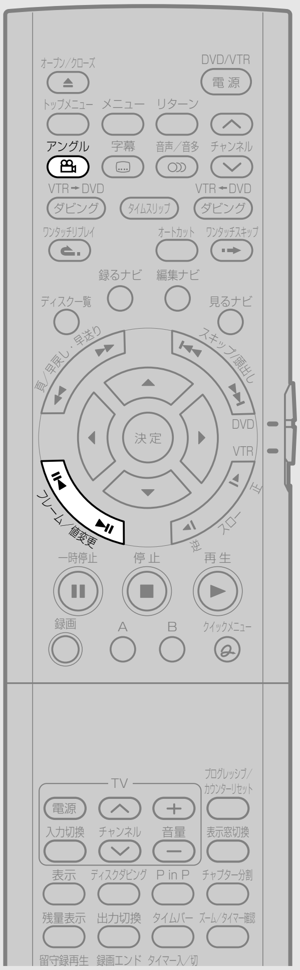
お知らせ

- 子画面に表示されている放送中の番組は「チャンネル」ボタンで選択できます。
- P in P機能は再生動作中以外は動作しません。
- 再生中の画面と子画面の入れ換えや、音声の切り換えはできません。
- TVお好み再生や追っかけ再生中に「P in P」ボタンを押すと、放送中の映像が子画面に表示されます。
- 位置を変更してP in P機能を中止した場合、再度「P in P」ボタンを押すと、変更した場所に子画面が表示されます。ただし、本機の電源を切った場合は、右下の表示に戻ります。
- VTR→DVDダビング、DVD→VTRダビング中はP in P機能は動作しません。

DVD-VIDEO

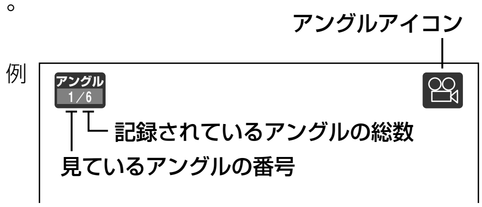
アングルを変えて見る

複数のカメラアングルで記録されている（マルチアングル）部分では、画像を好きなアングルに切り換えられます。

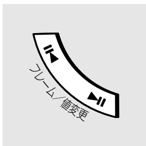


1　再生中に、「アングル」ボタンを押す

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。アングルアイコンが表示されているときに、好きなアングルに切り換えることができます。



2　アングル番号の表示中に、「値変更」ボタンを押して、好きなアングルを選ぶ



「アングル」ボタンを数回押してもアングルが選べます。

- アングル番号表示は操作してから約3秒たつと消えます。

お知らせ

- 一時停止中もアングルが選べます。このときは再生をはじめてからアングルが切り換わります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- ディスクによっては、アングル番号が切り換わっても映像は切り換わらない場合があります。

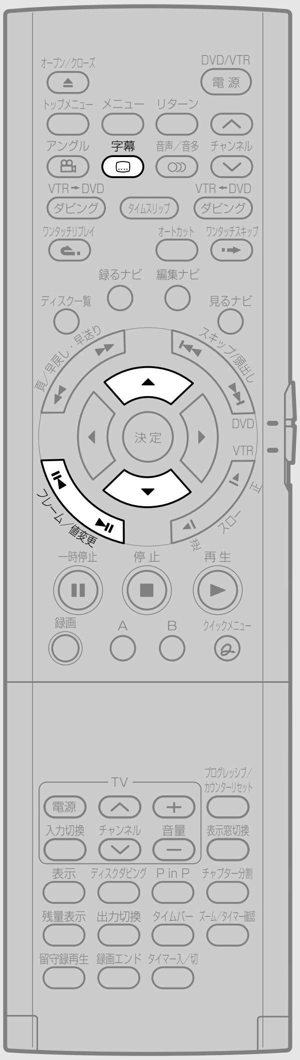
■ テレビ画面にアングルアイコンが出ないようにするには

停止中に初期設定の「画面表示」を「切」に設定します。（➡180ページ）
ただし、「切」にするとアングルアイコン以外も表示されません。
アングルを切り換えたいときは、本体表示窓のアングルアイコンの点滅中に切り換えます。

DVD-VIDEO

字幕の表示と切り換え

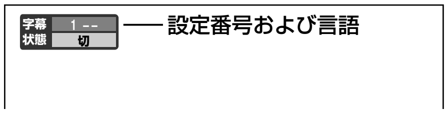
字幕が記録されているディスクでは、再生画面に字幕を表示できます。
複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、好きな字幕に切り換えられます。



1 再生中に、「字幕」ボタンを押す

現在の字幕設定を表示します。

例



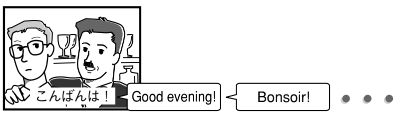
言語名は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（195ページ）と照らし合わせてください。

2 方向ボタン（▼）で、「状態」にカーソルを置き、「値変更」ボタンで「入」を選ぶ

すでに「入」が表示されているときはこの手順は不要です。手順3に進んでください。

3 方向ボタン（▲）で、「字幕」にカーソルを置き、「値変更」ボタンで好きな字幕言語を選ぶ

表示されない字幕言語はディスクに記録されていません。



- 字幕設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
- 再生している場所によっては、「入」を選んでも、すぐには字幕が表示されないことがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切り換えを、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

■ 字幕を非表示にするには

上の手順2で、「値変更」ボタンで「切」を表示させる

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD

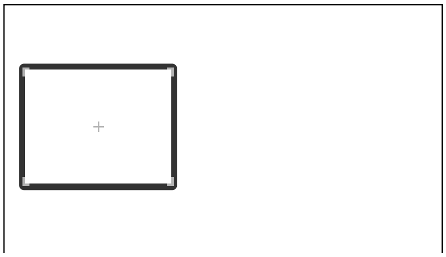
拡大して見る(ズーム)

再生画面や受信画面を拡大できます。

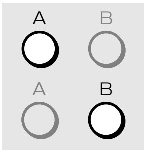
1 「ズーム」ボタンを押す

画面にズームガイドが表示されます。

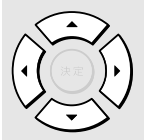
例



2 ズームする倍率と場所を選ぶ



- **「A」ボタン**：
  ズームする倍率が上がります。
- **「B」ボタン**：
  ズームする倍率が下がります。



- **方向ボタン**：
  ズームする場所が移動します。

- **「クリア」ボタン**：
  ズームする部分が画面の中央に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、ズームできないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- ズーム中、ディスクに記録されているメニューの機能を使うと、ズームは解除されます。
- 「TV画面形状」(➡177ページ)の設定によって倍率は異なります。
- GUI表示中は、ズームできません。
- ズーム中に再生を停止したり、停止状態を再生にしたりすると、ズームは解除されます。
- ズーム表示中は、3D-DNR機能(➡178ページ)は働きません。
  DVD→VTRダビング実行中は、ズーム機能は働きません。
- ズーム中は、DVD→VTR、VTR→DVDダビングを開始できません。

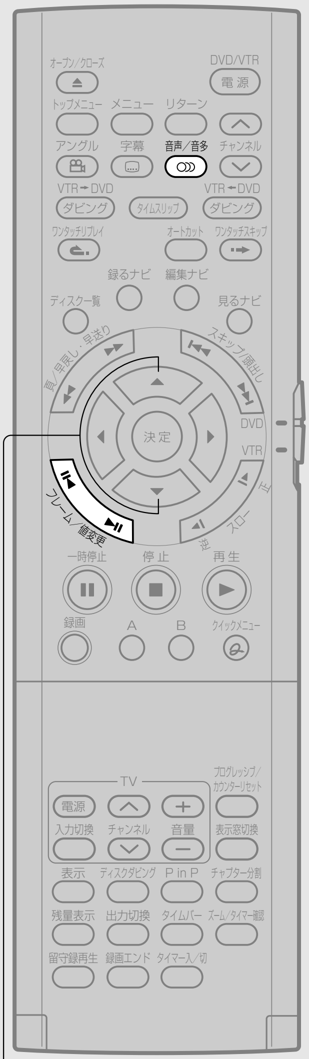
■ ズームを解除するには

「ズーム」ボタンを押す

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD

音声の切り換え

複数の音声が記録されているディスクでは、好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。



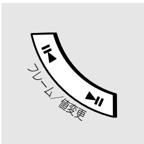
方向ボタン（▲/▼）

1 再生中または放送受信中に、「音声/音多」ボタンを押す

現在の音声設定が表示されます。

言語名がコードで表示される場合があります。
言語コード表（➪195ページ）と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に、「値変更」ボタンで好きな音声を選ぶ



ディスクや放送の種類によって、音声の切り換わりかたが異なります。

- DVD-RAM 、およびテレビ放送受信中
  ステレオ音声の番組
  「ステレオ」(左の(主)音声と右の(副)音声)→「ステレオL」(左の(主)音声)→「ステレオR」(右の(副)音声)(→「ステレオ」に戻る)

  二重音声の番組
  「主」(主音声)→「副」(副音声)→「主＋副」(主音声＋副音声)(→「主」に戻る)

- DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO
  ディスクに記録されている音声の、言語・音声方式・出力チャンネル数

  例

- VCD
  「ステレオ」→「ステレオL」→「ステレオR」(→「ステレオ」に戻る)

音声設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

方向ボタン(▲/▼)で「出力」を選ぶと、「値変更」ボタンで音声出力方式（➪179ページ）の切り換えができます。

お知らせ

- DVDビデオディスクを使用しているとき、ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使ってする場合があります。このときは、「メニュー」ボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定（174ページ）の音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。
- ビットストリーム／PCM音声出力端子でアンプなどに接続する場合、二カ国語の音声切換ができない場合があります。このようなときは「音声出力設定」を「PCM」にしてください。
- 「DVD互換モード」（183ページ）を「入」にして録画したタイトルは、二カ国語の音声の切り換えはできません。DVD-R／RWディスクに録画する場合は、「DVD互換モード」を「切」にしても、「入」で録画されます。
- DVD→VTRダビング実行時は音声出力は「L＋R」に固定され、音声の切り換えはできません。

■ 出力される音声の種類

ディスク	音声方式		初期設定画面での「音声出力設定」（179ページ）と出力端子					
			「ビットストリーム」		「アナログ 2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子
DVDビデオディスク*	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
		96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	—	96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	—	96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
	DTS		ビットストリーム	—	ビットストリーム	—	—	—
	MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
ビデオCD	MPEG1		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
	DTS		ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）
DVD-RAM/DVD-RW/DVD-Rディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM 48 kHz/16 bit		48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
	MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit

＊DVDビデオディスクには本機で作成したDVD-R/RWディスクは含まれません。
上表で「（ノイズ）」の表示のある接続と設定はしないでください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

動作と設定の状態を画面で確認する

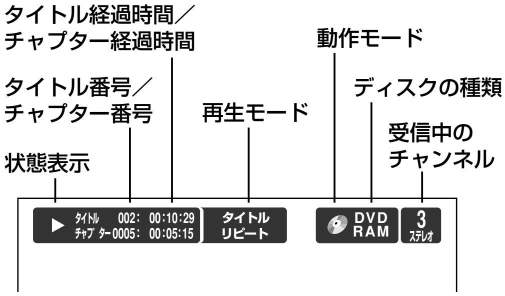
現在どの部分をどのような設定条件で操作しているかなどを、画面に表示させて確認できます。

状態表示と設定状況表示

1 「表示」ボタンを押す

以下のような状態表示が出ます。（ディスクによって内容は異なります。）

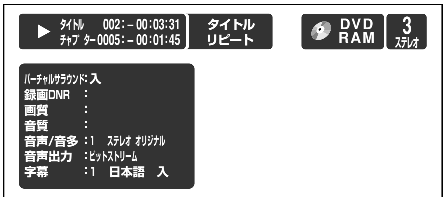
例：DVD-RAMディスクの再生中



2 もう一度「表示」ボタンを押す

本機の設定状態と再生残時間などが表示されます。（ディスクによって内容は異なります。）

例



3 表示を消すときは、もう一度「表示」ボタンを押す

タイムバーを使う

タイムバーとは、再生や録画で、現時点と全体との時間の関係を図式化した表示です。

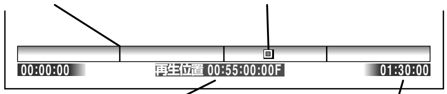
方向ボタン（▲/▼）

1 再生中または録画中に、「タイムバー」ボタンを押す

タイムバーが表示されます。（ディスクによって内容は異なります。）

例：再生中

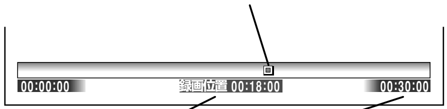
チャプター境界　ロケーター（現在位置を示します。）



経過時間　再生中のタイトルの総時間数（ビデオCD、音楽CDの場合は、ディスクの総時間数）

例：録画中

ロケーター（現在位置を示します。）



経過時間　録画経過時間（30分単位）（ただし終了時刻30分前からは終了時刻）

お知らせ

- 時間の表示はおおよその目安です。
- DVD→VTRダビング実行時は、状態表示・タイムバーは表示されません。

■ タイムバーの表示位置を変更するには

タイムバー表示中に方向ボタン(▲/▼)を押す

標準と下の2段階で表示位置が切り換えられます。

■ タイムバーを消すには

「タイムバー」ボタンを押す

クイックメニューで選べる機能

項目の例を紹介します。これ以外にも、他のページで説明している項目もあります。
クイックメニューの使いかたについては、⇨26ページもご覧ください。

■ 繰り返し再生する（リピート再生）

DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD

ディスクから、再生したい部分だけを繰り返します。

1）再生中に「クイックメニュー」ボタンを押す

2）方向ボタン（▲/▼）で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す

特殊再生モード

サブメニューが出ますので、方向ボタンと「決定」ボタンで次の項目を選びます。

A-Bリピート :

タイトル（またはトラック）のうち、指定した範囲だけを繰り返します。
これを選んで「決定」ボタンを押すと、次の表示が出ます。手順1）～2）を行なってください。

例

手順を中止するには「B」ボタンを押します。

1）繰り返したい範囲の始点になったら「決定」ボタンを押す

ボタンを押したところがA点（始点）として記憶されます。

表示が「B点設定」に変わります。

2）繰り返したい範囲の終点になったら「決定」ボタンを押す

ボタンを押したところがB点（終点）として記憶され、A点とB点の間の繰り返し再生が始まります。

タイトルリピート :

タイトルを繰り返します。

チャプターリピート :

チャプターを繰り返します。

トラックリピート VCD　CD :

トラックを繰り返します。

ディスクリピート

DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD :

ディスク全体を繰り返します。

全タイトルORGリピート DVD-RAM :

ディスクのタイトル（オリジナル）全部を繰り返します。

全タイトルPLリピート DVD-RAM :

ディスクのタイトル（プレイリスト）全部を繰り返します。

リピート解除 :（リピート再生中）

普通の再生に戻ります。
DVD-RAMの場合は停止します。

お知らせ

- ディスクによってはリピート再生ができないものがあります。
- ランダム再生中は、リピート再生はできません。
- リピート再生中に「停止」ボタンを押すと、リピート再生は解除されます。
- DVD-RAMのリピート再生中は、停止以外の操作（⇨67～69ページ）はできません。

■ 順不同に再生する（ランダム再生）

DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD

ディスクを、いろいろな単位で順不同に再生します。

1）再生中または停止中に「クイックメニュー」ボタンを押す

2）方向ボタン（▲/▼）で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す

特殊再生モード

サブメニューが出ますので、方向ボタンと「決定」ボタンで次の項目を選びます。

タイトルランダム :

ディスクの全タイトルを、順不同に再生します。
各タイトルはチャプター1から順に再生されます。

チャプターランダム :

タイトル内の全チャプターを、順不同に再生します。

トラックランダム :

ディスクの全トラックを、順不同に再生します。

ランダム解除 ：(ランダム再生中)
普通の再生に戻ります。

お知らせ
- ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
- メモリー再生中はランダム再生はできません。
- リピート再生中はランダム再生はできません。
- ランダム再生中に「停止」ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

■ 好きな順番で再生する(メモリ再生)

DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO　VCD　CD

ディスクから選んだ30個までのタイトル、チャプター、トラックを、そのつど好きな順に並べて再生できます。
(DVD-RAMディスクの記録内容を好きな順番で再生する場合は、プレイリストを作成します。詳しくは「編集」の章をご覧ください。)

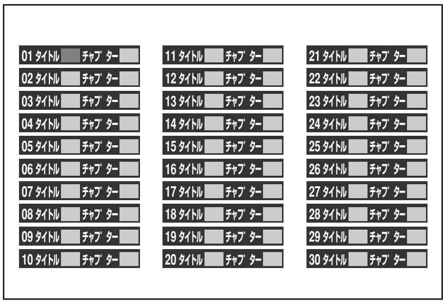
1) 再生中または停止中に「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す

特殊再生モード
サブメニューが出ますので方向ボタンと「決定」ボタンで次の項目を選びます。

メモリリスト
これを選んで「決定」ボタンを押すと画面表示が出ます。以下の手順を行なってください。

例



1) タイトル、チャプター、トラックの番号を、再生したい順に番号ボタンで入力する

番号は3桁で入力します。

番号が1桁や2桁の場合は、はじめに「0」を入力します。(例「0」「0」「3」)

入力した番号を取り消すには、「クリア」ボタンを押します。

チャプター番号を入力するときは、方向ボタン(◀/▶)を押してカーソルの位置を変えます。

2) 方向ボタン(▲/▼)を押して、次の欄を選び、手順1)を行う

同じタイトル内のチャプターを続けて設定するときは、タイトル番号を入力する必要はありません。

必要なだけ、この手順を繰り返します。

30個まで入力できます。

3) 「決定」ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

メモリ ：(普通の再生中)
メモリー再生を1件ずつ設定できる入力エリアを表示します。

メモリ解除 ：(メモリー再生中)
普通の再生に戻ります。

メモリリピート ：(メモリー再生中)
メモリー再生を繰り返します。

お知らせ
- ディスクによってはメモリー再生ができないものがあります。
- ディスクにないタイトル番号、チャプター番号、トラック番号を入力しても再生されません。
- メモリー再生中には、メモリー内容の設定／変更はできません。変更するときは、「停止」ボタンを押して、メモリー再生を解除してください。
- 本体の電源を切ったときは、設定したメモリーの内容が消去されます。
- メモリ画面、メモリリスト画面の表示は「B」ボタンを押すと消えます。

■ 現在のビットレートを表示する

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO

再生しているタイトルの画質のビットレートを表示します。

1) 再生中に「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「ビットレート」を選び、「決定」ボタンを押す

ビットレート

お知らせ

- ビットレート表示を消すには、もう一度この項目を選びます。

■ タイトルの情報を見る

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

1) 再生中に「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「タイトル情報」を選び、「決定」ボタンを押す

タイトル情報

■ クイックメニューから抜ける

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

もう一度「クイックメニュー」ボタンを押す

または

方向ボタン(▲/▼)で「戻る」を選び、「決定」ボタンを押す

戻る

本章での操作は、リモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側（DVDモード）にして行なってください。

DVD 編集

好きな場面だけを集めて、お気に入りの映像集が簡単に作れます。

- **編集の前に**
- **チャプター作成**
- **プレイリスト編集**
- **サムネイル設定**
- **ディスク内ダビング**
- **一括削除**
- **オリジナルタイトル結合**
- **DVD-Videoファイナライズ処理をする**
- **DV連動録画**

編集の前に

DVD-RAMディスクに録画した内容を編集するために必要な情報です。録画をしたあとはぜひお読みください。

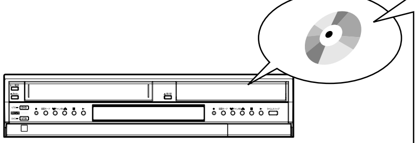
基本的な編集の手順

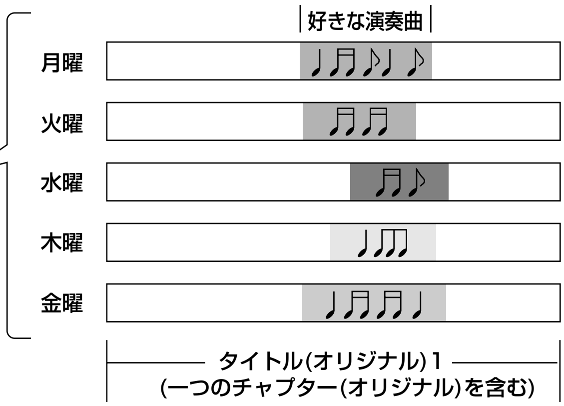
チャプター作成 → プレイリスト作成 → ダビング（お気に入りのオリジナルが完成）

編集は、タイトルとチャプターを単位にして行ないます。タイトルとチャプターは、本機の内部で「プレイリスト」と「オリジナル」という二つの種類に分けて管理されています。編集の際には、録画したタイトル（オリジナル）にチャプター境界を作成し、必要なチャプター（オリジナル）を集めてプレイリストを作成します。「プレイリスト」を同一ディスク内にダビングするとタイトル（オリジナル）になります。
以下の例で、「プレイリスト」、「オリジナル」と編集の手順について説明します。

例：月曜から金曜まで録画した音楽番組から好きな演奏曲だけを集めます。

● １回の録画で一つのタイトルができます。

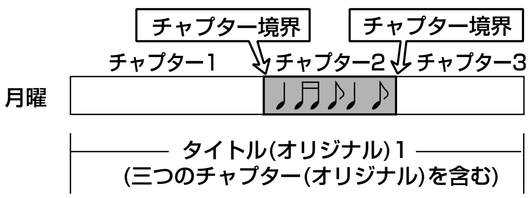




上の例では、音楽番組を月曜から金曜の5回分録画したので、五つのタイトルができています。
このように、ご自分で**録画した内容**を、**「タイトル（オリジナル）」**と呼びます。
タイトル（オリジナル）に含まれるチャプターはすべて、チャプター（オリジナル）です。

● それぞれのタイトル（オリジナル）の中で、必要な範囲（好きな演奏曲）を指定します。（チャプター作成）

範囲を指定するためにチャプターを作ります。
好きな演奏曲の始まる部分と終わる部分にチャプター境界を作ることで、好きな演奏曲が一つのチャプターになります。
右の例では、一つのタイトル（オリジナル）の中に、三つのチャプター（オリジナル）ができました。



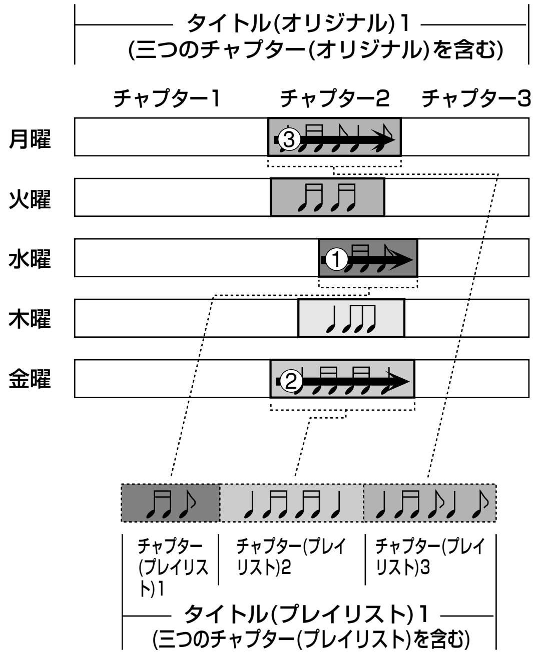
● **好きな演奏曲のチャプターだけを集めます。（プレイリスト作成）**

曲目や曲順を自由に選べます。また一つのタイトルとして名前をつけておくことができます。

集めるそれぞれの要素を「パーツ（部品）」といいます。右の例では、水曜、金曜、月曜の三つの曲が「パーツ」です。
パーツを集めるとき、もとになるチャプター（オリジナル）はそのままタイトル（オリジナル）の中に残っています。

それぞれのパーツは、もとのチャプター（オリジナル）を複製して新たに作られるわけではありません。実際の録画内容は持たず、再生する項目と順番、といった情報だけの形で存在します。（右の例では、「月曜、水曜、金曜」という曲目と「水曜→金曜→月曜」という曲順）
実際の再生時には、もとのチャプター（オリジナル）の内容が使われます。

パーツは、オリジナルから何度でも作成でき、また同じパーツでも組合わせや順序を変えて、別のタイトルを作れます。
チャプターだけでなく、タイトルや他のプレイリストもパーツとして使うことができます。



タイトル(プレイリスト)1を再生すると、実際は①②③が再生されます。

実際の録画内容であるタイトル（オリジナル）やチャプター（オリジナル）を再生する一方で、パーツという別の単位を併用して管理することで、何とおりものタイトルを、ディスクの使用量をふやすことなく作ることができます。

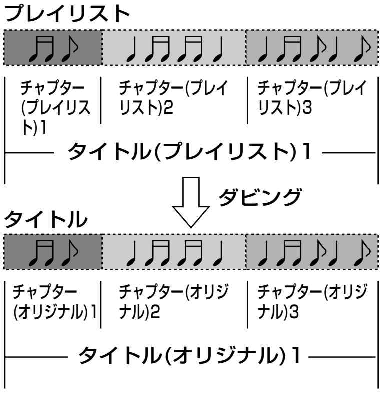
このように、パーツを集めて作った**仮想のタイトルやチャプター**を、**「タイトル（プレイリスト）」**、**「チャプター（プレイリスト）」**と呼び、タイトル（オリジナル）、チャプター（オリジナル）と区別します。
画面表示では、オリジナルを「ORG」、プレイリストを「PL」と表示します。

（つづく）

編集の前に(つづき)

● **集めた演奏曲をオリジナルのタイトルにします。(ダビング)**

プレイリストを作成しておけば、集めたパーツをプレイリストの順番で再生できますが、元のタイトルを削除したい場合などは、作成したプレイリストをダビングして、タイトル(オリジナル)にします。



お知らせ

- タイトル(プレイリスト)やチャプター(プレイリスト)は、それぞれタイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)をもとにして成り立っています。したがって、タイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)に変更を加えたり削除をしたときは、関連するタイトル(プレイリスト)やチャプター(プレイリスト)すべてがその影響を受けます。
- 録画された内容によっては編集できない場合があります。(例えば静止画を含むタイトルの場合)
- 不要部分を削除したタイトルの境界部分や、異なるパーツから構成されたプレイリストのタイトルは、シームレス(継ぎ目のない)再生になりません。

以上をふまえて、実際に編集をしてみましょう。

「チャプター作成」(⇨87ページ)、「プレイリスト編集(必要な場面を集める)」(⇨92ページ)をご覧ください。

ダビングをするときは「ディスク内ダビング」(⇨100ページ)をご覧ください。

DVD-RAM

チャプター作成

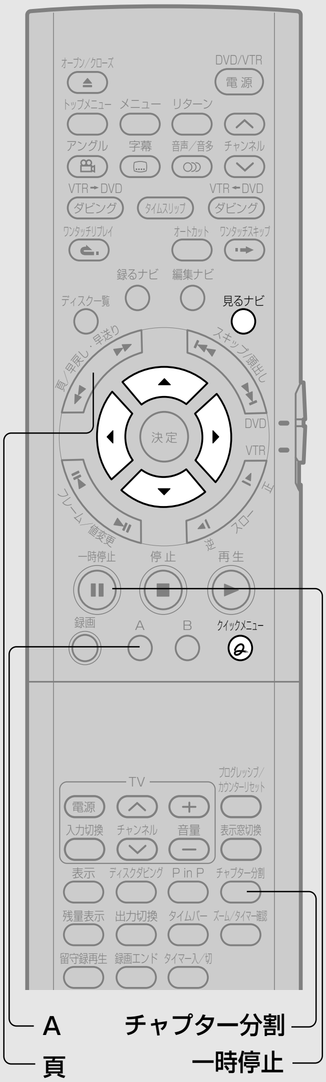
1回の録画で、一つのタイトルができます。そこに含まれるチャプターの数も一つです。これをいくつかのチャプターに分けることで、場面が探しやすくなり、再生時や編集時に便利です。

場面をチャプターに分けるには、チャプターの境界を作ります。再生中に、一時停止やコマ送りなどをして、チャプターの境界にしたい場面を探し、「**チャプター分割**」ボタンを押します。また、録画中に、「一時停止」ボタンを押して録画を一時停止したり、「**チャプター分割**」ボタンを押しても、チャプターの境界ができます。
押したところの前後が別々のチャプターになります。この操作を繰り返して、好きな位置でチャプター分割をしていきます。

お知らせ

- 以下のときは、チャプター分割はできません。
  ダビング中／早送り、早戻し中／スロー再生、逆スロー再生中
- DVD-R/RWディスクに録画済みのタイトルは、チャプター分割できません。録画時に、「チャプター分割」ボタンを押してチャプターを分割する、または指定した時間間隔で自動的にチャプター分割をすることはできます。
  「DVD-Video時チャプター分割」(☞183ページ)

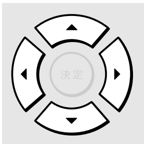
チャプターを変更したいときやフレームカウンター表示を見ながら操作したい場合は、以下の手順を行なってください。



1 停止中、再生中または録画中に、「見るナビ」ボタンを押す

「見るナビ　タイトル一覧」画面が出ます。

2 方向ボタンを押して、タイトルを選ぶ



- 「頁(◀◀/▶▶)」ボタンを押して前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

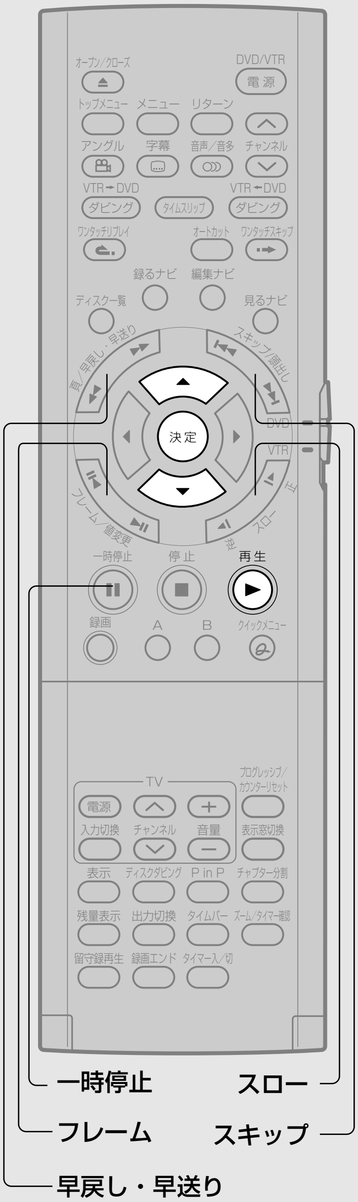
3 「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

例

（つづく）

チャプター作成(つづき)



（つづき）

4 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター機能」を選び、「決定」ボタンを押す

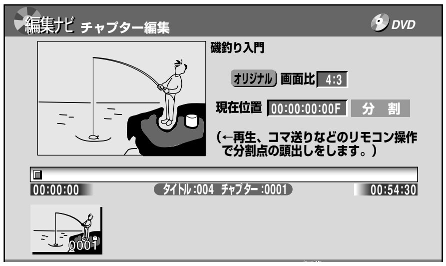
サブメニューが表示されます。

例

5 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター編集」を選び、「決定」ボタンを押す

「編集ナビ チャプター編集」画面が出ます。

例

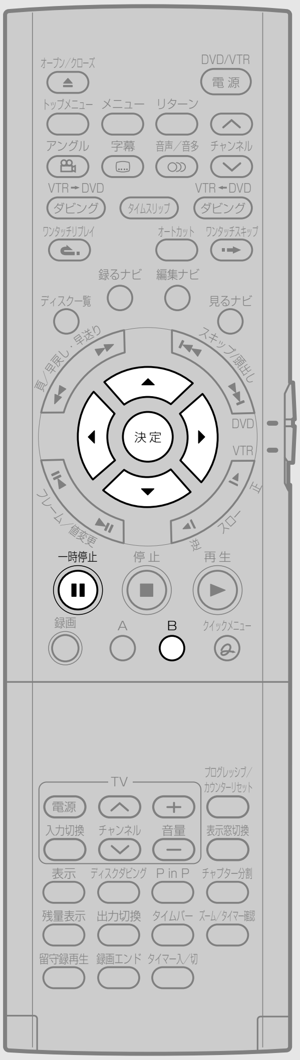


6 「再生」ボタンで再生をはじめる

左上の大きい画面を見ながら、チャプターの境界にしたい場面を探します。
「早戻し・早送り」、「スロー」、「スキップ」、「一時停止」、「フレーム」などの各ボタンが使えます。

現在の位置はロケーターが示します。

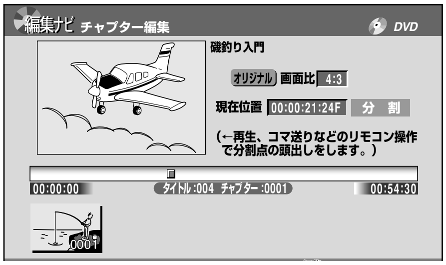
- 他のチャプターを見るには：
  方向ボタン(▲/▼)でカーソルをサムネイルの列に移動したあと、方向ボタン(◀/▶)でサムネイルを選びます。
  次のページへ移るときは、「頁」ボタンを押して移動します。
- チャプターの最初と最後の部分が確認できます。
  サムネイルを選んで「決定」ボタンを押すと、そのチャプターの最初と最後の部分を約3秒ずつ再生します。



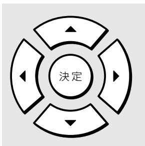
7 チャプターの境界にしたい場面で、「一時停止」ボタンを押す

画像が一時停止します。

例



8 方向ボタンで、「分割」にカーソルをおき、「決定」ボタンを押す



押したところにチャプターの境界が作られ、新しくできたチャプターの先頭場面が、サムネイルとして登録されます。

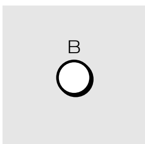
例

9 手順6〜8を繰り返す

タイムバーの縦線のマーカーが、できたチャプター境界の位置を示します。

チャプター境界を消したいときは、「チャプターをつなげる」(➡91ページ)をご覧ください。

10 必要なチャプター境界を全部入れ終わったら、「B」ボタンを押す



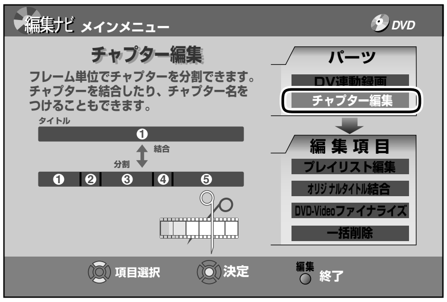
メッセージが出て、設定したチャプター境界を保存し始めます。
保存が終わると、「見るナビ」画面に戻ります。

チャプター作成(つづき)

お知らせ

- 作成できるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが出ます。チャプターを結合するなどして数を減らしてください。(91ページ)
- 「チャプター編集」画面は、「編集ナビ」画面で「チャプター編集」を選んでも表示できます。

例



- 「編集ナビ」画面を消すには、「編集ナビ」ボタンを押します。
- タイトル(オリジナル)の中でチャプター分割をしても、関連するタイトル(プレイリスト)には影響しません。
- チャプター分割で設定された位置と実際の再生時のチャプターの切り換わり位置に、若干のずれが生じることがあります。
- 録画中に一時停止をした場合、その位置でチャプターが分割されます。

■ チャプターの境界を自動で作成する

タイトルの先頭から、一定の間隔で自動的にチャプター境界を作れます。(すでにあるチャプター境界とは別に、新たに追加されます。)
例えば、スポーツの試合などの長い番組で、とりあえずの目安に使えます。

1) 87～88ページの手順1～4を行う

2) 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター自動生成」を選び、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で、チャプター境界の間隔を選び、「決定」ボタンを押す

選んだ間隔でチャプター境界が作られます。

■ チャプター境界をシフトする

すでにチャプター分割した境界部分を前後にシフト(移動)することができます。シフトされるのは、現在選択されているチャプターの先頭部分の境界です。

1) 87～88ページの手順1～5を行なう

2) 「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター境界シフト」を選び、「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」ボタンを押す

フレームシフトモード(VR mode保存用):

1フレーム単位でチャプター境界を前後にシフトできます。

GOPシフトモード(Video mode保存用):

DVD-Videoの編集単位であるGOP(約0.5秒)ごとにチャプター境界を前後にシフトできます。

5) 方向ボタンで、シフトしたいチャプター境界を含むチャプターサムネイルを選ぶ(選んだチャプターの先頭側の境界がシフトされる)

6) チャプター境界をシフトしたい場面になるまでフレームボタン(II◀/▶II)を繰り返し押す

フレームボタンを押すたびに、画面下側の選んだチャプターサムネイルの画像が切り換わりますので、シフトしたい場面になるまで操作を続けます。ほかにシフトしたいチャプターがある場合は、方向ボタンでチャプターを選び、同じ操作を繰り返します。

7) 終了するときは、「B」ボタンまたは「編集ナビ」ボタンを押す

チャプター境界をシフトした内容が保存されます。

お知らせ

- チャプター境界シフトモードを解除するには、「クイックメニュー」ボタンを押し、方向ボタン(▲/▼)で「フレームシフトモード解除」または「GOPシフトモード解除」を選び、「決定」ボタンを押します。
- 前後のチャプター境界を越えてシフトすることはできません。また、チャプター分割されていなくても削除などで不連続になっている場合、それ以上シフトできません。
- チャプター境界シフトをすると、そのチャプターのサムネイルはリセットされ、チャプター先頭の位置がサムネイルになります。また、その一つ前のチャプターのサムネイルがリセットされる場合もあります。

■ チャプターをつなげる

1) ⇨87～88ページの手順1～5を行ない、「編集ナビ チャプター編集」画面を出す

2) 方向ボタンでチャプターを選ぶ

「頁」ボタンで前後のページに移動できます。

3) 「クイックメニュー」ボタンを押す

例

4) 方向ボタン(▲/▼)で項目を選ぶ

前と結合：

選んでいるチャプターと、その前のチャプターをつなげます。

後ろと結合：

選んでいるチャプターと、その次のチャプターをつなげます。

全チャプター結合：

タイトル内の全チャプターをつないで一つのチャプターにします。

5) 「決定」ボタンを押す

例：「前と結合」を選んだとき

選んでいたチャプターは前のチャプターとつながり、サムネイルが消えます。

例

✎お知らせ

- 「編集ナビ」画面を消すには、「編集ナビ」ボタンを押します。
- チャプターをつなぐと、以降のチャプターはチャプター番号が繰り上がります。
- タイトル(オリジナル)の中でチャプター結合をしても、関連するタイトル(プレイリスト)には影響しません。また、タイトル(プレイリスト)の中でもチャプター結合はできます。このとき、元となったタイトル(オリジナル)には影響しません。
- 「見るナビ　チャプター一覧」のクイックメニューからもチャプターをつなぐことができます。

■ チャプターに名前をつける

1) 「編集ナビ チャプター編集」画面で、名前をつけたいチャプターを選ぶ

2) 「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター名変更」を選び、「決定」ボタンを押す

画面にキーボードが表示されます。

画面下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

例

✎お知らせ

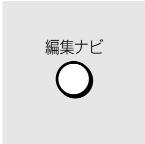
- 入力できる文字数は全角32文字、半角64文字です。
- 「タイトル情報」で表示できるのは全角で32文字までです。「見るナビ チャプター一覧」画面で表示できるのは全角で6文字までです。
- 名前をつけられるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが出ます。
- 「見るナビ タイトル情報」画面で「頁」ボタンを押してチャプターを選び、「クイックメニュー」から「チャプター名登録」を選んでも、チャプター名をつけることができます。
- チャプター名の変更は、ファイナライズ前のDVD-R/RWディスクでも可能です。

DVD-RAM

プレイリスト編集（必要な場面を集める）

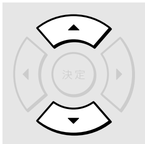
ダビング用に不要な部分を抜いたタイトルを作ったり、好きな場面を集めるには、「プレイリスト」を作ります。

1 停止中、再生中または録画中に、「編集ナビ」ボタンを押す

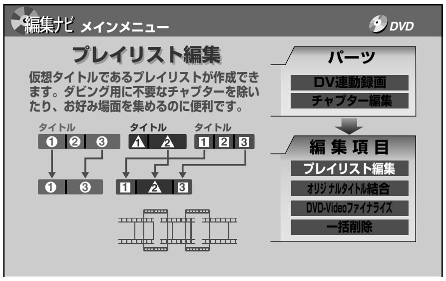


「編集ナビ　メインメニュー」画面が出ます。

2 方向ボタン（▲/▼）で「プレイリスト編集」を選ぶ



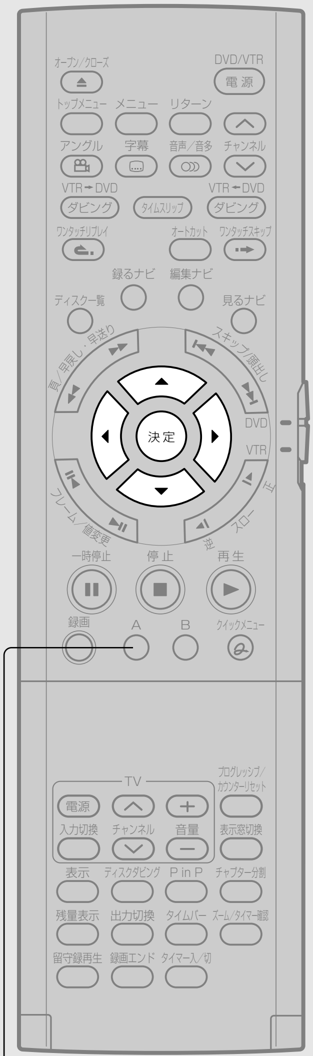
例



3 「決定」ボタンを押す

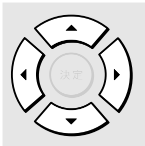
「編集ナビ プレイリスト編集」画面が出ます。

例



A

4 方向ボタンで、パーツにするタイトルまたはチャプターを選ぶ



タイトルとチャプターの表示は「A」ボタンで切り換えることができます。

例

5 「決定」ボタンを押す

選んだパーツを挿入する場所を示すカーソルが出ます。

例

（つづく）

はじめに
DVD 録画
DVD 再生
DVD 編集
VTR 録画
VTR 再生
ダビング
ディスク一覧
機能設定
その他

プレイリスト編集(必要な場面を集める)(つづき)

(つづき)

6 方向ボタン(◀/▶)で、パーツを入れる場所を選び、「決定」ボタンを押す

最初は左端に固定されます。そのまま「決定」ボタンを押してください。

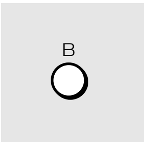
選んだパーツが、カーソルのあった場所にはいります。

例

7 手順4～6を繰り返して、好きな順にパーツを追加する

パーツの選択を取り消すには ⇨95ページをご覧ください。

8 必要なパーツを並べ終わったら、「B」ボタンを押す



メッセージが出て、編集したプレイリストを保存し始めます。
保存が終わると、「編集ナビ」画面に戻ります。

お知らせ

- 「プレイリスト編集」画面は、「見るナビ」画面から「クイックメニュー」で「編集機能」、「プレイリスト編集」を順に選んでも表示できます。
- オリジナルのタイトルやチャプターを削除すると、関連するプレイリストのタイトルやチャプターも同時に削除されます。反対にプレイリストのタイトルやチャプターを削除しても、元となるオリジナルのタイトルやチャプターは削除されません。
- 結合したパーツが不連続の場合、パーツ境界で一時静止状態になる場合があります。
- プレイリスト編集をして作成したタイトルを再生すると、パーツ境界で編集時の位置とずれることがあります。
- 編集しているタイトル(プレイリスト)自身、およびそれに含まれるチャプター(プレイリスト)は、パーツとして追加することはできません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトル、またはチャプターをプレイリストに登録することはできません。
- プレイリストはダビングするとタイトル(オリジナル)になります。
- パーツを選択すると、元のパーツに下向きの矢印マークが付きます。タイトル全体が選択されている場合はオレンジ色の矢印、タイトルの中のいくつかのチャプターが選択されている場合は緑色の枠線の矢印、選択されているチャプターは緑色の矢印マークになります。
- 録画中または予約録画開始15秒前以内のタイトル／チャプターサムネイルは黒地に「録画中…」の文字表示となり、編集対象として選択できません。

■ パーツの選択を取り消す

1)「編集ナビ プレイリスト編集」画面で、取り消すパーツを、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「選択キャンセル」を選び、「決定」ボタンを押す

選んだパーツが取り消されます。

■ DVD-RAMのパーツやプレイリストを確認する(プレビュー再生)

先頭と最後の部分を、約3秒ずつ再生します。(タイトルにチャプターがある場合は、チャプターの先頭と最後も再生します。)

パーツのプレビュー

1) 手順4で、タイトルまたはチャプターを選び、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「パーツのプレビュー」を選び、「決定」ボタンを押す

プレイリストの全プレビュー

1) 選んだパーツのどれかにカーソルを置き、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「プレイリストのプレビュー」を選び、「決定」ボタンを押す

■ タイトル情報を確認する

1) 手順4で、タイトルまたはチャプターを選び、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「タイトル情報」を選び、「決定」ボタンを押す

■ プレイリストを再編集するには

パーツを追加したり選択を取り消して、プレイリストの内容を修正します。

1)「見るナビ」画面で、再編集したいプレイリストを選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「プレイリスト再編集」を選び、「決定」ボタンを押す

「編集ナビ プレイリスト編集」画面が出ます。

⇨93ページの手順4以降を行なって、パーツを追加したり選択を取り消すなどをしてください。

お知らせ

- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルでは、プレイリストの再編集はできません。

■ 別のタイトル(プレイリスト)を作るには

1) タイトル(プレイリスト)を再生中または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ」画面が出ます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「プレイリスト編集」を選び、「決定」ボタンを押す

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で「新規作成」を選び、「決定」ボタンを押す

プレイリストのタイトル名と総時間、パーツの欄が空欄になります。

4) ⇨93ページの手順にしたがって、プレイリストを作る

■ 作ったタイトル(プレイリスト)に名前をつけるには

1) 選んだパーツ(画面下側)のどれかにカーソルを置き、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「タイトル名変更」を選び、「決定」ボタンを押す

文字入力画面が表示されます。

3) ⇨34ページの要領で、タイトル名を入力する

お知らせ

- 「見るナビ タイトル一覧」画面で、名前をつけるタイトル(プレイリスト)を選び、「クイックメニュー」から「タイトル情報」を選び、「見るナビ タイトル情報」画面で「クイックメニュー」から「タイトル名入力」を選んでも、タイトル名をつけることができます。

■ 開始時刻が同じ番組を検索してプレイリストを作るには

連続ドラマなどを整理するときに便利です。

1）「見るナビ タイトル一覧」画面で「クイックメニュー」ボタンを押す

2）方向ボタン（▲/▼）で「編集機能」を選び、「決定」ボタンを押す

3）方向ボタン（▲/▼）でいずれかを選ぶ

「同一毎週予約プレイリスト化」：
毎週同じ曜日同じ時刻に録画した番組を集めてプレイリストにします。

「同一月金予約プレイリスト化」：
月曜から金曜まで平日の同じ時刻に録画した番組を集めてプレイリストにします。

4）「決定」ボタンを押す

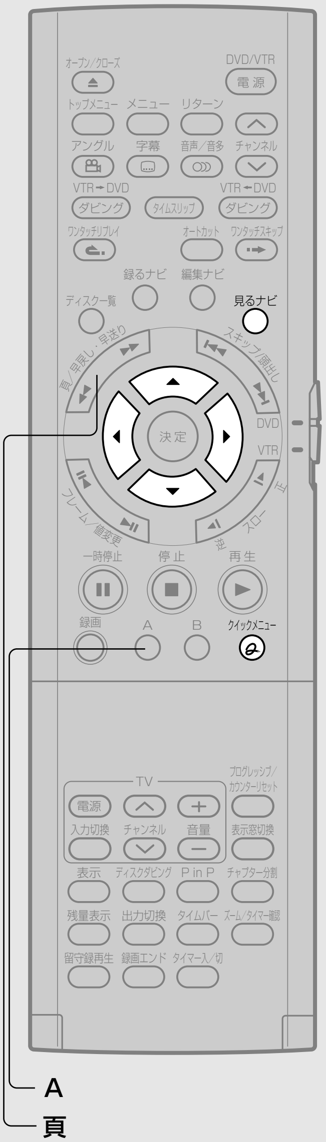
お知らせ

- 対象となるのはオリジナルタイトルです。
- 選ばれるタイトルの数は最大で99個です。
- 同一番組の予約録画であっても録画日時を異なる曜日と時刻に変更したタイトルは、同一予約の番組としてプレイリスト化されなくなります。逆にチャンネルと開始時刻と曜日が一致するように変更したタイトルは、同一予約の番組としてプレイリスト化ができるようになります。
- 「同一月金予約プレイリスト化」の場合、月から金までそろっていなくても、チャンネルと開始時刻が一致する土日以外の番組をプレイリスト化します。

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

サムネイル設定（見るナビの画像を変更する）

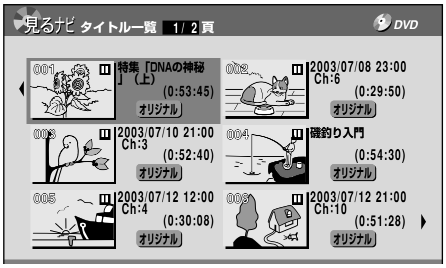
好きな場面を登録して、サムネイル表示として「編集ナビ」画面や「見るナビ」画面などで表示できます。
ファイナライズ処理をしたDVD-R/RWディスクでサムネイル設定はできません。



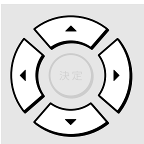
1 停止中または再生中に、「見るナビ」ボタンを押す

次のような表示（「見るナビ　タイトル一覧」画面）が出ます。

例



2 方向ボタンを押して、サムネイルを変えたいタイトルを選ぶ

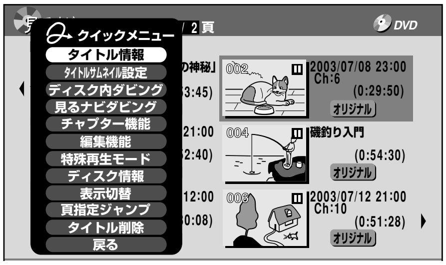


- 「頁（◀◀/▶▶）」ボタンで前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「クイックメニュー」ボタンを押す

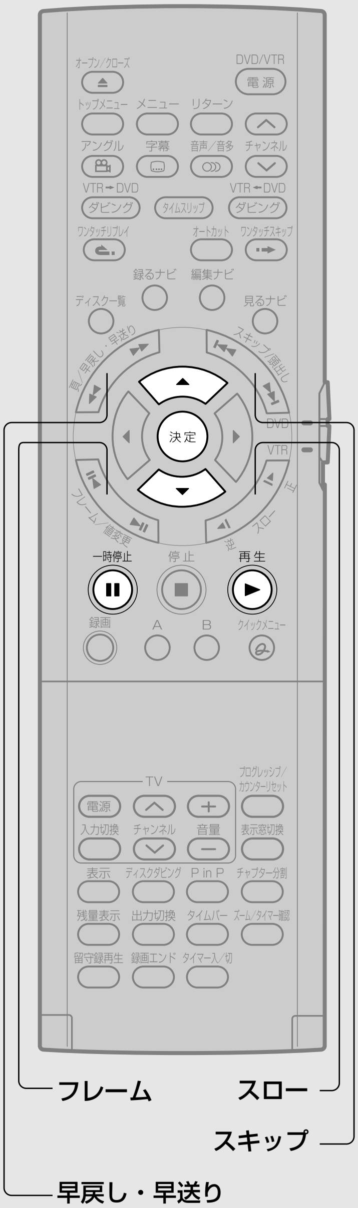
「クイックメニュー」が表示されます。

例



（つづく）

サムネイル設定（見るナビの画像を変更する）（つづき）



（つづき）

4 方向ボタン（▲/▼）で「タイトルサムネイル設定」（手順2でチャプターを選んだときは「チャプターサムネイル設定」）を選び、「決定」ボタンを押す

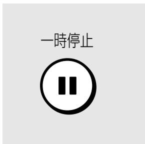
サムネイルを設定する画面が表示されます。

例

5 「再生」ボタンを押して再生をはじめる

サムネイルにしたい場面を探します。
「早戻し・早送り」、「フレーム」、「スロー」、「一時停止」、「スキップ」などの各ボタンも使えます。

6 サムネイルにしたい場面で「一時停止」ボタンを押して、静止画にする



例

7 「決定」ボタンを押す

見るナビ画面に戻ります。選んだ静止画が新しいサムネイルになっています。

例

お知らせ

- 設定されたサムネイルの映像と実際に表示されるサムネイルとで若干のずれを生じることがあります。特に手順5で早戻し・早送りを使用すると、ずれが大きくなります。

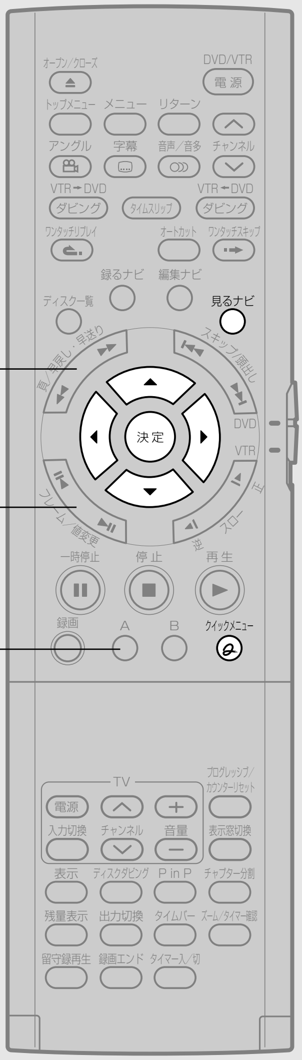
お知らせ

- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルでは、チャプターサムネイルは設定できません。
- 本機でチャプターサムネイルを設定したあと、「チャプター作成」で「チャプター境界シフト」（⇨90ページ）した場合や、本機以外で録画や編集をすると、チャプターサムネイルがチャプター先頭に戻ることがあります。

DVD-RAM

ディスク内ダビング（パーツ単位でダビングする）

DVD-RAMディスクに録画したタイトルやチャプターを、同じDVD-RAMディスクにそのままダビングします。
プレイリストをオリジナル化するときなどに活用してください。



A

値変更

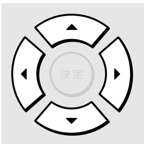
頁

1 再生中、または停止中に、「見るナビ」ボタンを押す

「見るナビ タイトル一覧」が表示されます。

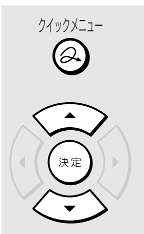
例

2 ダビングするタイトル（またはチャプター）を、方向ボタンで選ぶ



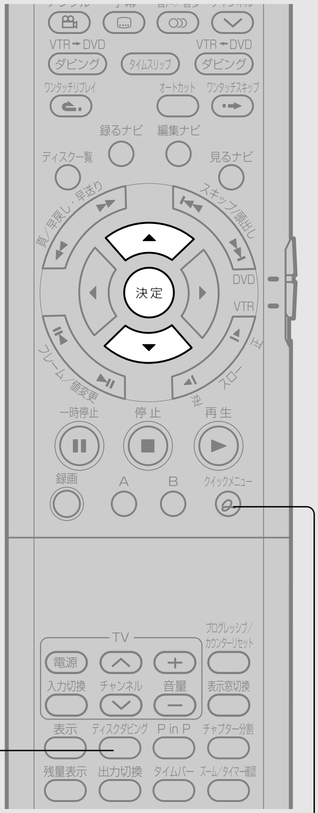
- 「頁（◀◀/▶▶）」ボタンで前後のページに移動できます。
  ページを指定して飛ぶこともできます。
  「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから「頁指定ジャンプ」を選び、「値変更」ボタンでページ番号を変えます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  もう一度押すとタイトルの一覧に戻ります。

3 「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから方向ボタン（▲/▼）で「ディスク内ダビング」を選び、「決定」ボタンを押す



「見るナビ ディスク内ダビング」画面に変わります。

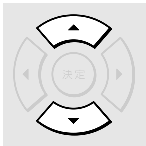
例



クイックメニュー

ディスクダビング

4 方向ボタン(▲/▼)で、「ディスク内コピー」を選ぶ



同じディスクに、同じ内容で別のタイトルが作られます。

5 「決定」ボタンを押す

コピーが始まります。
進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。
コピーが終わると表示が消え、ブザーが鳴ります。

● ディスク内ダビングが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
(1)ダビング中に「クイックメニュー」ボタンを押す
(2)方向ボタン(▲/▼)を押して「終了後電源切る」を選ぶ
(3)「決定」ボタンを押す
• VTR側が録画中などの場合は、自動的に電源が切れません。

お知らせ

- コピーしたプレイリストはオリジナルになります。コピー元はプレイリストのままです。
- パーツはダビングをするとそれぞれタイトルになります。
- 手順3のかわりに、リモコンの「ディスクダビング」ボタンを押すこともできます。
- ダビングよりも予約録画が優先されるため、ダビング中に予約録画の開始時刻が近づくとダビングが中止される場合があります。その場合、途中までダビングされた内容は削除されます。
- ディスクの残量が少ないなど、何かの事情でダビングができないときは、画面にメッセージが出ます。そこに書かれた指示にしたがって操作してください。
- 内容・手順によっては、一部の管理情報や付属情報などがダビングされない場合があります。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルは、ダビングできません。

■ コピーを途中で中止したいときは

1) コピー中に、「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「ダビング中止」を選び、「決定」ボタンを押す

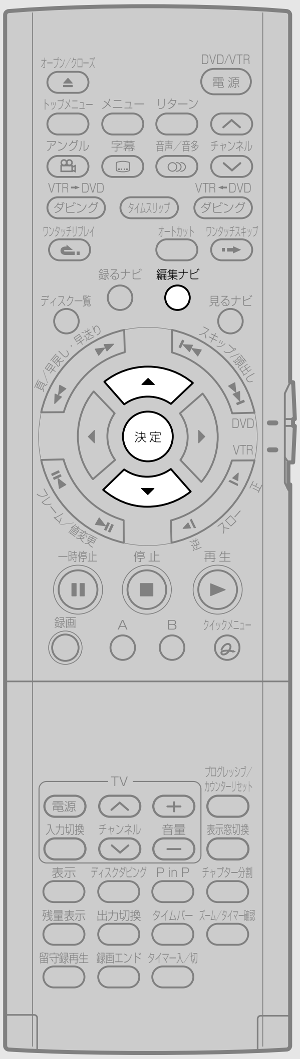
お知らせ

- コピーを途中で中止した場合、途中までダビングした内容は削除されます。

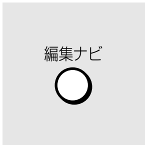
DVD-RAM DVD-RW DVD-R

一括削除（パーツをまとめて削除する）

複数のタイトルとチャプターを、まとめて削除できます。
ファイナライズ処理をしたDVD-R/RWディスクで一括削除はできません。



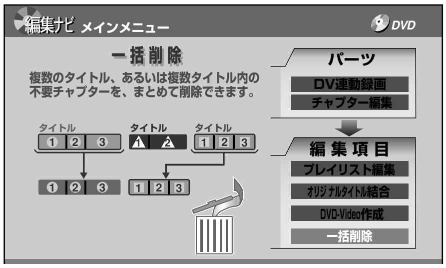
1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す



「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン（▲/▼）で「一括削除」を選ぶ

例

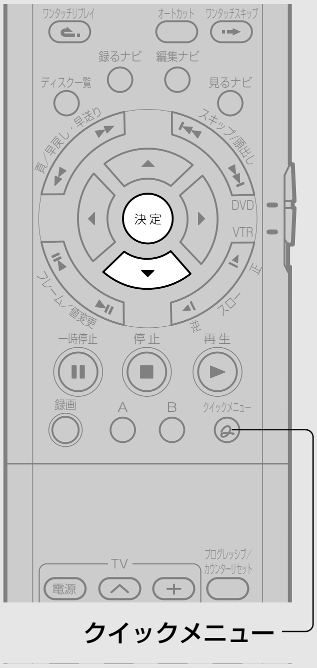


3 「決定」ボタンを押す

「編集ナビ 一括削除」画面に変わります。

例

画面上側に、録画されている内容のサムネイルが表示されます。



4 削除したいパーツを、⇨93、94ページの手順4～6の要領で集める

すべてのオリジナルパーツを選ぶこともできます。「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから「全タイトル選択」を選びます。

5 方向ボタン(▼)で、「削除開始」を選び、「決定」ボタンを押す

メッセージ画面で「はい」を選ぶと、削除が始まります。
「いいえ」を選ぶと削除を中止します。

処理が終わると「編集ナビ メインメニュー」画面に戻ります。

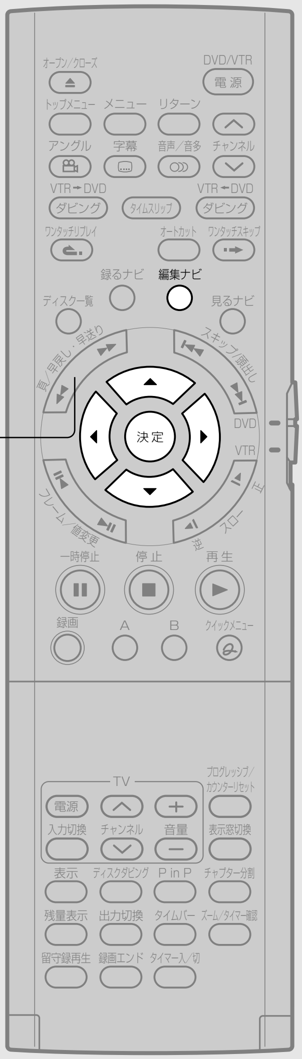
お知らせ

- パーツの内容を確認するには、パーツを選んだ状態で「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させたあと、方向ボタン(▲/▼)で「パーツのプレビュー」(または「タイトル情報」)を選び、「決定」ボタンを押します。
- カーソルを移動するたびに、画面の一番下にタイトル名やチャプター名が約2秒間表示されます。
- DVD-RWディスクでタイトルを削除した場合、最後に記録したタイトルを削除した時にだけ空き容量が増えます。
- 一括削除は実行すると取消しできません。実行する前に十分確認してください。
- 削除するパーツにタイトルを選ぶと、そのタイトルに含まれるチャプターを選ぶことはできません。
- DVD-R/RWディスクでは、削除するパーツとしてチャプターを選ぶことはできません。

DVD-RAM

オリジナルタイトル結合（二つのタイトルを一つにする）

二つのオリジナルタイトルを一つにまとめるときに使います。後ろのタイトルが削除されて、前のタイトルの末尾につながります。



頁

1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

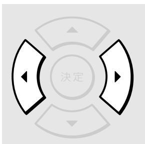
「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン（▲/▼）で、「オリジナルタイトル結合」を選び、「決定」ボタンを押す

「オリジナルタイトル結合」画面に変わります。

例

3 方向ボタン（◀/▶）を押して、つなぎたいタイトルの一つ目を選ぶ



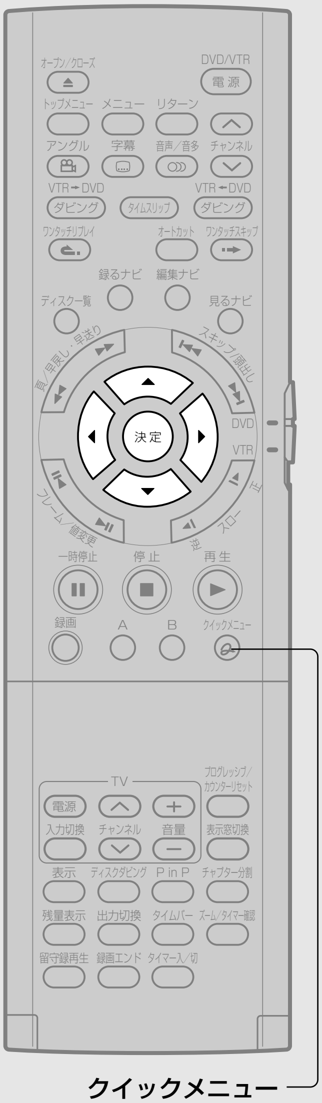
- 「頁」ボタンを押して前後のページに移動できます。

4 「決定」ボタンを押す

画面下側（結合対象側）に、カーソルが表示されます。

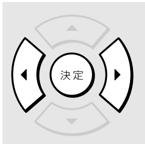
例

カーソル



クイックメニュー

5 方向ボタン(◀/▶)で、パーツを入れる場所を選び、「決定」ボタンを押す



最初は左端に固定されます。そのまま「決定」ボタンを押してください。
選んだパーツが、カーソルのあった場所にはいります。

例

6 手順3～5を行なって、二つ目のタイトルを選ぶ

同じタイトルは選べません。

● 登録したパーツを取り消したいときは
1)取り消すパーツを選んだ状態で、「クイックメニュー」ボタンを押してクイックメニューを表示させる
2)方向ボタン(▲/▼)で、「選択キャンセル」(すべて取り消したいときは「選択パーツの全クリア」)を選ぶ
3)「決定」ボタンを押す

7 方向ボタン(▲/▼)で、「結合開始」を選んだあと「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

結合の処理が始まります。

お知らせ

- オリジナルタイトルの結合の処理は、途中で中止できません。
- 保護設定されたタイトルや静止画を含むタイトルは、結合できません。
- 結合したタイトルには一つ目のタイトル情報が引き継がれます。
- 後ろのタイトルは、チャプター境界の位置やチャプター名を保持したまま前のタイトルと結合されます。
- カーソルが移動するたびに、画面の一番下にタイトル名やチャプター名が約2秒間表示されます。

DVD-RW　DVD-R

DVD-Videoファイナライズ処理をする

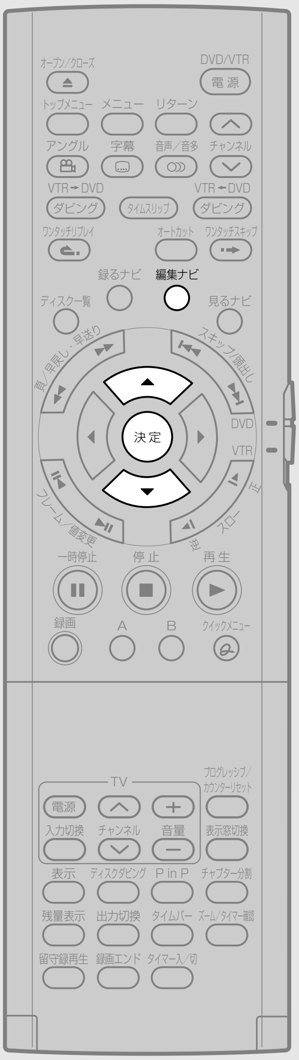
録画済みのDVD-R/RWディスクを、他の機器で再生できるようにしたいときにDVD-Videoファイナライズ処理をします。

ご注意

- DVD-Videoファイナライズ処理をすると、そのディスクに追記できなくなります。DVD-RWの場合、追記したいときは、ファイナライズを解除してください。（109ページ）
  DVD-Rの場合は、ファイナライズを解除できません。
- 本機で録画、ダビングしたDVD-RW以外は、ファイナライズ解除はできません。

■ 準備

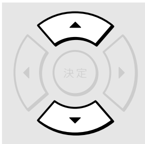
- ファイナライズ処理をしたいDVD-RまたはDVD-RWディスクを入れてください。



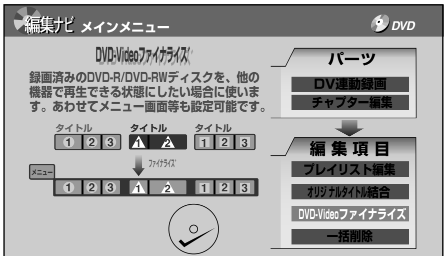
1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

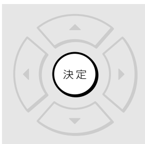
2 方向ボタン（▲/▼）で「DVD-Videoファイナライズ」を選ぶ



例

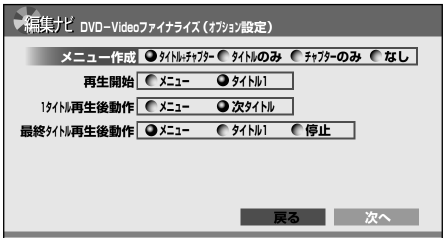


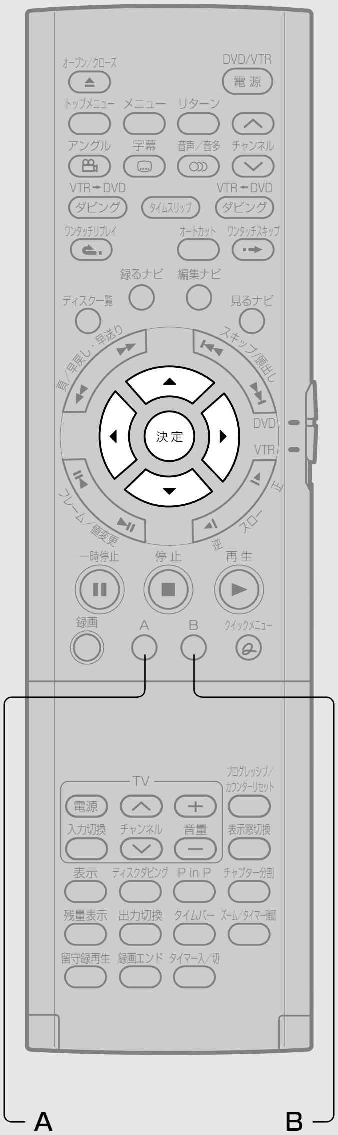
3 「決定」ボタンを押す



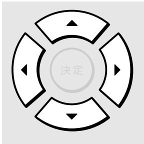
オプション項目を設定する画面が表示されます。

例





4 方向ボタンで、各項目を設定する



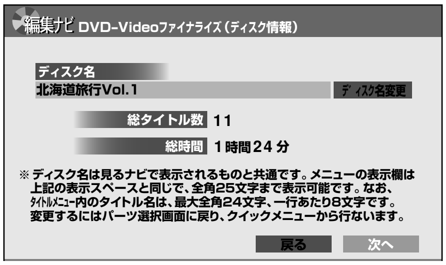
設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

「メニュー作成」に「なし」を選んだときは：
「再生開始」と「1タイトル再生後動作」の設定は自動的に省略されます。

5 方向ボタン(▲/▼)で「次へ」を選び、「決定」ボタンを押す

書き込む情報を確認する画面が表示されます。

例

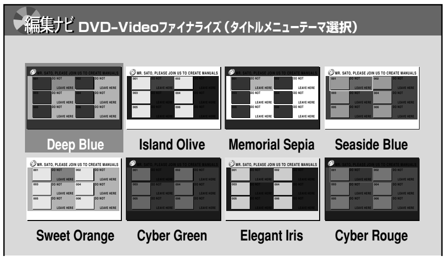


方向ボタン(▲)で「ディスク名変更」を選び「決定」ボタンを押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名を入力できます。
「メニュー作成」に「なし」を選んだときは：
画面右下の「次へ」ボタンが「書込み開始」になります。これを方向ボタンで選び「決定」ボタンを押します。手順10へ。

6 方向ボタン(▼)で「次へ」を選び、「決定」ボタンを押す

手順3で「メニュー作成」に「タイトル+チャプター」または「タイトルのみ」を選んだとき、タイトル+メニューテーマを選ぶ画面が表示されます。

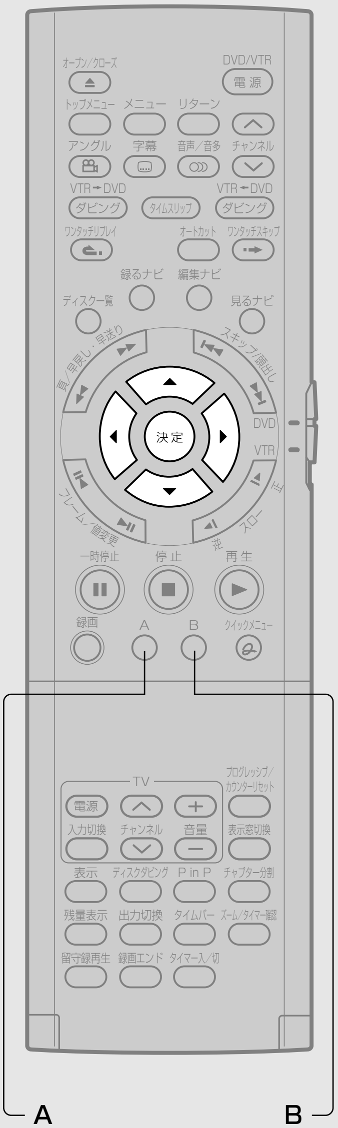
例



「A」ボタンを押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「B」ボタンで選択画面に戻ります。

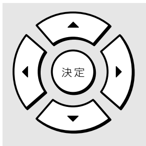
（つづく）

DVD-Videoファイナライズ処理をする(つづき)



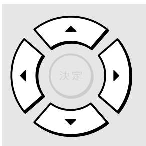
（つづき）

7 方向ボタンでタイトルメニューテーマを選び、「決定」ボタンを押す



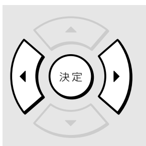
手順3で「メニュー作成」に「タイトル+チャプター」または「チャプターのみ」を選んだとき、チャプターメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。

8 方向ボタンでチャプターメニューテーマを選ぶ



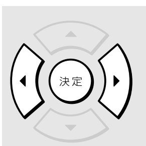
テーマはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。
「A」ボタンを押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「B」ボタンで選択画面に戻ります。
プレビュー中に、方向ボタン(▼)で「戻る」を選び、「決定」ボタンを押すと、タイトルメニューのプレビューを表示することができます。また、タイトルメニューのプレビューからは、方向ボタンで「チャプターメニュー」という表示の横の番号を選んで「決定」ボタンを押すことで、チャプターメニューのプレビューを表示できます。

9 「チャプターメニューテーマ選択」画面の表示中に、「決定」ボタンを押し、方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す



終了後に自動で電源を切るかどうかのメッセージ画面が表示されます。

10 方向ボタン(◀/▶)で「はい」または「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押す



ファイナライズ処理が始まります。

お知らせ

- DVD-R/RWディスクは、録画をした本機自身でだけ、ファイナライズ処理前でも再生できますが、他の機器ではディスクが認識されず、使用できません。
- DVD-Rディスクは、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できますが、一度録画に使用されたディスクの領域は再使用できません。
- DVD-RWディスクは、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できますが、最後に記録したタイトルを削除した場合だけ空き容量が増えます。
- DVD-RWディスクは、ファイナライズを解除したり、ディスクを初期化して録画をやり直すことができます。

■ ファイナライズを解除する DVD-RW

ファイナライズ処理をしたDVD-RWディスク(DVD-Videoフォーマット)のファイナライズを解除し、追記できるようにします。

1) 停止中に「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「ディスク管理」を選び、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「ファイナライズ解除」を選び、「決定」ボタンを押す

4) メッセージの内容を確認し、方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

ファイナライズ解除の処理が始まります。

お知らせ

- 予約録画の準備中では、ファイナライズ解除を実行できません。
- ディスク保護ありに設定されている場合には、ファイナライズ解除できません。
- ファイナライズを解除すると、タイトル・チャプターサムネイルの位置が変わることがあります。

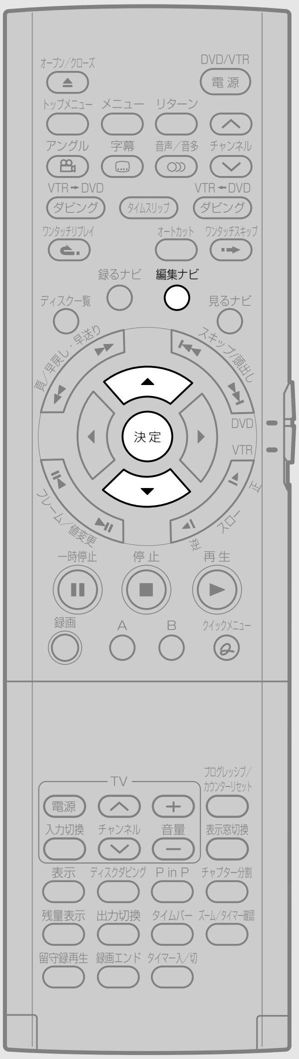
DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

DV連動録画（デジタルビデオカメラの映像を録画する）

本機のDV端子にDVデジタルビデオカメラを接続し、その映像を本機で録画することができます。

■ 準備

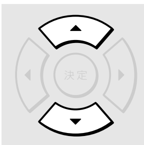
- DVデジタルビデオカメラを本機前面のDV端子に接続します。



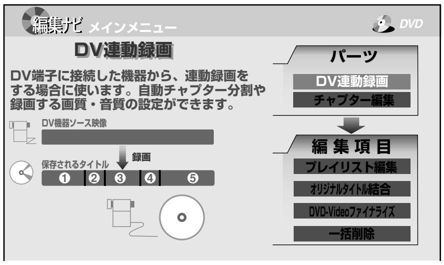
1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン（▲/▼）で「DV連動録画」を選ぶ



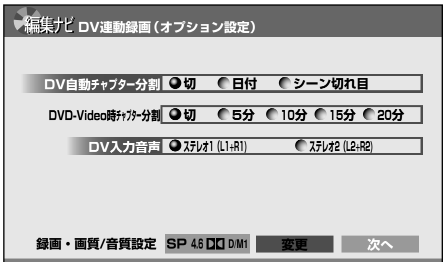
例



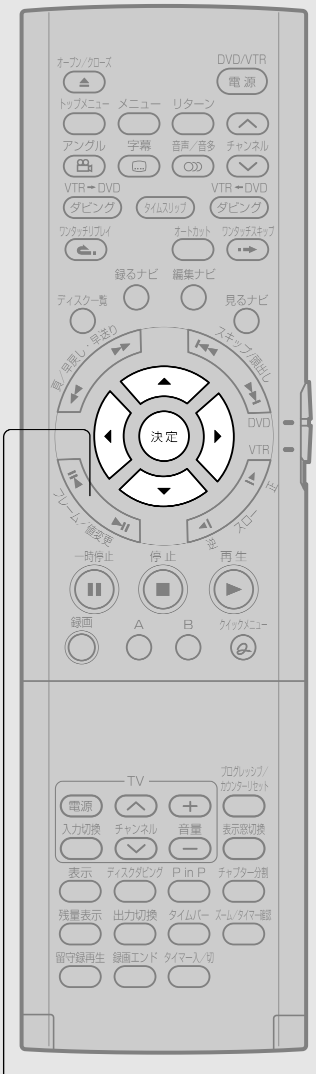
3 「決定」ボタンを押す

「DV連動録画（オプション設定）」画面に変わります。

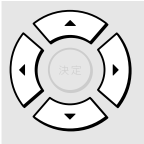
例



DV端子に接続したDVデジタルビデオカメラの電源を入れても自動的にこの画面が表示されます。



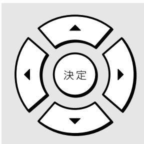
4 方向ボタンで各項目を設定する



設定の内容は、選択時の表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

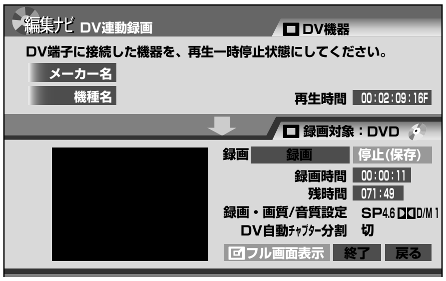
● 画質と音質レートを変えたいときは
1)方向ボタン(▲/▼)で「変更」を選び、「決定」ボタンを押す
2)録画・画質/音質設定の画面で、「値変更」ボタンを押して設定No.を選ぶ
3)決定ボタンを押す

5 方向ボタンで「次へ」を選び、「決定」ボタンを押す



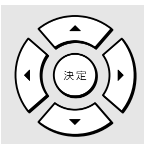
録画する情報を確認する画面が表示されます。

例



6 接続しているDVデジタルビデオカメラを再生一時停止状態にする

7 方向ボタンで「録画」を選び、「決定」ボタンを押す



録画が始まり、「録画」が「一時停止」の表示に切り換わります。

- 録画を一時停止する場合は、「一時停止」を選んだ状態で「決定」ボタンを押します。
- 録画を停止する場合は、方向ボタンで「停止(保存)」を選び、「決定」ボタンを押します。

（つづく）

DV連動録画(デジタルビデオカメラの映像を録画する)(つづき)

お知らせ

- DV端子はDVデジタルビデオカメラからの入力だけに対応しています。DVデジタルビデオカメラの接続機器への出力には対応していません。また、DVデジタルビデオカメラによっては対応していないことがあります。
- 手順5の画面で「フル画面表示」を選び「決定」ボタンを押すと、映像が画面いっぱいに表示されます。
- DVD-R/RWディスクに録画する場合で、「DV自動チャプター分割」が「切」に設定されているときには、「DVD-Video時チャプター分割」(183ページ)の設定にしたがって自動的にチャプターが分割されます。分割できるチャプター数には制限があります。また、DVD-Video規格の制限により、チャプター分割点は約0.5秒単位の近似点になります。
- 以下の場合、DV連動録画は起動できません。
  ー通常録画中、タイムスリップ中
  ー「見るナビ」「録るナビ」「ディスク一覧」で設定を変更中のとき
  ー初期設定で時計を設定していないとき
  ー5分以内に予約録画が始まる場合、または予約録画実行中
- DV連動録画と予約録画が重なった場合、予約録画の5分前にDV連動録画は終了し、予約録画が実行されます。
- パソコンなど、DVデジタルビデオカメラ以外の機器をDV端子へ接続した場合、「DV連動録画」は動作しません。
- DVデジタルビデオカメラなどの機種によっては、手順5の画面で「メーカー名」や「機種名」が表示されないことがあります。
- DV端子に複数の機器を接続していると、「DV連動録画」は正常に動作しません。
  接続するのはDVデジタルビデオカメラ1台だけにしてください。
- DVデジタルビデオカメラの動作が本機の動作に影響することがあるため、DV連動録画をするとき以外は、DVデジタルビデオカメラをはずしてください。
- 「ブラウン管保護」(180ページ)が「入」のとき、DV連動録画詳細表示で録画を15分間続けたままで何も操作しないでいると、フル画面表示になります。
- DVデジタルビデオカメラとの接続が正しく認識できないときは、何回かケーブルを抜き差ししてみてください。
- 接続するDVデジタルビデオカメラによっては、本機で使っている映像圧縮方式と異なるものがあります。映像圧縮方式の違う機器からは、録画できません。
- 接続するDVデジタルビデオカメラによっては、正しく動作しない場合や、一部の機能が使えないことがあります。
- 途中から上書きしたDVテープの映像を入力した場合、自動チャプター分割が正しく行われない場合があります。
- DVデジタルビデオカメラに記録されたステレオ1とステレオ2の音声を同時に本機で記録するときは、DV連動録画はできません。DVデジタルビデオカメラに付属のオーディオビデオケーブルなどで本機の外部入力端子と接続してください。(40ページ)

本章での操作は、リモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「VTR」側（VTRモード）にして行なってください。

VTR
録　画

テープに録画をしてみましょう。

- **テレビ番組を録画する**
- **コマーシャルをカットして録画する**
- **Gコードで予約する**
- **内容を指定して予約する**
- **予約内容の確認・修正・取り消し**
- **いろいろなタイマー予約**
- **タイマー予約後に本機を使う、タイマー録画を途中でやめる**
- **ナイター延長に備える**
- **ダブルナビを使う（録るナビ）**
- **外部機器から入力して録画する**

テレビ番組を録画する

テレビ番組の録画のしかたについて説明します。

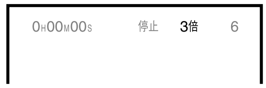
■ 準備

- テレビの電源を入れ、本機のVTR／DVD共用出力に接続している入力に切り換えてください。
- リモコンのDVD/VTR 操作切換スイッチを「VTR」側にしてください。
- 「出力切換」ボタンを押して出力をVTR側に切り換えてください。
- 「ツメ」の折れていないテープを入れてください。

ふたをあける

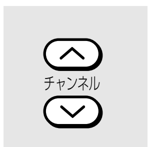
1 「録画モード」ボタンを押して、録画モードを選ぶ

例



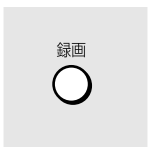
- 画質を重視するときは「標準」を選びます。録画時間を長くしたいときは、「3倍」を選びます。
- 長期間保存されるときや大切な記録は、「標準」で録画することをお勧めします。
- 「標準」モードは「3倍」モードよりもヘッドによるテープ上への記録の読み書き面積が大きく、長期使用や他のビデオデッキとの交換再生時でもヘッドと記録部分との位置がずれにくくなります。「3倍」モードで録画した場合には、長期使用やヘッド交換などでのわずかな位置ずれによって、再生できなくなることがあります。

2 「チャンネル」ボタンで、録画するチャンネルを選ぶ



例

3 「録画」ボタンを押す



録画が始まります。

例

お知らせ

- 録画中に現在時刻を確かめるには、「表示窓切換」ボタンを押して、時計表示にします。
- 本機はHi-Fi 録音で音声多重放送を録音します。従来の音声トラックには、ステレオ放送はモノラルで録音され、二重放送は主音声だけ録音されます。
- 音声多重放送を見ているとき、リモコンの「音声／音多」ボタンを押すと、聞こえる音声が切り換わります。録音される音声には影響はありません。
- 録画中にテープが終わると、録画が終了し、テープは自動的に始めまで早戻しします。
- DVD側が初期設定GUI表示中は、VTR側で録画できません。

■ 録画を終了する

「停止」ボタンを押す

■ 録画を一時的に止める(不要な場面をカットする)

録画中に、「一時停止」ボタンを押す

もう一度「一時停止」ボタンを押すと、録画が始まります。
一時停止が10分以上続くと、自動的に録画が止まります。

■ 録画中に録画チャンネルを変える

1) **録画中に、「一時停止」ボタンを押す**
2) **「チャンネル」ボタンを押して、録画チャンネルを変える**
3) **もう一度「一時停止」ボタンを押すと、録画が始まります。**

■ 録画の終了時刻を設定する

1) **録画中に本体の「録画」ボタンを押す**

押すたびに30分単位で最大4時間後まで設定することができます。

●途中で解除したいときは

本体の「停止」ボタンを押す

設定した終了時刻になると自動的に録画が終わり電源が切れます。ただし、DVD動作中は切れません。

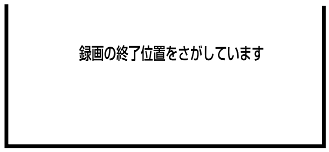
お知らせ

- 録画の終了時刻を設定したあと、現在時刻を確かめるには、「表示窓切換」ボタンを押して、時計表示にします。
- 終了時刻を設定したときは、テープが終わると録画も終わり、テープは巻き戻されません。

■ テープの未録画部を探す

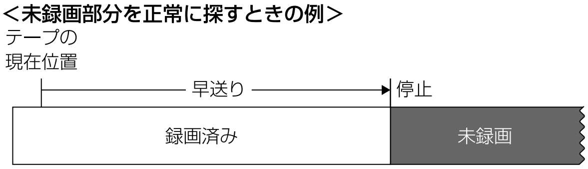
早送り方向にあるテープの未録画部分を探し、自動的にテープが止まります。

「録画エンド」ボタンを押す

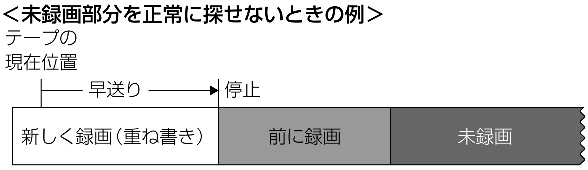


- テープの未録画部分で、テープが自動的に止まります。

＜未録画部分を正常に探すときの例＞



＜未録画部分を正常に探せないときの例＞



- 重ね書きしたテープで未録画部分を探すと、新しく録画したときの終了位置で停止します。未録画部分を探すときは、一度再生して内容を確認し、もう一度「録画エンド」ボタンを押してください。

お知らせ

- 録画部と録画部の間に隙間があると未録画部分として検出されますので、未録画部分を探して録画する場合には、検出された未録画部分よりもあとに録画されているものがないことを確認してください。

■ 録画しながら別の番組を見る

録画しているときでも、別の番組を見ることができます。

1) **録画を始める**

➡114ページの手順1～3の操作をします。

2) **テレビの入力切換を「テレビ」にする**
3) **テレビのチャンネルボタンで見たい番組を選ぶ**

お知らせ

- 録画中の番組を見るときは、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。
- 新しいテープを使用するときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使用してください。
- 出力切換をDVD側にして、DVD側のチャンネルボタンで別の番組を見ることもできます。

コマーシャルをカットして録画する

コマーシャルを自動的にカットしながら録画することができます。この機能をオートカットといいます。

■ オートカットについて

テレビ放送の音声には、二重放送・ステレオ放送・モノラル放送があります。オートカットは、この音声の違いを検出してモノラル放送や二重放送だけを録画し、ステレオ放送だけを録画一時停止する機能です。

- ● 現在放送されているコマーシャルの多くがステレオ放送であることを利用して、番組のコマーシャル部分をカットしながら録画することができます。
- ●「オートカット」ボタンで✂を表示すると、ステレオ放送以外の番組が録画できます。
- ● コマーシャルがステレオ放送でない場合、コマーシャルはカットできません。
- ● 番組がステレオ放送の場合、その番組の最初の10分間は録画されません。10分すぎると録画が始まります。

放送

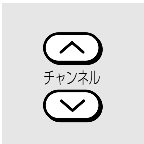
番　組 モノラル／二重	ＣＭ ステレオ	番　組 モノラル／二重	ＣＭ ステレオ	番　組 モノラル／二重

録画

番　組 モノラル／二重	番　組 モノラル／二重	番　組 モノラル／二重

ふたをあける

1 「チャンネル」ボタンを押して録画するチャンネルを選ぶ

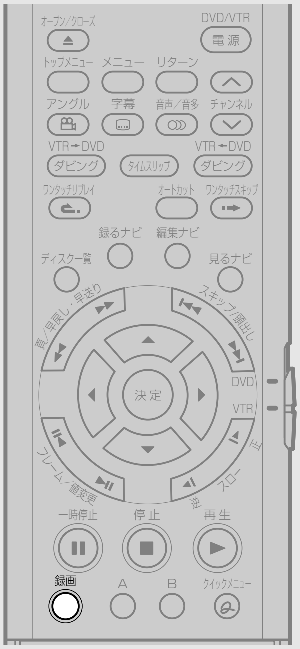


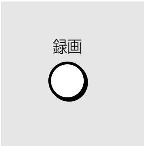
2 「オートカット」ボタンを押して、✂マークを表示させる

例

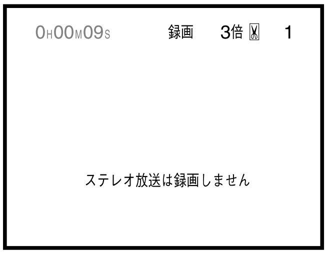
- 機能設定画面の「画面表示」が「切」に設定されている場合は、マークが表示されません。「入」または「自動」にしてから2の操作をしてください。（「画面表示」設定のしかたについては、⇨27ページをご覧ください。）
- 画面表示が消えると、オートカットは設定できません。画面表示が消える前（10 秒以内）に、3の操作をしてください。

3 「録画」ボタンを押す





例



- 10秒以内に「録画」ボタンを押さないとオートカットで録画できません。
- ステレオ放送(コマーシャル)を受信すると、自動的に録画が一時停止し、ステレオ放送が終わると一時停止が解除され録画が始まります。
- 録画を止めると(録画が終わると)、自動的にオートカットが解除されます。

お知らせ

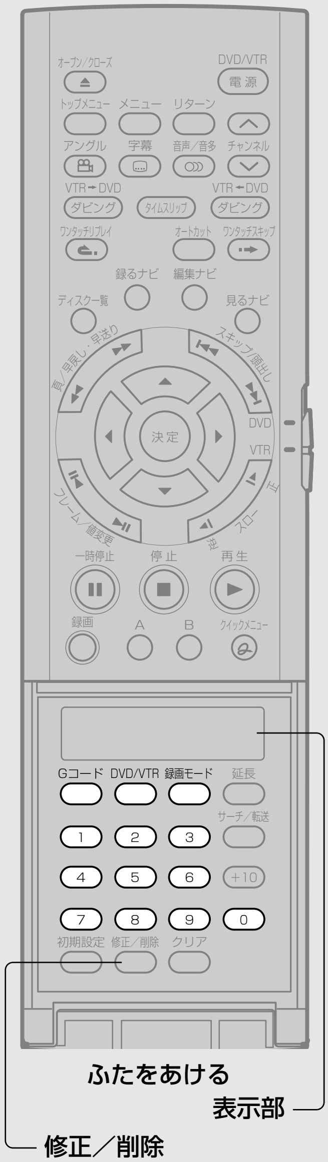
- 電波の弱い地域では、オートカットが正しく働かないことがあります。
- オートカットで録画中、「停止」ボタンや「一時停止」ボタンなどを押すとオートカットは解除されます。
- 外部入力の録画では、オートカットは働きません。
- オートカットを設定後、チャンネルや入力切換を操作すると、オートカットは解除されます。
- 録画一時停止が解除されたとき、頭の部分が少し切れることがあります。
- 録画を一時停止するまでの間には多少の時間のずれがありますので、コマーシャルが少し録画されることがあります。

Gコードで予約する

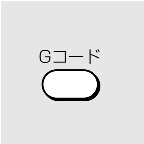
それぞれの番組に付いているGコードを入力するだけで、簡単にタイマー予約ができます。
1カ月先まで最大16番組の予約ができます。

■ 準備

- Gコードを使って予約するためには、ガイドチャンネルを正しく設定してください(準備編⇨48ページ)。ガイドチャンネルが間違っていると、違う番組が録画されます。
- 「ツメ」の折れていないテープを入れてください。

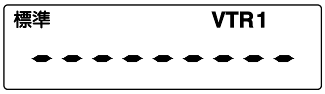


1 「Gコード」ボタンを押す

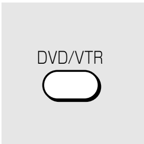


表示部に設定画面が表示されます。

例

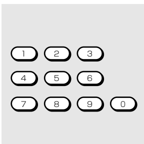


2 「DVD/VTR」ボタンで、「VTR」を選ぶ

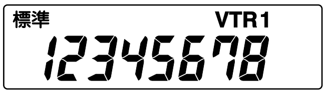


- 「DVD」を選ぶと、録画先がDVDになります。(⇨50ページ)

3 番号ボタンで、Gコードを入力する



例



- Gコードは新聞・雑誌などのテレビ欄でお調べください。
- Gコードを間違えたときは、「修正/削除」ボタンを押して間違えた数字を消してから、入力し直します。

お知らせ
- 0から始まる番号を入力したときは、9桁まで数字が入力されます。

4 録画モードを変更したいときは「録画モード」ボタンを押す

- 「録画モード」ボタンを押すたびに、「標準」、「3倍」、「標準3倍」(自動)が表示されます。
- ジャスト録画(⇨128ページ)をするときは、「標準3倍」を選びます。

ふたをあける

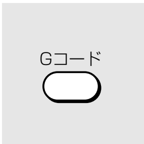
5 本体に向けて「転送」ボタンを押す

タイマー録画待機状態になります。
また、出力切換がDVD側に切り換わります。

- 予約内容を変更したいときは、124ページをご覧ください。
- ジャンルを設定したいときは、127ページをご覧ください。

6 続けてGコード予約するときは、手順3～5の操作をする

7 予約が終わったら、「Gコード」ボタンを押す



リモコン表示部の表示が消えます。

お知らせ

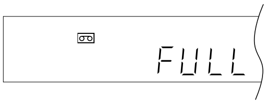
- すでに16番組予約されているときは、転送されません。必要のない予約内容を取り消してから予約してください。(124ページ)
- 番組によっては、数分長めに予約されることがあります。
- 次の場合、予約内容が転送されず、本体の表示が“E”(エラー)になります。
  ー実際にない番組を入力したとき
  ーありえない数字を入力したとき
  ーガイドチャンネルの設定がされていないとき
- DVD側が初期設定GUI表示中は、VTR側のGコード転送予約を受け付けますが、タイマー録画待機状態になりません。

(つづく)

Gコードで予約する(つづき)

- 予約内容を転送したときに“E”が表示された場合は、予約を受け付けていません。
  テレビ画面に「テープが入っていません」、「テープのツメが折れています」、「停止してから送ってください」などのメッセージが表示された場合は指示にしたがってください。

- 予約内容を転送したときに“FULL”が表示された場合は、予約を受け付けていません。
  テレビ画面に「予約できません。いらない予約を取り消してください」とメッセージが表示された場合は、すでに予約が16番組転送されていますので、これ以上予約を受け付けません。
  どれか予約内容を取り消してから、転送し直してください。（126ページ）



内容を指定して予約する

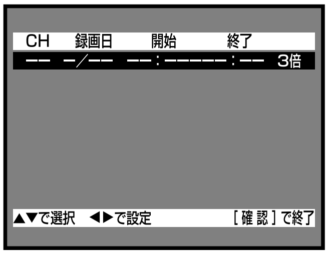
1カ月先まで最大16番組の予約ができます。

■ 準備

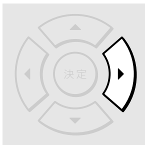
• 「ツメ」の折れていないテープを入れてください。

1 「タイマー確認」ボタンを押す

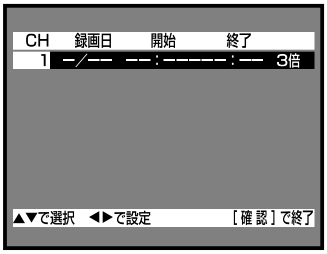
例



2 方向ボタン(▶)を押す

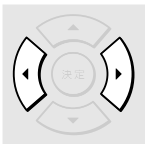


例



「CH」が点滅します。

3 方向ボタン(◀/▶)を押し、入力したい項目を選ぶ



（つづく）

内容を指定して予約する(つづき)

(つづき)

4 方向ボタン(▲/▼)を押し、内容を入力する

- 「CH」:「▲」ボタンを押すごとに、1～12→ L1～L2の順に変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 「録画日」:「▲」ボタンを押すごとに、「現在日付～一ヵ月先→毎週日→毎週月→毎週火→毎週水→毎週木→毎週金→毎週土→月- 金→月- 土→毎日」の順に変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 毎週予約……毎週同じ番組を録画するとき
  「毎週日」「毎週月」「毎週火」「毎週水」「毎週木」「毎週金」「毎週土」から選んで表示させます。
- 平日予約……土曜、日曜以外、毎日同じ番組を録画するとき
  「月ー金」を表示させます。
  日曜以外、毎日同じ番組を録画するとき
  「月ー土」を表示させます。
- 毎日予約……毎日同じ番組を録画するとき
  「毎日」を表示させます。

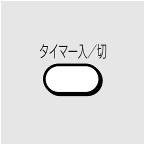
※ 毎週予約、平日予約、毎日予約をした場合は、予約の取り消しをしないかぎり、タイマー録画待機状態にしておけば予約時刻に常に録画されます。

- 「開始」:「▲」ボタンを押すごとに、「時：1時間単位、分：1分単位」で変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 「終了」:「▲」ボタンを押すごとに、「時：1時間単位、分：1分単位」で変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 「録画モード」:「▲」ボタンを押すごとに、「3倍」→「標準」→「標準3倍」の順に変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。

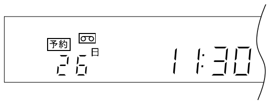
5 「タイマー確認」ボタンを押す

予約内容が設定されます。

6 「タイマー入／切」ボタンを押す



例



タイマー録画待機状態になります。

- 予約内容を修正・変更したいときは、124ページをご覧ください。
- ジャンルを設定したいときは、127ページをご覧ください。

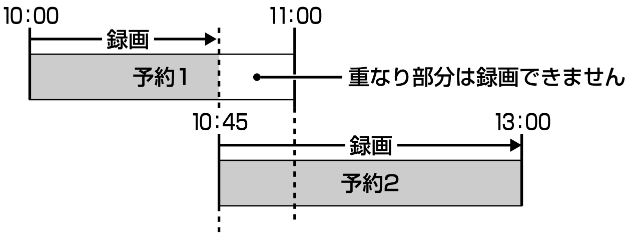
お知らせ

- DVD側が初期設定GUI表示中は、VTR側のタイマーを「入」にはできません。
- タイマー録画中は、一時停止などの各操作はできません。
- テープが終わると録画が止まり、テープは巻き戻しされません。

■ タイマー予約の時刻が重なってしまったら

以下の例のように、予約内容が重なったままタイマー録画すると、前の録画が終わらなくても、次の予約の開始時刻がくると次の録画が始まります。

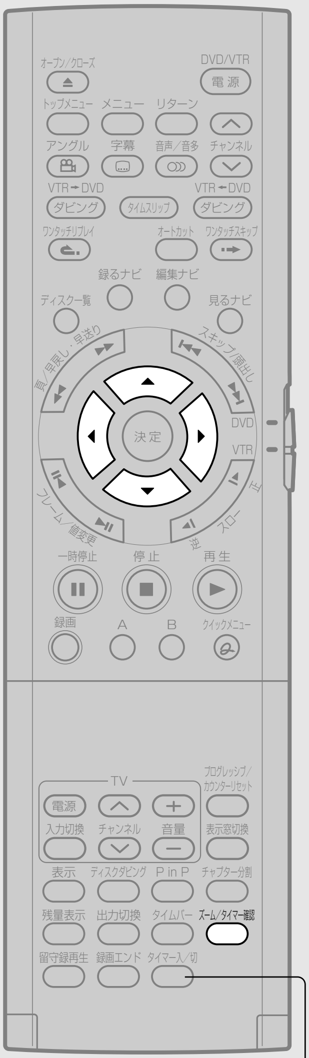
<例>



予約内容の確認・修正・取り消し

転送した予約内容の確認・修正・取消をすることができます。

予約内容の確認・修正



タイマー入／切

1 「タイマー確認」ボタンを押す

予約確認画面が表示されます。
9番組以上予約があるときは、2画面になります。カーソルを最後まで移動すると、次の画面になります。

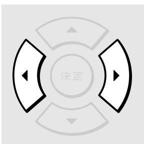
- タイマー録画待機中の場合は、「タイマー入/切」ボタンを押してタイマー録画待機を解除してから、「タイマー確認」ボタンを押してください。

例

2 予約内容を修正したいときは、方向ボタン(▲/▼)を押し、修正したい予約を選ぶ

例

3 方向ボタン(◀/▶)を押し、修正したい項目を選ぶ



例

4 方向ボタン(▲/▼)を押し、内容を修正する

- 「CH」:「▲」ボタンを押すごとに、1～ 12→L1～L2の順に変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 「録画日」:「▲」ボタンを押すごとに、「現在日付～一ヵ月先→毎週日→毎週月→毎週火→毎週水→毎週木→毎週金→毎週土→月- 金→月- 土→毎日」の順に変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 「開始」:「▲」ボタンを押すごとに、「時：1時間単位、分：1分単位」で変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 「終了」:「▲」ボタンを押すごとに、「時：1時間単位、分：1分単位」で変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。
- 「録画モード」:「▲」ボタンを押すごとに、「3倍」→「標準」→「標準3倍」の順に変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。

例

CH	録画日	開始	終了	1/2
6	2/ 3土	21：00–	23：00	標準
4	2/10土	21：00–	23：00	標準
8	2/15木	21：00–	23：00	標準
11	2/17土	20：00–	23：45	標準3倍
10	月ー金	9：00–	9：30	3倍
12	月ー土	8：15–	8：30	3倍
1	毎日	7：00–	8：00	3倍
4	毎週火	21：00–	23：00	3倍

◀▶で選択　▲▼で設定　［確認］で終了

- タイマー録画待機を解除して、確認・修正したときは、「タイマー入/切」ボタンを押してタイマー録画待機に戻してください。
- タイマー録画待機にしたくないときは、「タイマー確認」ボタンを押して予約確認画面を消します。

お知らせ

- 予約内容の修正は、タイマー録画中、およびVTR⟷DVD間のダビング中はできません。
- タイマー確認は、電源が切れているときはできません。

予約内容の確認・修正・取り消し（つづき）

予約内容の取り消し

タイマー入／切

ふたをあける

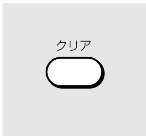
1 「タイマー確認」ボタンを押し、方向ボタン（▲/▼）で、取り消したい予約を選ぶ

例

CH	録画日	開始	終了	1/2
6	2／ 3土	21：00−	23：00	標準
4	2／10土	21：00−	23：00	標準
8	2／15木	21：00−	23：00	標準
11	2／17土	20：00−	23：45	標準3倍
10	月−金	9：00−	9：30	3倍
12	月−土	8：15−	8：30	3倍
1	毎日	7：00−	8：00	3倍
4	毎週火	21：00−	23：00	3倍

▲▼で選択　◀▶で設定　［確認］で終了

2 「クリア」ボタンを押す



予約内容が消えます。

- タイマー録画待機を解除して、取り消したときは、「タイマー入/切」ボタンを押してタイマー録画待機に戻してください。
- タイマー録画待機にしたくないときは、「タイマー確認」ボタンを押して予約確認画面を消します。

例

CH	録画日	開始	終了	1/2
6	9／ 2土	21：00−	23：00	標準
4	9／10日	21：00−	23：00	標準
8	9／15金	21：00−	23：00	標準
11	9／17日	20：00−	23：45	標準3倍
10	月−金	9：00−	9：30	3倍
−−	−／−−	−：−−−	−：−−	3倍
1	毎日	7：00−	8：00	3倍
4	毎週火	21：00−	23：00	3倍

▲▼で選択　◀▶で設定　［確認］で終了

お知らせ

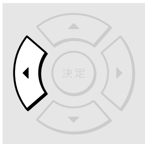
- 予約内容の取り消しは、タイマー録画中、およびVTR⟷DVD間ダビング中はできません。

ジャンルを設定する

1 「タイマー確認」ボタンを押し、方向ボタン(▲/▼)で、ジャンル設定したい予約を選ぶ

例

2 方向ボタン(◀)を押す



例

モード表示が[ジャンル]表示になります。

3 方向ボタン(▲/▼)を押し、ジャンルを選ぶ

例

- 「▲」ボタンを押すごとに、「映画」→「音楽」→「ドラマ」→「スポーツ」→「アニメ」→「−−」の順に変わります。「▼」ボタンを押すと逆方向に変わります。

いろいろなタイマー予約

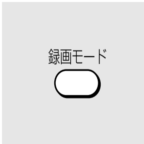
いろいろなタイマー予約の方法を説明します。

テープの残量に合わせて録画する(ジャスト録画)

タイマー録画の途中でテープが足りなくなりそうなとき、録画モードを自動的に切り換えて、番組を最後まで録画します。

ふたをあける

1 番組を予約するときに、録画モード「標準3倍」を選ぶ

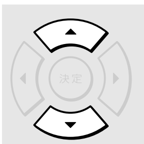


- 標準モードで録画が始まりますが、予約時間の残りよりテープの残り時間が足りなくなると、自動的に録画モードが「標準」から「3倍」に切り換わり、番組の最後まで録画します。
- 機能設定画面の「テープ残量」を使用するテープに合わせてください(147ページ)。
- ジャスト録画で録画モードが標準から3倍に切り換わった部分は、再生時に画像が乱れます。

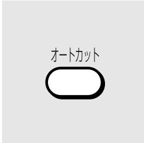
コマーシャルカットをしながらタイマー録画する

1 「タイマー確認」ボタンを押す

2 方向ボタン(▲/▼)を押して、コマーシャルをカットしたい予約を選ぶ



3 「オートカット」ボタンを押して、マークを表示させる



- CMカット録画の場合、予約した番組の前に放送されていた番組の放送終了時刻が延長されたりして予約した番組の放送開始時刻が遅れたときは、前に放送されていた番組がステレオ放送の場合は、予約した番組の録画開始時刻が自動的に10分間だけ遅れます。（終了時刻は変わりません）
- 外部入力の予約の場合、オートカットの設定はできません。

例

4 「タイマー確認」ボタンを押す

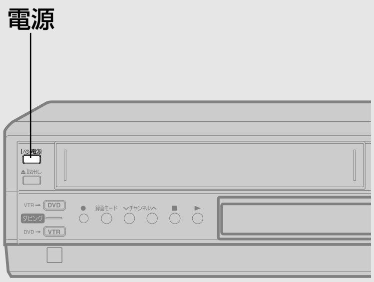
お知らせ

- ジャスト録画とオートカットを同時に使うと、ジャスト録画が正しく働かず、テープが余ることがあります。

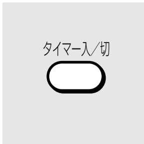
タイマー予約後に本機を使う、タイマー録画を途中でやめる

タイマー予約後に本機を使う方法と、始まってしまったタイマー録画を中止する方法を説明します。

タイマー予約後に本機を使う



1 本体の「電源」ボタン、またはリモコンの「タイマー入／切」ボタンを押す



- 電源が切れているとき、本体の「電源」ボタンを押した場合は、タイマー待機はそのままで、自動的にDVDモードで電源がはいります。この状態でDVDの操作をすることができます。
- 電源が切れているとき、リモコンの「タイマー入／切」ボタンを押した場合は、タイマー待機が解除されます。ただし電源は切れたままです。
- 電源がはいっているとき、リモコンの「タイマー入/切」ボタンを押した場合は、タイマー待機が解除され、VTR、DVDとも使えるようになります。
- 本機を使っているあいだに、タイマー予約の開始5分前になると、テレビ画面に「予約された開始時刻5分前です。タイマー録画待機にしてください」と表示されます。DVD出力モードのときは、表示されません。

タイマー録画待機に戻すときは、「タイマー入／切」ボタンを押して、本体表示窓に「予約」を表示させてください。

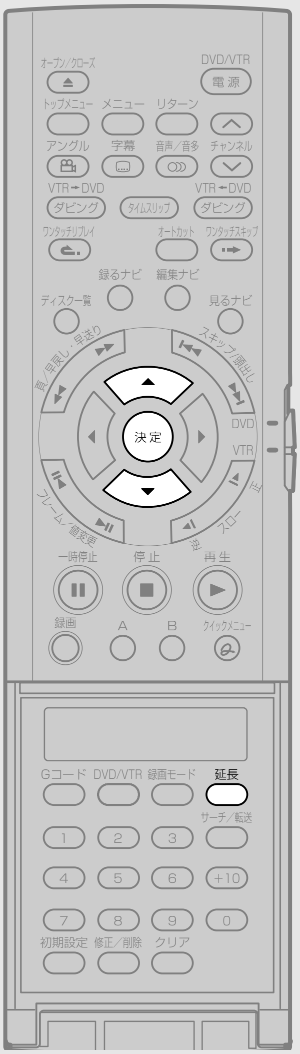
■ タイマー録画を途中で終了する

リモコンの「タイマー入／切」ボタンを押す

ナイター延長に備える

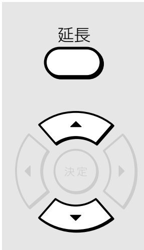
予約した番組が野球放送などの延長で放送時間が変更になるようなとき、予約した番組の開始時刻と終了時刻をずらすことができます。

ナイター延長を設定する（予約時刻のシフト）



ふたをあける

1 「延長」ボタンを押して、予約確認画面を表示し、方向ボタン（▲/▼）を押して延長したい予約を選ぶ

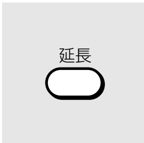


例

CH	録画日	開始	終了	
6	2/ 3土	21：00	23：00	標準
4	2/10土	21：00	23：00	標準
8	2/15木	21：00	23：00	標準
11	2/17土	20：00	23：45	標準3倍
10	月ー金	9：00	9：30	3倍
12	月ー土	8：15	8：30	3倍
1	毎日	7：00	8：00	3倍
4	毎週火	21：00	23：00	3倍

[決定]で終了

2 「延長」ボタンを押し、延長時間を設定する



例

CH	録画日	開始	終了	1/2
6	2/ 3土	21：00	23：00	標準
4	2/10土	21：00	23：00	標準
8	2/15木	21：20	23：20	標準
11	2/17土	20：00	23：45	標準3倍
10	月ー金	9：00	9：30	3倍
12	月ー土	8：15	8：30	3倍
1	毎日	7：00	8：00	3倍
4	毎週火	21：00	23：00	3倍

予約時刻をシフトします　[決定]で終了

- 「延長」ボタンを押すごとに、時刻が10分→20分→30分→40分→50分→60分→元の時刻と10分単位で最大60分まで延長できます。
- 開始時刻と終了時刻が設定した時間だけ変更されます。

3 「決定」ボタンを押す

予約確認画面が消えます。

- タイマー録画するには、「タイマー入/切」ボタンを押して、タイマー待機状態にしてください。

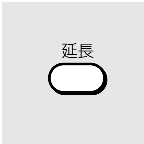
お知らせ

- タイマー録画待機中は、ナイター延長ができません。タイマー録画待機を解除して、行なってください。
- 手順2で、30秒間何もしないと、予約確認画面が消え、ナイター延長はされません。

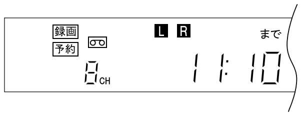
ナイター延長をタイマー録画中に設定する(終了時刻の延長)

ふたをあける

1 「延長」ボタンを押す

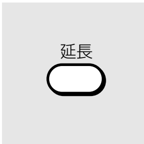


例

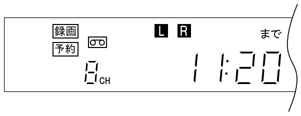


表示部に10分延長された終了時刻が表示されます。

2 「延長」ボタンを押し、延長時間を設定する



例



「延長」ボタンを押すごとに、時刻が20分→30分→40分→50分→60分と繰り下げられ、元の終了時刻には戻りません。

お知らせ

- タイマー録画中は、予約画面での延長はできません。

ダブルナビを使う(録るナビ)

本機はVTRのタイマー予約の設定と見たい番組の再生が簡単にできる、二つのナビ(録るナビ、見るナビ)を搭載しています。録るナビは最近録った番組情報を、見るナビはテープの中身をそれぞれ一覧表で表示します。番組を選んで決定するだけで操作が完了します。

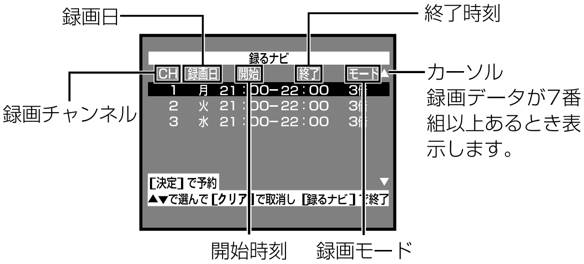
■ 録るナビとは

録るナビでは、過去の録画データ(チャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻、録画モードなど)から最近の録画情報を20個選びだし、画面に表示します。予約したい番組を選んで「録るナビ」ボタンを押せば、簡単に番組予約ができます。

録るナビ画面

録るナビボタンを押すと、本機に登録された録画データが以下のように表示されます。

- ● 工場出荷時に以下のような録画データが3番組設定されています、現在の曜日が土曜日の場合、一番上に月曜日のデータが表示されます。
- ● 新規に録画したデータは4番組目に登録されます。

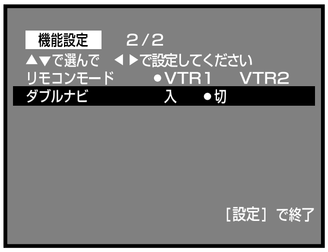


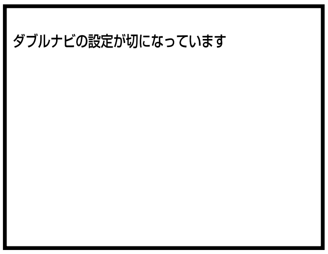
お知らせ

ダブルナビ機能を使用しないときは(設定するときは、本機を停止状態にしてください)

- 機能設定の[ダブルナビ]を[切]に設定すると、録るナビ、見るナビ機能が動作しなくなります。
- 「切」のときにリモコンの「録るナビ」ボタン、「見るナビ」ボタンを押すと、以下の表示が出ます。ダブルナビ機能を使用するときは、「入」に設定してください。
- 詳しい設定のしかたについては、「ビデオの機能をお好みに設定する」(➡185ページ)をご覧ください。

例





はじめに
DVD 録画
DVD 再生
DVD 編集
VTR 録画
VTR 再生
ダビング
ディスク一覧
機能設定
その他

ダブルナビを使う(録るナビ)(つづき)

録るナビデータを登録する

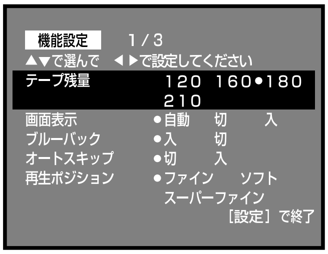
1 テープを入れる

表示部の日付、時刻の点滅が止まってから、次の操作をしてください。

2 テープの種類を合わせる

1)「初期設定」ボタンを押し、「決定」ボタンを押す

例

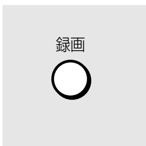


2)方向ボタン(▲/▼)を押して、「テープ残量」を選ぶ

3)方向ボタン(◀/▶)を押して、使用するテープの種類を選ぶ

- 詳しい設定のしかたについては「残量時間を正しく表示するための設定をする」(⇨147ページ)のをご覧ください。

3 録画、またはタイマー録画する



- 普通の録画やタイマー録画した内容が録画データとして登録されます。
- 標準モードで5 分以上、3倍モードで15 分以上録画すると録画データとして登録されます。

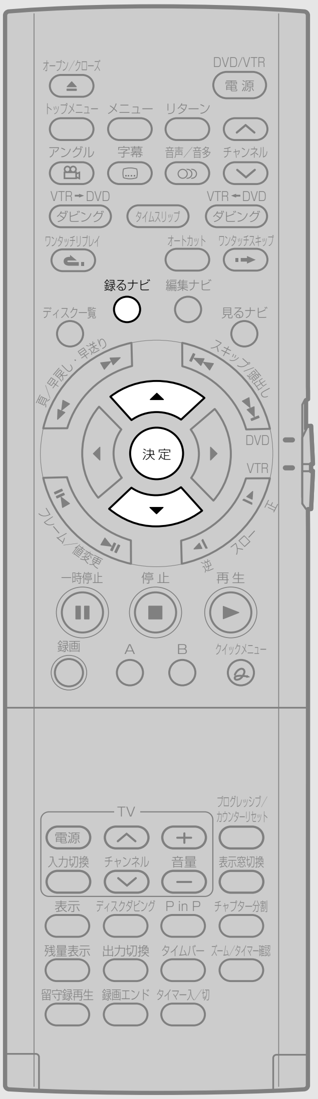
お知らせ

- 録画データは、登録時間(録画時間)が短い(標準モードで5分以内、3倍モードで15分以内)と登録されません。
- 通常録画の場合、停止した時刻に1分加算した時刻を終了時刻とします。
- ナイター延長で録画した番組は、延長前のデータが登録されます。
- 録画一時停止でチャンネルを変えた場合、新しいデータが登録されます。
- テープの種類を間違って選ぶと、録画してもデータを正確に登録できません。

録るナビで予約する

■ 準備

• 「ツメ」の折れていないテープを入れてください。

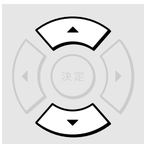


1 「録るナビ」ボタンを押す

例

• 録るナビを解除するときは、リモコンの「録るナビ」ボタンを押します。

2 方向ボタン(▲/▼)で予約したい番組を選ぶ



例

3 「決定」ボタンを押す

タイマー録画待機状態になります。
また、出力切換がDVD側に切り換わります。

• 予約内容を変更したいときは、「予約内容の修正・確認」(➡124ページ)をご確認ください。

（つづく）

ダブルナビを使う（録るナビ）（つづき）

■ 録るナビデータの取消し

今までの録画データを削除することができます。

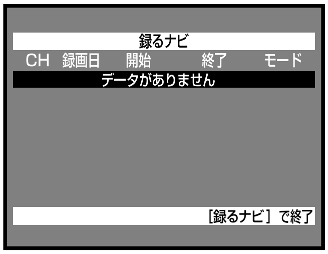
方向ボタン（▲/▼）を押して、カーソルを取り消したいデータに合わせ、「クリア」ボタンを押す

例

お知らせ

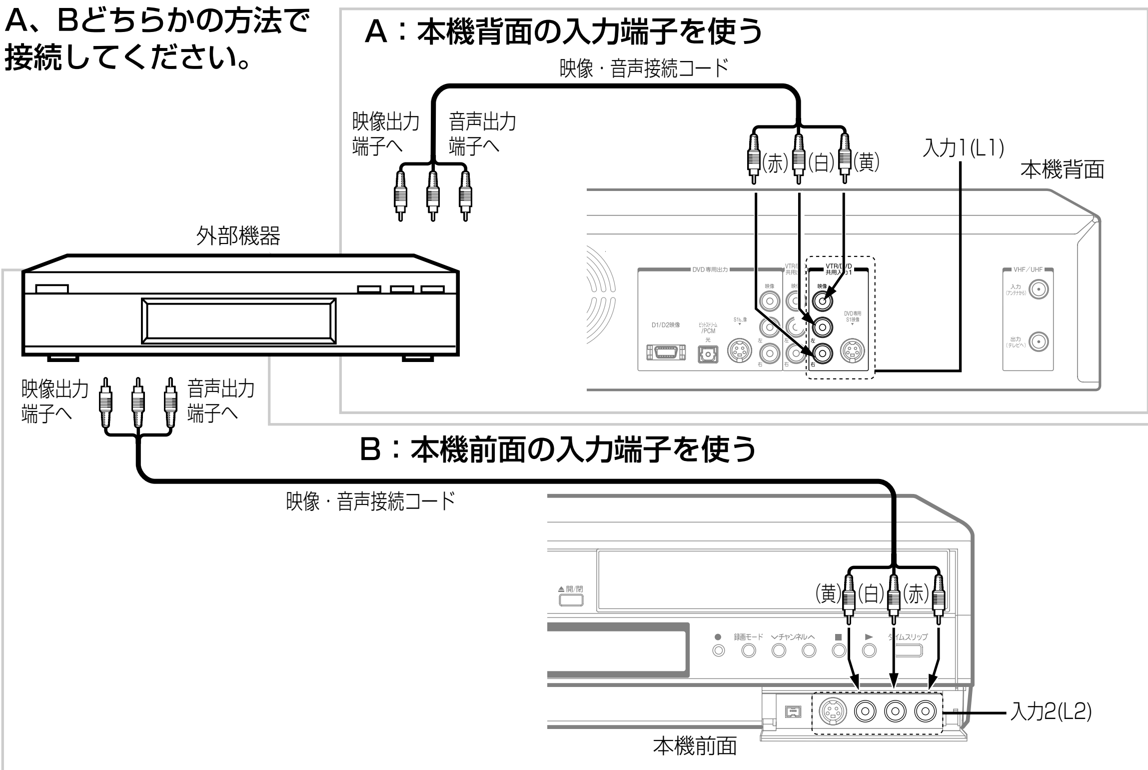
- すべて取り消されている場合は、以下の表示が出ます。

例



外部機器から入力して録画する

本機に外部機器を接続してテープに録画します。



■ 準備

- 「ツメ」の折れていないテープを入れてください。

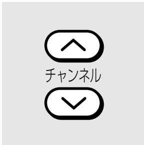
お知らせ

- 録画が禁止されている映像は、VTRへ正常に録画できません。
- S映像端子に接続した映像は、VTRへ録画できません。 映像端子(黄)に接続してください。

（つづく）

外部機器から入力して録画する（つづき）

1 「チャンネル」ボタンを繰り返し押して、本体表示窓に「L1」または「L2」を表示させる



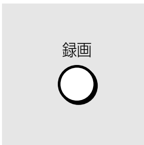
押すごとに表示が切り換わります。

L1：　背面の入力1端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

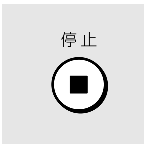
L2：　前面の入力2端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

2 外部機器を再生状態にする

3 本機の「録画」ボタンを押して、録画を始める



4 外部機器からの録画を終了するときは、「停止」ボタンを押す



本章での操作は、リモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「VTR」側（VTRモード）にして行なってください。

VTR
再　生

テープの再生をしてみましょう。

- **テープを見る**
- **速さを変えてテープを見る**
- **コマーシャルを早送りする**
- **テープの走行量、残量時間を見る**
- **見たい番組を探す**
- **音声を切り換える**
- **ダブルナビを使う（見るナビ）**

テープを見る

テープを見るときの操作について説明します。

■ 準備

- テレビの電源を入れ、本機のVTR/DVD共用出力に接続している入力に切り換えてください。
- リモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「VTR」側にしてください。
- 「出力切換」ボタンを押して出力をVTR側に切り換えてください。

テープを再生する

停止

1 テープを入れる

「ツメ」の折れているテープを入れると、自動的にテープを再生します。
このときは、手順2は不要です。

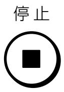
2 「再生」ボタンを押す

テープを再生します。

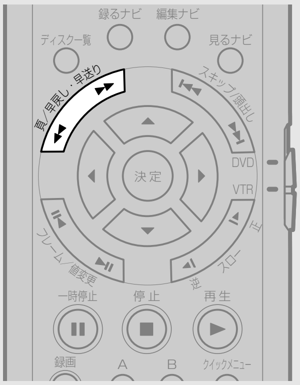
- 再生中に「再生」ボタンを押すと、2倍の速さでテープを再生します。
- テープを終わりまで再生すると、自動的にテープのはじめまで巻き戻します。
- 早送りのときは、テープの終わりで停止します。

■ テープを止める

「停止」ボタンを押す



テープを早戻しや早送りする



1 テープを止めてから「早戻し・早送り」ボタンを◀◀または▶▶の方向に押す

▶▶：早送り
◀◀：早戻し

- 本機は、高速でテープを早戻し、早送りするため、「停止」ボタンを押しても、テープ保護のため、テープが止まるまでに時間がかかります。
- 早戻し、早送り中は、動作音が大きくなります。

留守録したテープを再生する（留守録再生）

1 タイマー録画済のテープがはいっていることを確認する

2 「留守録再生」ボタンを押す

ビデオの電源がはいり、一番最後にタイマー録画した番組を頭出しして、自動的に再生します。

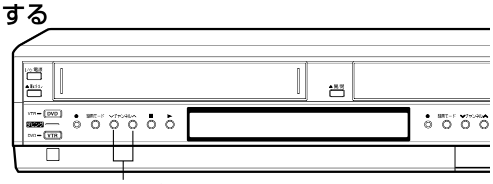
お知らせ

- S-VHS 簡易再生(SQPB ※)については、本機でS-VHS 方式で録画することはできませんが、S-VHS方式で録画したテープを再生することができます。ただしS-VHS本来の高解像度・高画質は得られません。
  ※SQPBとはS-VHS Quasi Playbackの略です。
- タイマー録画待機中でも留守録再生できます。待機中に再生したときは、タイマー録画待機に戻してください。

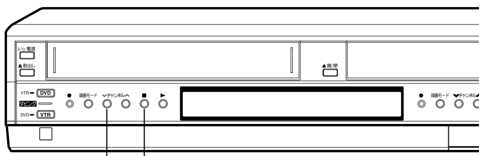
■ 画面をきれいにする （手動トラッキング調整）

録画状態の悪いテープのとき、自動トラッキング調整では最良点に合わないことがあります。ノイズが少なくならないときは、以下の手順で調整してください。
本機は、テープを再生すると自動的にトラッキング調整を行います。
録画状態の悪いテープを再生したときなど、ノイズが少なくならないときは、以下の操作を行ってください。

1）再生中に本体のVTR側の「チャンネル」ボタン（へ／﹀）でノイズが最も少なくなるように調整する



2) 自動トラッキング調整に戻すときは本体のVTR側の「チャンネル」ボタン(﹀)と「停止」ボタンを二つ同時に3秒以上押す



お知らせ

- 自動調整中は、画像やHi-Fi音声にノイズが出ることがあります。
- 本機をテレビの近くに置くと、再生中、画像や音声にノイズが出ることがあります。その場合はテレビから離して使用してください。

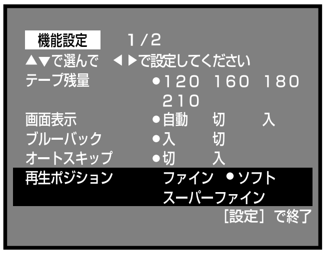
■ ノイズを少なくしてテープを見る／くっきりとした画像でテープを見る

機能設定画面で再生ポジションを[ソフト]にすると、レンタルテープやダビングしたテープなどを見るとき、ノイズを少なくすることができます。また、[スーパーファイン]にするとくっきりした画像で見ることができます。

1) 「初期設定」ボタンを押し、「決定」ボタンを押す

機能設定画面が表示されます。

例



2) 方向ボタン(▲/▼)を押して、「再生ポジション」を選ぶ

3) 方向ボタン(◀／▶)を押して、「ソフト」または「スーパーファイン」を選ぶ

ファイン	通常の再生画面
ソフト	レンタルテープなど、ノイズを少なくしたいとき。
スーパーファイン	細かい部分の再現性を上げて、くっきりした画像で見たいとき。

4) 「初期設定」ボタンを押し、機能設定画面を消す。

● 詳しい設定のしかたについては、「ビデオの機能をお好みに設定する」(⇨185ページ)をご覧ください。

■ CMなどを飛ばして見る(ワンタッチスキップ)

再生中、飛ばしたい部分になったところでリモコンの「ワンタッチスキップ」ボタンを押す

- 約30秒間早送り再生し、ふつうの再生に戻ります。
- ボタンを押すたびに30秒間ずつ、最長2分間(合計4回)まで早送り再生できます。

お知らせ

- ワンタッチスキップの途中で再生ボタンを押すと、普通の再生に戻ります。

■ 少し前に戻る(ワンタッチリプレイ)

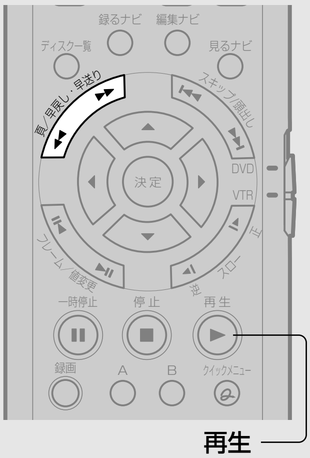
再生中に、「ワンタッチリプレイ」ボタンを押す

- 約10秒間早戻し再生し、通常の再生に戻ります。

速さを変えてテープを見る

再生の速さを変えてテープを見ることができます。

テープを見ながら早戻しや早送りをする



1 普通の再生中に「早戻し・早送り」ボタンを◀◀または▶▶の方向に押す

▶▶：早送り再生
◀◀：早戻し再生

- 標準モードで録画したテープは通常再生の5倍の速さ、3倍モードで録画したテープは15倍の速さで再生されます。
- 「早戻し・早送り」ボタンを押し続けると、押しているあいだだけ、速さが速くなります。標準モードで録画したテープは9倍の速さ、3倍モードで録画したテープは27倍の速さになります。
  ボタンを離すと、押し続ける前の速さに戻ります。

■ 再生に戻すときは

「再生」ボタンを押す

■ 早戻し中や早送り中に画像を見るときは

「早戻し・早送り」ボタンを◀◀または▶▶の方向に押す

お知らせ

- 早戻し再生、早送り再生中は数本の横じまがでます。また、音声は聞こえません。
- 早戻し再生、早送り再生から通常の再生に戻したときに、一瞬画像が乱れることがありますが故障ではありません。

2倍の速さで見る（2倍速再生）

1 再生中に、「再生」ボタンを押す

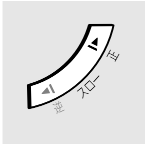
■ 普通の再生に戻すには

もう一度「再生」ボタンを押す

速さを変えてテープを見る(つづき)

スローモーションで見る（スロー再生）

1 再生中に、「スロー」ボタン(I▶)を押す



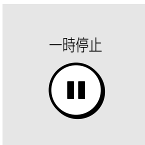
- 「スロー」ボタン(I▶)を押すと1/7倍のスローになり、もう一度「スロー」ボタン(I▶)を押すと1/15倍のスローになります。
- スロー再生を約5分続けると、自動的に普通再生の速さに戻ります。
- スロー再生は正方向(I▶)だけです。
- スロー再生画面にノイズが出る場合は、スロー再生中に本体のＶＴＲ側の「チャンネル」ボタン(∨／∧)で、ノイズが最も少なくなるように調整してください。

■ 再生に戻すときは

「再生」ボタンを押す

画像を一時的に止める（静止画再生）

1 再生中に、「一時停止」ボタンを押す



静止画再生を約5分続けると、自動的にテープを再生します。

- 静止画再生画面が揺れる場合は、静止画再生中に本体のVTR側の「チャンネル」ボタン(∨／∧)で、揺れが最も少なくなるように調整してください。

■ 再生に戻すときは

「一時停止」ボタンを押す

コマ送りで見る（コマ送り再生）

1 静止画再生中に、「再生」ボタンを押す

- 「再生」ボタンを1回押すたびに、1コマずつ画像が進みます。
- 「再生」ボタンを押し続けると、スローモーション(1/30倍のスロー再生)になります。

■ 再生に戻すときは

「一時停止」ボタンを押す

お知らせ

- S-VHS方式で録画されたテープを2倍速再生、スロー再生、静止画再生、コマ送り再生すると画面が乱れることがあります。

コマーシャルを早送りする

コマーシャルの部分を自動的に早送りしながらテープを見ることができます。この機能をオートスキップサーチといいます。

●オートスキップサーチのしくみ

オートスキップサーチは、ステレオ放送とモノラル放送または二重放送の違いを検出し、ステレオ放送の部分だけを早送り再生する機能です。現在放送されているコマーシャルはステレオ放送が多いため、コマーシャルだけを早送り再生することができます。
ステレオ放送が録画されたテープを見るときは、「オートスキップ」の設定を「切」にしてください。「入」では、早送り再生になります。

＜オートスキップサーチするときの番組例＞

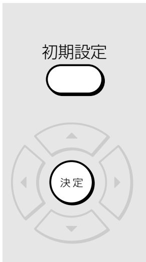
再生 →	早送り再生 →	再生 →
番　組 （モノラル放送／二重放送）	コマーシャル （ステレオ放送）	番　組 （モノラル放送／二重放送）

＜オートスキップサーチできない番組＞

● 番組がステレオ放送のときやコマーシャルがモノラル放送または二重放送のときは、オートスキップサーチできません。

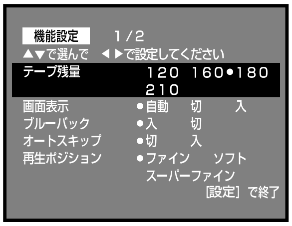
ふたをあける

1 「初期設定」ボタンを押し、「決定」ボタンを押す

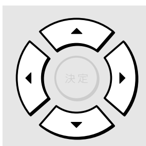


機能設定画面が表示されます。

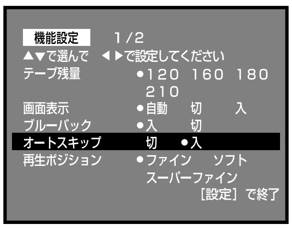
例



2 方向ボタン（▲/▼）を押して、「オートスキップ」を選び、方向ボタン（◀/▶）を押して●マークを「入」にあわせる



例



• 詳しい設定のしかたについては、「ビデオの機能をお好みに設定する」（⇨185ページ）をご覧ください。

お知らせ

• オートスキップサーチができるのは、本機で録画したテープだけです。
• 外部入力から録画したテープではオートスキップサーチできません。
• コマーシャル以外でも、モノラル放送や二重放送からステレオ放送の番組が始まると、早送り再生されます。また、電波状態によっては正常にオートスキップサーチをしないことがあります。このときは「オートスキップ」の設定を[切]にしてください。
• VTR→DVDダビング時は、オートスキップサーチは働きません。

テープの走行量、残量時間を見る

テープが走行した時間やテープの残量時間を確認することができます。

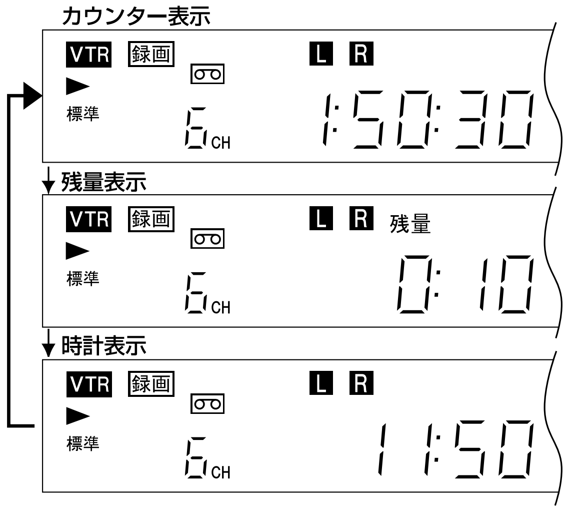
カウンターリセット

1 「表示窓切換」ボタンを押して、カウンター表示にする

録画中や再生中に、テープの走行量やテープの残量時間を見ることができます。

- 「表示窓切換」ボタンを押すごとに、以下のように表示が切り換わります。

例



- カウンターを0：00：00(ゼロ)にするときは「カウンターリセット」ボタンを押す

お知らせ

- カウンター表示は目安としてお使いください。
- 何も録画されていない部分では、カウンターの数字が点滅します。テープが進む方向では、左から右に、テープが戻る方向では、右から左に数字が点滅します。(ただし、テレビ画面の表示は点滅しません)
- テープを取り出したり、電源を切ると、カウンター表示は時計表示に変わります。
- テープを取り出すとカウンターは自動的にリセットされ、「0：00：00」になります。
- カウンターが「0：00：00」のときにテープを巻き戻すと、−(マイナス)表示が出ます。

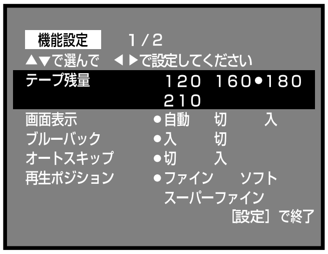
■ 残量時間を正しく表示するための設定をする

残量時間を正しく表示するために、お使いになるテープの長さを設定してください。

1）「初期設定」ボタンを押し、「決定」ボタンを押す

機能設定画面が表示されます。

例



2）方向ボタン(▲/▼)を押して、「テープ残量」を選ぶ

3）方向ボタン(◀/▶)を押して、使用するテープの種類を選ぶ

テープ残量	テープの種類
120	T-120までのテープを使うとき
160	T-140からT-160までのテープを使うとき
180	T-180のテープを使うとき
210	T-180より長いテープを使うとき

● 詳しい設定のしかたについては、「ビデオの機能をお好みに設定する」(⇨185ページ)をご覧ください。

お知らせ

- テープ残量時間は、おおよその目安です。テープの後になるほど精度がでてきます。
- 録画時は、録画モード(標準/3倍)にしたがってテープ残量時間を表示します。
- 再生時は、再生中のテープのモードにしたがってテープ残量時間を表示します。
- テープ残量の設定が違うと、残量時間が正しく表示されません。
- 使用するテープによっては、実際の残量時間と表示が異なる場合があります。
- 別売のCカセットアダプターを使用しているときや、特殊なテープ(10分テープなど)を使用しているときは、残量時間を正しく表示しないことがあります。

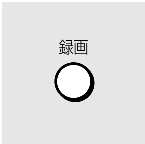
見たい番組を探す

頭出し信号（VISS 信号）を使って、録画した番組を探し、頭出しすることができます。

頭出し信号の記録

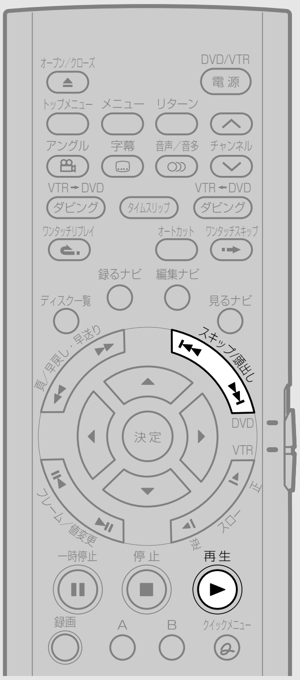
頭出し信号は、録画をはじめると始まり部分に自動的に記録されます。

1 「録画」ボタンを押す

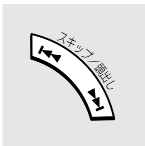


頭出し信号が記録されます。
- タイマー録画をしたときも、始まり部分に頭出し信号が記録されます。
- 頭出し信号を続けて記録するときは、標準モードで1分、3倍モードで3分以上間隔をあけて記録してください。

見たい番組を頭出ししながら探す（頭出しサーチ）



1 停止または再生中に「スキップ／頭出し」ボタンを押す



見たい番組のある方向によって、「I◀◀ボタン」または「▶▶Iボタン」を押します。
- 頭出し信号の記録されている部分を約5秒ずつ再生します。
- テレビ画面に「頭出し中」が表示されます。

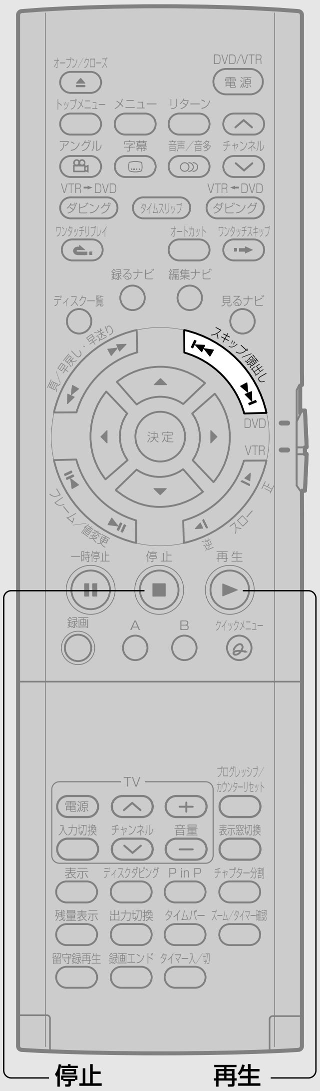
2 見たい番組が見つかったら「再生」ボタンを押す

番組を再生します。
- 「再生」ボタンを押すまで探します。
- 探すのを途中でやめるときは、「停止」ボタンまたは「再生」ボタンを押します。

お知らせ

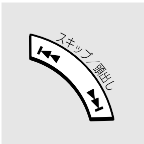
- 録画中に一時停止し、再び録画をはじめたときは、頭出し信号は記録されません。ただし、チャンネルを変えたときは記録されます。
- テープの最初の部分では、頭出しサーチが正常に働かないことがあります。

番組を指定して探す（飛越しサーチ）



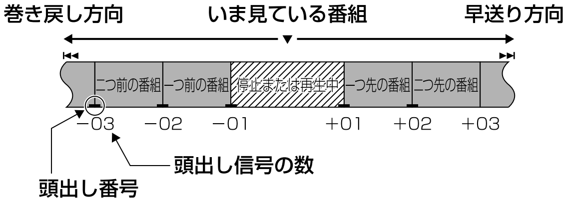
停止　再生

1 停止または再生中に「スキップ／頭出し」ボタンの「I◀◀」ボタンまたは「▶▶I」ボタンを2 回以上押す



見たい番組のある方向によって、「I◀◀」ボタンまたは「▶▶I」ボタンを押します。

- テレビ画面に「頭出し中」とボタンを押した回数が表示されます。



［例］

- 一 つ前の番組を頭出しするとき
  「I◀◀」ボタンを3回押して− 02 を表示させます。
- 次の番組を頭出しするとき
  「▶▶I」ボタンを2回押して+ 01 を表示させます。

- 最大20 番組前や後の頭出しができます。
- 指定した数だけ頭出し信号を見つけると、自動的に再生が始まります。
- 飛越しサーチを途中で止めるには、「停止」または「再生」ボタンを押します。

お知らせ

- オートスキップが「入」のときに、ステレオ放送の番組を頭出しすると、巻き戻し再生または早送り再生になることがあります。このときは、「再生」ボタンを押すか、オートスキップを「切」にしてください。
- CM カット録画をしたテープでは、飛越しサーチが正常に働かないことがあります。

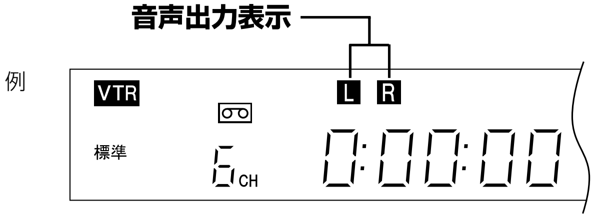
音声を切り換える

本機で二重放送やステレオ放送を録画したテープを再生すると、二重放送は自動的に主音声が再生され、ステレオ放送はステレオで再生されます。音声を切り換えて副音声も聞くことができます。

1 「音声／音多」ボタンを押す

「音声／音多」ボタンを押すたびに音声出力表示が変わり、音声が切り換わります。

音声出力表示	二重放送	二重放送時の音声の例	ステレオ放送
L R（L、R点灯）	主音声と副音声	おはよう／good morning	ステレオ
L（Lのみ点灯）	主音声	おはよう	左の（主）音声
R（Rのみ点灯）	副音声	good morning	右の（副）音声
（L、R消灯）	主音声	おはよう	モノラル（右と左）



✎お知らせ

- 番組の途中から再生すると正しく音声が切り換わらないことがあります。このようなときは、「音声／音多」ボタンで聞きたい音声を選んでください。
- ステレオ音声を聞くには、ステレオ装置やAV テレビなどの音声入力端子との接続が必要です。
- 録音される音声は、Hi-Fiで録音したとき、音声多重放送をそのまま録音します。

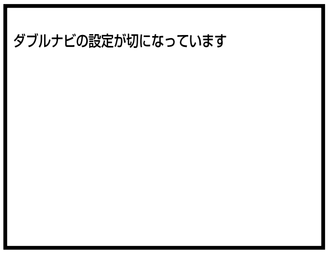
ダブルナビを使う(見るナビ)

VTRの見るナビと録るナビをあわせてダブルナビといいます。(133ページ)

見るナビをご使用のとき

●「ダブルナビ」の設定が「切」のときにリモコンの「見るナビ」ボタンを押すと、以下の表示が出ます。ダブルナビ機能を使用するときは、「入」に設定してください。

●詳しい設定のしかたについては、「ビデオの機能をお好みに設定する」(185ページ)をご覧ください。

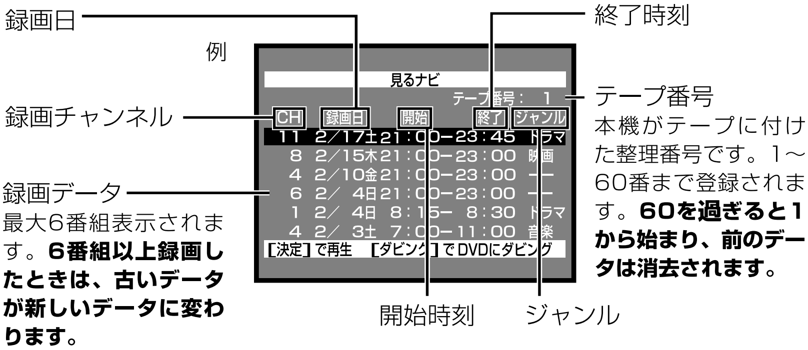


■ 見るナビとは

見るナビでは、録画するテープにテープ番号(最大60 番まで)を付け、録画データ(チャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻、ジャンル)を最大6番組登録してテープごとに管理します。録画データを活用してテープの中身を見たり、見たい番組を頭出し、再生する機能を見るナビといいます。

見るナビ画面

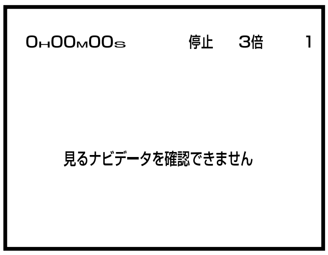
テープに登録されたデータを以下のように表示します。



お知らせ

- 見るナビが使用できるのは、本機で録画したテープだけです。
- 機能設定の「ダブルナビ」を「入」にしているときテープを入れると、時刻が点滅します。テープに登録されているデータを確認しています。確認中は、テレビ画面に「見るナビデータを確認中です」と表示されます。
- テープを入れると、表示部の時刻が点滅したあと点灯します。点灯後に操作してください。表示部の時刻が点滅中に操作すると、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。
- 録画データは、登録時間(録画時間)が短い(標準モードで5分以内、3倍モードで15分以内)と登録されません。
- 見るナビデータの検索には、しばらく時間がかかることもあります。
- 次の1 ～ 3のテープがはいっているとき「見るナビ」ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。
  1. 何も録画していないテープ
  2. 本機以外のビデオで録画したテープ
  3. 市販のソフトテープ

例



(つづく)

ダブルナビを使う（見るナビ）（つづき）

見るナビで探す

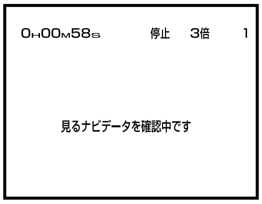
1 本機で録画したテープを入れる

2 「見るナビ」ボタンを押す

見るナビ画面が表示されます。

- 見るナビを解除するときは、リモコンの「見るナビ」ボタンを押します。

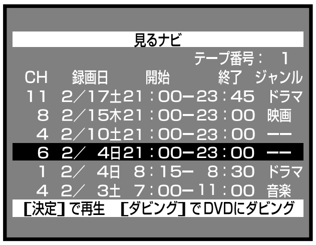
例　**確認中の画面**



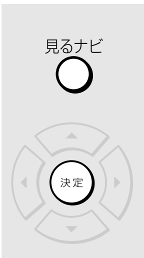
例　**見るナビ画面**

3 方向ボタン（▲/▼）で見たい番組を選ぶ

例

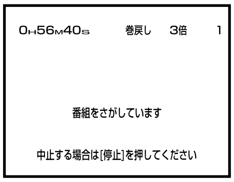


4 「決定」ボタンを押す



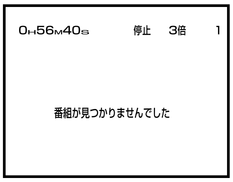
番組の頭を探し、再生が始まります。

例　**検索中の画面**



- 選んだ番組がテープにはいっていないときは、以下の画面が表示されます。

例



「見るナビ」ボタンを押すと、見るナビを終了します。

お知らせ

- 本機で見るナビデータを登録したテープに追加登録するときは本機で録画したテープを入れても、表示部の時刻が点滅中に録画すると、テープに複数のテープ番号が自動的に付けられてしまい、見るナビデータが正しく表示できません。
  同じテープ番号で録画するときは、以下の手順で追加登録してください。

  1. 本機で録画した部分まで巻き戻す
  2. 「見るナビ」ボタンを押して、見るナビ画面を出す
  3. 「録画エンド」ボタンを押して、録画済み番組の終了位置で止める
  4. 録画、またはタイマー録画をする

ダビング

本機のDVDとVTR間で簡単にダビングができます。

- **VTRからDVDへダビングする**
- **DVDからVTRへダビングする**

VTRからDVDへダビングする

ビデオテープに録画した内容をDVDディスクに簡単にダビングすることができます。

■ 準備

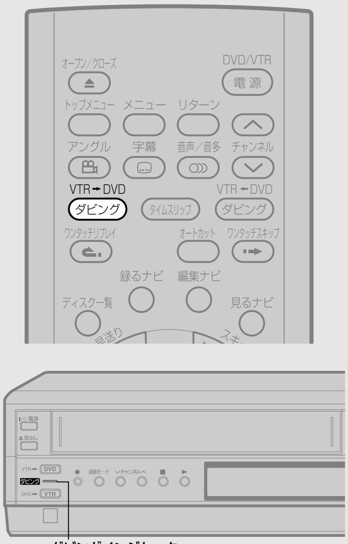
●VTR側
- 再生するビデオテープを入れてください。⇨24ページ
- 簡単ダビング録画の場合は、録画を開始したい位置でビデオテープを停止してください。
- 二重音声の録画内容をダビングする場合は、ダビングする前に再生音声をダビングしたい音声出力（⇨150ページ）に切り換えてください。音声出力を主音声＋副音声にしてDVD-R/RWにダビングした場合、再生時に主音声と副音声を切り換えることはできません。DVD-RAMにダビングした場合は、再生時に切り換えることができます。

●DVD側
- 録画用のDVDディスクを入れてください。⇨23ページ
- カートリッジ付きのディスクの場合は、ライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。
- DVDディスクに十分な残量があることを確認してください。⇨31ページ
- 時刻設定されていることを確認してください。時刻設定されていないとVTR→DVDのダビングができません。

ご注意
- コピープロテクトがかかっているビデオテープからはダビングできません。
- 著作物から記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 著作物を編集することは、著作権法上、権利者に無断で行なうことはできません。

VTRからDVDへ簡単ダビングをする　DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

現在のテープ位置からテープの終了までの録画内容をDVDディスクにボタンひとつで簡単にダビングすることができます。



1 停止中、本体またはリモコンの「VTR➡DVDダビング」ボタンを3秒以上押す

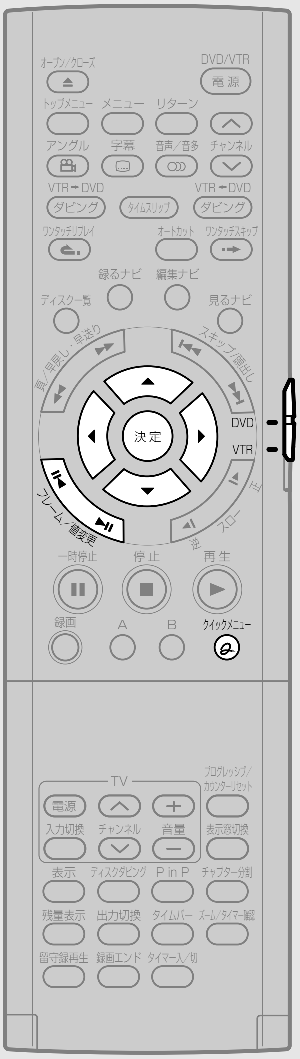
ダビングが開始されます。
- ダビング中は本体のダビングインジケーターが点灯します。
- ダビングが開始すると、DVD出力モードに切り換わります。

●画質と音質レートを変えたいときは、ダビング開始前に「ＶＴＲからDVDへ見るナビダビングをする」手順1～5（⇨155ページ）のように行なってください。
●ダビングを途中で終了するには、「停止」ボタンを押します。

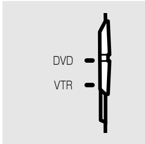
お知らせ
- ダビング中は本機で選局してテレビを見ることはできません。
- ビデオテープが終わるとダビングが終了し、テープは自動的にはじめまで巻き戻ります。
- DVDディスクの残量がなくなったときは、ダビングは停止します。
- テープに録画されていない部分（無信号部分）があってもダビングは止まりません。
- DVDの予約録画とダビングが重なった場合、ダビングは停止し、予約録画が優先されます。
- ダビング時、VTRの頭出し信号を検出すると、自動的にチャプター境界が作られます。
- ダビングの最初と最後に、受信している映像などが録画されることがあります。
- ダビング中は、「電源」ボタンを押して電源を切ることはできません。

VTRからDVDへ見るナビダビングをする DVD-RAM DVD-RW DVD-R

ビデオテープに録画した内容を見るナビで選択し、DVDディスクにダビングできます。



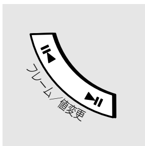
1 DVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側にする



2 停止中に「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させる

3 方向ボタン（▲/▼）で「録画・画質/音質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

4 「値変更」ボタンで画質、音質の設定No.を選ぶ



例

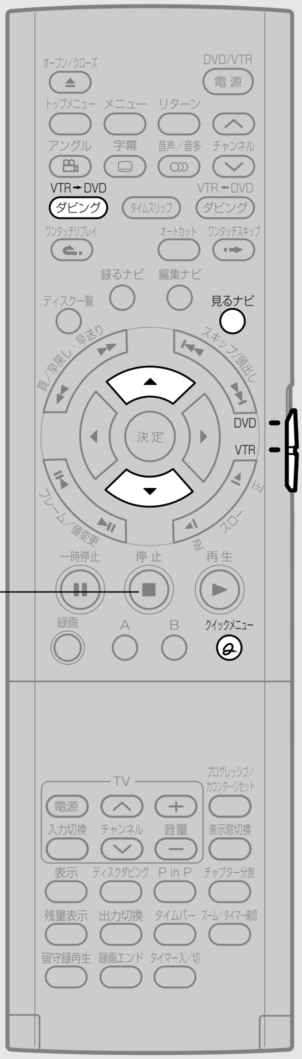
「モード」、「レート」および「音質」の内容については、44ページをご覧ください。

5 「決定」ボタンを押す

設定画面が消えます。

（つづく）

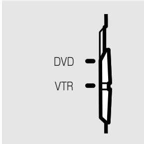
VTRからDVDへダビングする(つづき)



停止

(つづき)

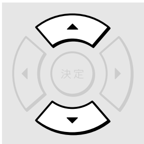
6 DVD/VTR操作切換スイッチを「VTR」側にする



7 「見るナビ」ボタンを押す

見るナビ画面が表示されます。

8 方向ボタン(▲/▼)でダビングしたい番組を選ぶ



9 リモコンまたは本体の「VTR➡DVDダビング」ボタンを押す

ダビングが開始されます。

- ダビング中は本体のダビングインジケーターが点灯します。
- ダビングが開始すると、DVD出力モードに切り換わります。

●ダビングを途中で終了するには、「停止」ボタンを押します。

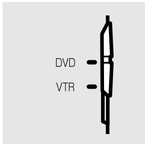
お知らせ

- ダビング中は本機で選局してテレビを見ることはできません。
- ビデオテープの再生が止まる(停止する)とダビングが終了します。
- ビデオテープの最後に録画した番組を選んだときは、ビデオテープの終わりまでダビングが続きます。
- DVDディスクの残量がなくなったときは、ダビングは停止します。
- DVDの予約録画とダビングが重なった場合、ダビングは停止し、予約録画が優先されます。
- ダビング時、VTRの頭出し信号を検出すると、ダビングは停止します。
- ダビングの最初と最後に、受信している映像などが録画されることがあります。
- ダビング中は、「電源」ボタンを押して電源を切ることはできません。

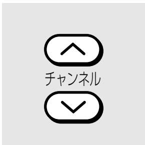
VTRからDVDへ手動でダビングをする DVD-RAM DVD-RW DVD-R

ビデオテープに録画した内容をDVDディスクにダビングできます。

1 DVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側にする（DVDモードにする）



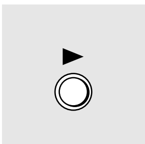
2 「チャンネル」ボタンを繰り返し押して、「L0」（ライン0）を選ぶ



3 録画の画質と音質を設定する

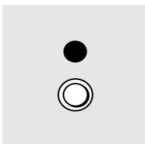
「VTRからDVDへ見るナビダビングする」の手順1から5（➡155ページ）のように設定します。

4 本体のVTR側の「再生」ボタンを押す



またはVTRモードにしてリモコンの「再生」ボタンを押します。

5 本体のDVD側の「録画」ボタンを押す



またはDVDモードにしてリモコンの「録画」ボタンを押します。

- ダビングを一時的に止めるときは、DVDモードにして「一時停止」ボタンを押します。
- ダビングを終了するときは、本体のDVD側の「停止」ボタンを押し、次にVTR側の「停止」ボタンを押します。またはDVDモードにしてリモコンの「停止」ボタンを押し、VTRモードにしてリモコンの「停止」ボタンを押します。

VTRからDVDへダビングする(つづき)

お知らせ

- ダビング中は本機で選局してテレビを見ることはできません。
- ビデオテープが終わるとダビングが終了し、テープは自動的にはじめまで巻き戻ります。
- DVDの予約録画とダビングが重なった場合、ダビングは停止し、予約録画が優先されます。
- 手動でダビングする場合、VTRの機能設定の「オートスキップ」が「入」になっていると、オートスキップサーチ(⇨145ページ)が働きます。手動でダビングする場合は、「オートスキップ」を「切」に設定してください。

■ 3次元ダビング

ダビング時のノイズを低減する機能を使う(録画DNR)

ダビングの前に、初期設定で「録画DNR」を設定します。
VTR→DVDダビング時、ノイズを低減する3次元デジタルノイズリダクションが働きます。
内容の詳細は⇨183ページをご覧ください。

■ ダビング中にチャプターを作成する

ダビング中に「チャプター分割」ボタンを押す
押したところにチャプター境界ができ、その前後が別々のチャプターになります。

お知らせ

- DVD-R/RWに録画したタイトルは、あとからチャプター分割できません。

■ DVD-R/RWダビング時にチャプターを自動作成する

「DVD-Video時チャプター分割」(⇨183ページ)を設定する

DVDからVTRへダビングする

DVDディスクに録画した内容をビデオテープに簡単にダビングすることができます。

■ 準備

●DVD側
- 再生するDVDディスクを入れてください。⇨23ページ

●VTR側
- 録画用のビデオテープを入れてください。
  ービデオテープのツメが折れていないことを確認してください。

ご注意
- コピープロテクトがかかっているディスクからはダビングできません。
- 著作物から記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 著作物を編集することは、著作権法上、権利者に無断で行なうことはできません。

DVDからVTRへ簡単ダビングをする

リモコン、または本機の「DVD➡VTRダビング」ボタンを使ってDVD-RAMディスクに録画した内容をビデオテープにボタンひとつで簡単にダビングすることができます。

1 本体またはリモコンの「DVD➡VTRダビング」ボタンを3秒以上押す

ダビングが開始されます。
DVD-RAM1枚に録画されているタイトルをすべてダビングします。
- ダビング中は本体のダビングインジケーターが点灯します。
- ダビングが開始すると、VTR出力モードに切り換わります。
- 録画モードを変えたいときは

  「DVD➡VTRダビング」ボタンを押す前に、「録画モード」ボタンを押して、「標準」または「3倍」モードを選んでください。

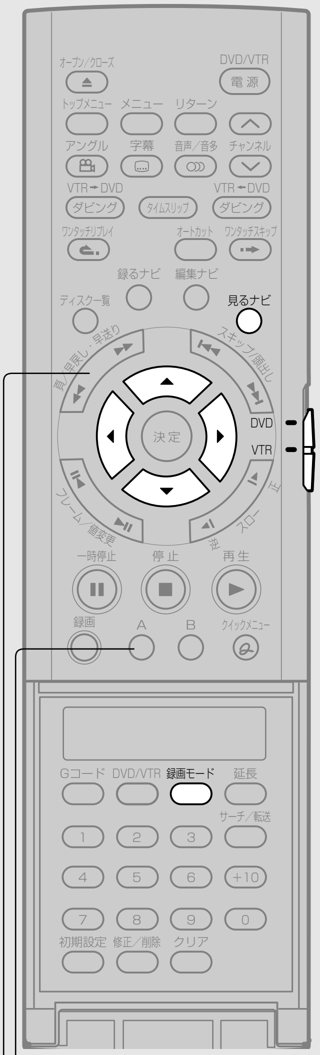
●ダビングを途中で終了するには、「停止」ボタンを押します。

お知らせ
- ダビング中は本機で選局してテレビを見ることはできません。
- ビデオテープが終わるとダビングが終了します。
- 簡単ダビングでビデオテープに録画できるディスクはDVD-RAMだけです。
- DVD→VTR簡単ダビングのダビング対象は、オリジナルタイトルだけです。プレイリストはダビングされません。
- DVD→VTRダビング実行中は、DVD側のGUI表示(状態表示など)は表示されません。
- ダビング時、タイトルの切り換わり、チャプターの切り換わりのところで、VTR側に頭出し信号が記録されます。
- タイトルの切り換わり、チャプターの切り換わりの間隔が「標準」モードで5分、「3倍」モードで15分以下の場合は、頭出し信号として記録されません。
- ダビングの最初と最後に、受信している映像などが録画されることがあります。
- ダビング中は、「電源」ボタンを押して電源を切ることはできません。
- 二重音声の録画内容をダビングする場合、ダビングする前に選んでいた再生音声出力(⇨76ページ)でダビングされます。

DVDからVTRへダビングする(つづき)

DVDからVTRへ見るナビダビングをする

DVDディスクに録画した内容を見るナビで選択し、ビデオテープにダビングできます。

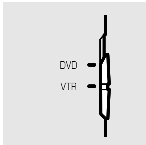


ふたをあける

A

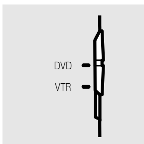
頁

1 DVD/VTR操作切換スイッチを「VTR」側にする



2 「録画モード」ボタンを押して録画モード(標準／3倍)を選ぶ

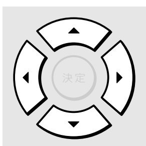
3 DVD/VTR操作切換スイッチを「DVD」側にする



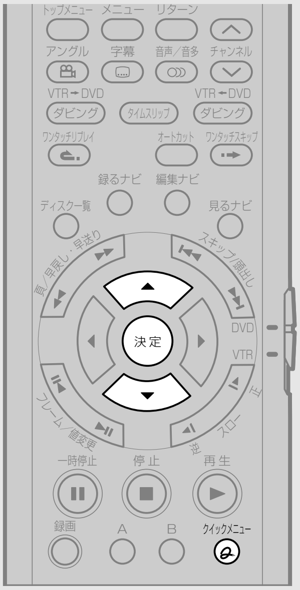
4 「見るナビ」ボタンを押す

「見るナビ　タイトル一覧」画面が表示されます。

5 方向ボタンを押して、タイトルを選ぶ



- 「頁(◀◀／▶▶)」ボタンを押して前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。



6 「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

7 方向ボタン(▲/▼)で「見るナビダビング」を選び、「決定」ボタンを押す

ダビングが開始されます。
- ダビング中は本体のダビングインジケーターが点灯します。
- ダビングが開始すると、VTR出力モードに切り換わります。

●ダビングを途中で終了するには、「停止」ボタンを押します。

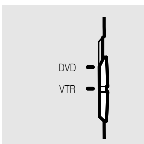
お知らせ

- ダビング中は本機で選局してテレビを見ることはできません。
- ビデオテープが終わるとダビングが終了します。
- DVDディスクの再生が終わると、ダビングは停止します。
- VTRが録画できない状態のときは、「見るナビダビング」を選んでもダビングは開始されません。
- ダビング時、チャプターの切り換わりのところで、VTR側に頭出し信号が記録されます。
- チャプターの切り換わりの間隔が「標準」モードで5分、「3倍」モードで15分以下の場合は、頭出し信号として記録されません。
- ダビングの最初と最後に、受信している映像などが録画されることがあります。
- ダビング中は、「電源」ボタンを押して電源を切ることはできません。
- 二重音声の録画内容をダビングする場合、ダビングする前に選んでいた再生音声出力(➡76ページ)でダビングされます。

DVDからVTRへ手動でダビングをする

DVDディスクに録画した内容をビデオテープにダビングできます。

1 DVD/VTR操作切換スイッチを「VTR」側にする



2 「チャンネル」ボタンを繰り返し押して、「L0」(ライン0)を選ぶ

(つづく)

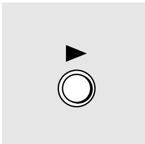
DVDからVTRへダビングする(つづき)

ふたをあける

(つづき)

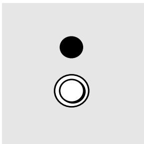
3 「録画モード」ボタンを押して録画モード(標準/3倍)を選ぶ

4 本体のDVD側の「再生」ボタンを押す



またはDVDモードにしてリモコンの「再生」ボタンを押します。

5 本体のVTR側の「録画」ボタンを押す



またはVTRモードにしてリモコンの「録画」ボタンを押します。

- ダビングを一時的に止めるときは、VTRモードにして「一時停止」ボタンを押します。
- ダビングを終了するときは、本体のVTR側の「停止」ボタンを押し、次にDVD側の「停止」ボタンを押します。またはVTRモードにしてリモコンの「停止」ボタンを押し、次にDVDモードにしてリモコンの「停止」ボタンを押します。

お知らせ

- 次のようなときは故障ではありません。
  ーディスク再生時とテープ録画時で明るさが異なるとき
  ーディスクの再生時間とテープのカウンター値が多少ずれるとき
- ディスクを録画するときは、ズームを解除しておいてください。ズーム機能で映像を拡大した状態で録画すると、画面から隠れた部分は録画されません。

■ ディスクをテープに編集記録するとき

- ディスクをテープに記録するとき、コピー防止機能の付いたDVDビデオディスク等を記録するとコピー防止機能の働きにより、録画は止まります。
- コピー禁止情報により、DVD→VTRにはダビングできても、VTR→DVDへはダビングできないことがあります。

ディスク一覧

ディスク一覧を活用しましょう。

●ディスク一覧の使いかた

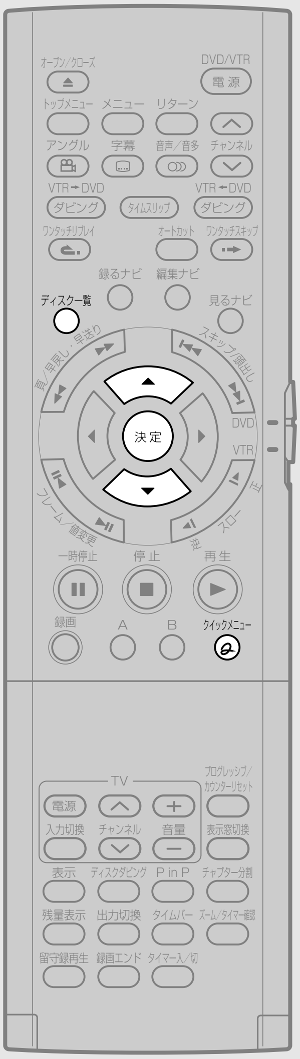
DVD-RAM

ディスク一覧の使いかた

本機に登録されているすべてのDVD-RAMディスクについて、番号順にディスク番号、ディスク名、推量残量を表示します。
この情報を利用して、見たいディスクや空きのあるディスクが簡単に探せます。

ディスク一覧はおもに以下のような使いかたができます。
●ディスクの情報を確認する
●どのDVD-RAMディスクにどのくらい空き容量があるかを調べる

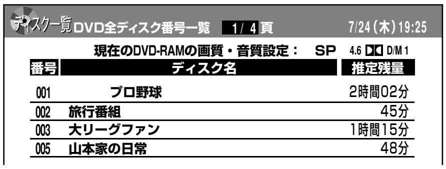
ディスク一覧の基本操作



1 「ディスク一覧」ボタンを押す

「ディスク一覧　DVD全ディスク番号一覧」画面が表示されます。

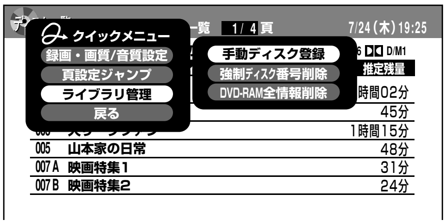
例



2 「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

例



3 方向ボタン（▲/▼）で項目を選び、「決定」ボタンを押す

実際に項目を選んでの操作内容は、次ページ以降をご覧ください。

お知らせ

- 手順を途中でやめるには、「ディスク一覧」ボタンを押します。
- DVD-R/RWディスクはディスク一覧で管理できません。
- 「このディスクは1回コピーが許可された番組の録画に対応しています」などの記載がないDVD-RAMディスクでもディスク一覧機能を利用できますが、そのディスクを本機以外で使用すると、ディスク一覧が正しく機能しなくなることがあります。この記載があるDVD-RAMディスクをお使いください。
- 管理できるディスクの数は60枚までです。
- ディスク一覧で表示されるディスク名は登録されたディスク名より短く表示される場合があります。

別の画質・音質設定を想定してディスクの残量を調べる

1)「ディスク一覧」ボタンを押す

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「録画・画質/音質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

例

4)「値変更」ボタンで設定を選ぶ(182ページ)

5)「決定」ボタンを押す

選んだ設定で録画可能な時間が「推定残量」に表示されます。

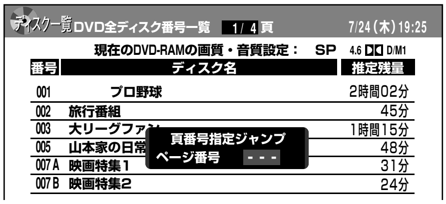
目的のディスクを探す

1)「ディスク一覧」ボタンを押す

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「頁指定ジャンプ」を選び、「決定」ボタンを押す

例



4) 方向ボタン(▲/▼)または「値変更」ボタンでページ番号を入力する

5)「決定」ボタンを押す

選んだ頁が表示されます。

ディスク情報を管理する

ディスク情報は、本機が内部で自動的に管理していますが、以下のようなときは、それぞれの方法でディスク情報の整理をしてください。

- 本機以外で録画したディスクを使うときなど、**本機にないディスク情報を、ディスク一覧に追加したい**とき。

  →「手動ディスク登録をする」をご覧ください。

- **ディスク情報を最初から整理したくなった**とき。

  →「ディスク情報だけをすべて消す」(167ページ)をご覧ください。

■ 手動ディスク登録をする

1) 本機のディスク一覧に情報を追加したいDVD-RAMディスクを、本機に入れる

2)「ディスク一覧」ボタンを押す

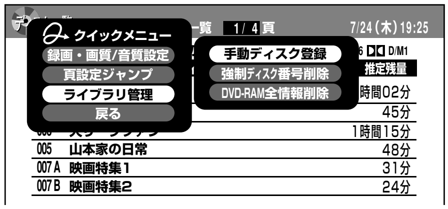
3)「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

4) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示されます。

例



5) 方向ボタン(▲/▼)で「手動ディスク登録」を選び、「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

登録を中止したいときは「いいえ」を選びます。

お知らせ

- 本機以外の機器で録画されたディスクをディスク一覧に登録するには「手動ディスク登録」をしてください。その際、登録できるディスク名は最大で全角12文字です。
- 本機で録画されたディスクを本機以外の機器で編集すると、ディスク一覧情報が消えたり、本機での動作に影響がある場合があります。
- 「ライブラリ管理」の手動ディスク登録をすると、ディスク一覧内にディスク番号の同じディスクが複数できることがあります。そのような場合には、「ディスク番号変更」(61ページ)をすることをお勧めします。

■ 強制ディスク番号削除

使わなくなったDVD-RAMディスクの番号は、強制的に削除することで他のディスクの番号として使えるようになります。

1)「ディスク一覧」ボタンを押す

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「強制ディスク番号削除」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 削除したいディスクの番号を、「値変更」ボタンで入力し、「決定」ボタンを押す

■ ディスク情報だけをすべて消す

ディスク情報を最初から整理し直したいときなどに使います。

1)「ディスク一覧」ボタンを押す

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で、「DVD-RAM全情報削除」を選ぶ

DVD-RAMディスクの全ディスク情報を削除します。

5)「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

機能設定

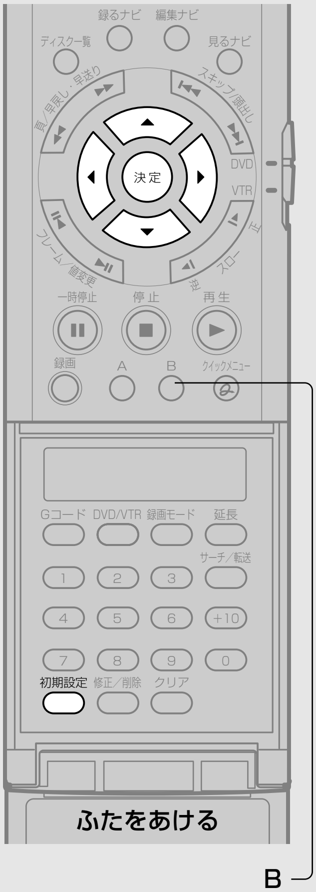
本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

- 初期設定の変更と機能の設定（DVD）
- ビデオの機能をお好みに設定する(VTR)

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

初期設定の変更と機能の設定(DVD)

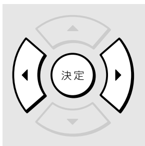
本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。



1 停止中に、DVDモードにして「初期設定」ボタンを押す

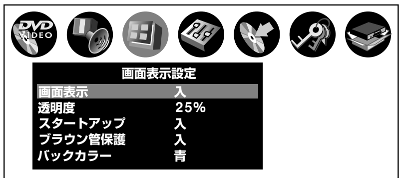
DVD側の初期設定画面が表示されます。

2 方向ボタン(◀/▶)で、設定したい項目のグループを選び、「決定」ボタンを押す



項目の内容は次のページをご覧ください。

例：「画面表示設定」を選んだとき



3 方向ボタン(▲/▼)で、設定したい項目を選び、「決定」ボタンを押す

4 ⇨174ページ以降の説明を参照して、方向ボタン(▲/▼)などで設定し、「決定」ボタンを押す

- 同じグループの他の項目を設定するときは、手順3、4を繰り返します。
- 他のグループに移るには、「B」ボタンを押してから、手順2〜4を行います。

5 「初期設定」ボタンを押す

画面が消え、設定は終わりです。

お知らせ

- 「初期設定」ボタンは再生中にも押せますが、項目によっては表示が薄くなって選べない場合があります。これらの項目はいったん再生を止めてから設定してください。
- 「初期設定」ボタンは、録画中、別タイトル再生中、タイムスリップ再生中、VTR録画中およびタイマー待機中には使えません。

項目	設定内容	ページ
DVDプレイヤー設定		
DVDディスクメニュー言語 DVD-VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語のディスクメニューのうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	⇨174ページ
DVD音声言語 DVD-VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	⇨174ページ
DVD字幕言語 DVD-VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	⇨174ページ
DVD Dレンジコントロール DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	⇨175ページ
カラオケボーカル DVD-VIDEO	DVDカラオケ対応ディスクで再生ボーカルを出力するかしないかを設定します。	⇨175ページ
DVDパレンタルロック DVD-VIDEO	パレンタルロック機能の内容や入／切を設定します。	⇨175ページ
DVDビデオタイトル停止 DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO	DVDビデオディスクの再生時、一つのタイトルが終わったら再生をやめるか、そのまま続けるかを設定します。	⇨176ページ
PBC VCD	ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面再生をするかどうかを設定します。	⇨177ページ

項目	設定内容	ページ
映像・音声設定		
TV画面形状 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD	接続してあるテレビの形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	⇨177ページ
静止画 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO	一時停止させた時の画像の解像度を設定します。	⇨177ページ
映像調整選択 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD	標準または3種類のカスタム画質を選択します。	⇨177ページ
映像調整 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD	画質を調整して保存します。	⇨177ページ
プログレッシブ変換 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD	再生する素材に合わせて、出力時の変換方式を設定します。(プログレッシブ方式のテレビに接続しているとき。)	⇨178ページ
再生DNR DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD	ノイズの少ない画面で再生できます。	⇨178ページ
音声出力設定 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。	⇨179ページ
バーチャルサラウンド設定 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO	2つのスピーカーだけでも広がりと奥行き感のある音響効果で再生する機能を設定します。	⇨179ページ

（つづく）

初期設定の変更と機能の設定(DVD)(つづき)

項目	設定内容	ページ
画面表示設定		
画面表示 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD	本機の動作状態(「▶」など)を画面に表示するかどうかを設定します。	⇨180ページ
透明度 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD	画面表示を出しているときの、その下の画像に対する濃さを設定します。	⇨180ページ
スタートアップ	電源を入れたときに自動的に表示する動画の有無を設定します。	⇨180ページ
ブラウン管保護 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD	静止画のテレビ画面への焼付きを軽減する機能を設定します。	⇨180ページ
バックカラー	映像入力信号がないときの画面の状態を選びます。	⇨180ページ

項目	設定内容	ページ
各種操作設定		
終了時お知らせ音設定 DVD-RAM DVD-RW DVD-R	ダビングなどを終了するときのブザー音の有無を設定します。	⇨181ページ
リモコンモード	本機が受け付けるリモコンのモードを切り換えます。	⇨181ページ
ワンタッチスキップ設定 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD	「ワンタッチスキップ」ボタンを押すごとにスキップする幅を選びます。	⇨181ページ
ワンタッチリプレイ設定 DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD	「ワンタッチリプレイ」ボタンを押すごとに戻る幅を選びます。	⇨181ページ
タイトルサムネイル設定	録画したタイトルの最初からどのくらい経過した場面をタイトルのサムネイルにするかを選びます。	⇨181ページ
タイトル再生設定 DVD-RAM	タイトルごとのレジューム再生をするか、連続再生をするかを設定します。	⇨181ページ
スチル集再生速度 DVD-RAM	静止画集を再生するときの、静止画1枚あたりの表示時間を設定します。	⇨181ページ

項目	設定内容	ページ
録画機能設定		
録画・画質/音質設定 DVD-RAM DVD-RW DVD-R	録画時にビットレートをマニュアルで設定する場合のために、その初期値をあらかじめ決めておきます。	⇨182ページ
録画映像モード DVD-RAM DVD-RW DVD-R	「映像・音声設定」の「映像調整」で画質が調整しきれないときにかぎり使用する設定です。	⇨182ページ
録音入力レベル DVD-RAM DVD-RW DVD-R	録画するときの音声のレベルを設定します。	⇨182ページ
DVD-Video記録時画面比 DVD-RW DVD-R	DVD-R/RW録画時の画面比の設定をします。	⇨183ページ
DVD互換モード DVD-RAM DVD-RW DVD-R	DVD-R/RW録画時の音声の設定をします。	⇨183ページ
DVD-Video時チャプター分割 DVD-RW DVD-R	DVD-R/RW録画時に、設定した間隔で自動的にチャプター分割するかどうかを選びます。	⇨183ページ
録画DNR DVD-RAM DVD-RW DVD-R	録画時に3次元デジタルノイズリダクションを使用するかどうかを設定します。	⇨183ページ
3次元Y／C分離 DVD-RAM DVD-RW DVD-R	3次元デジタルフィルターによるY/C(輝度/色)分離をするかどうかを設定します。	⇨183ページ

管理設定		
ジャンル設定 DVD-RAM DVD-RW DVD-R	よく使うジャンル名をメニューに登録します。	⇨184ページ
待機時省エネ設定	電源が切れている間(待機状態)に本体表示部を消灯させるかどうかを選びます。	⇨184ページ
DVD-RAM物理フォーマット DVD-RAM	DVD-RAMディスクの物理フォーマットを実行します。	⇨33ページ
ソフトウェアバージョン	本機のソフトウェアバージョンを表示しています。 本項目は、設定する項目ではありません。	
DVDドライブソフトウェア	本機搭載DVDドライブのソフトウェアバージョンを表示しています。 本項目は、設定する項目ではありません。	

初回設定
「時刻設定」、「チャンネル設定」、「ジャストクロック」については準備編⇨30ページをご覧ください。

DVDプレイヤー設定

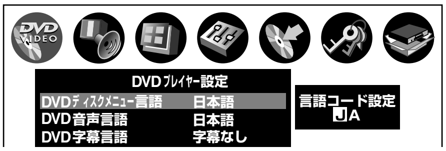
DVDディスクメニュー言語

DVD-VIDEO

英語：
英語でディスクメニューを表示します。

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。

その他：
ディスクメニューを表示する言語が選べます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。



1) 「言語コード表」(☞195ページ)で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンを押して、コードの第1字を選ぶ

3) 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンでコードの第2字を選ぶ

4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 該当する言語のディスクメニューがない場合は、ディスクで指定された言語で表示されます。

DVD音声言語

DVD-VIDEO

英語：
英語で音声を再生します。

日本語：
日本語で音声を再生します。

その他：
音声を再生する言語が選べます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」(☞195ページ)で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンでコードの第1字を選ぶ

3) 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンでコードの第2字を選ぶ

4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVD字幕言語

DVD-VIDEO

英語：
英語で字幕を表示します。

日本語：
日本語で字幕を表示します。

字幕なし：
字幕を表示しません。

その他：
字幕を表示する言語が選べます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」(➡195ページ)で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向ボタン(▲/▼)でコードの第1字を選ぶ

3) 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンでコードの第2字を選ぶ

4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」ボタンでディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

DVD Dレンジコントロール

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。

切：
Dレンジコントロール機能が働きません。

入：
Dレンジコントロール機能が働きます。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルはディスクによって変わります。

カラオケボーカル

DVD-VIDEO

切：
ボーカル(歌声)を出力しません。

入：
ボーカル(歌声)を出力します。

お知らせ
- ドルビーデジタルマルチチャンネルで記録されたDVDカラオケディスクのときだけ、この機能が働きます。
- カラオケをお楽しみになるときは、本機にアンプなどを接続してください。

DVDパレンタルロック

DVD-VIDEO

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。例えばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えて再生されます。

お願い
- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。
必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

入：
パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～3)を行ってください。

切：
パレンタルロック機能は働きません。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)を行ってください。

1) 番号ボタンで4桁の暗証番号を入力し、「決定」ボタンを押す

番号を入れまちがえたときは、「決定」ボタンを押す前に「クリア」ボタンを押して、入力し直します。

(つづく)

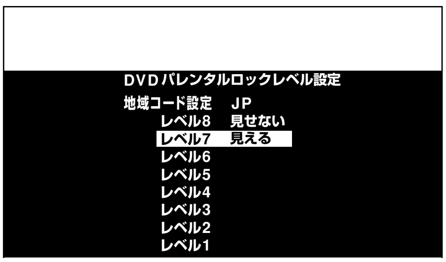
2) 下の表を参照して、設定したい規制レベルの国／地域のコードを入力する

国／地域	コード
オーストラリア	AU
ベルギー	BE
カナダ	CA
中国	CN
中国香港	HK
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
インドネシア	ID
イタリア	IT
日本	JP
マレーシア	MY
オランダ	NL
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
ロシア	RU
シンガポール	SG
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
イギリス	GB
アメリカ	US

a) 方向ボタン(▲/▼)でカーソルを移動させ、「値変更」ボタンでコードの第1字を選ぶ

b) 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、「値変更」ボタンでコードの第2字を選ぶ

3) 方向ボタン(▲/▼)で設定したい規制レベルを選び、「決定」ボタンを押す



選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「切」にしないかぎり、再生できなくなります。例えばレベル7を設定すると、レベル8以上はロックされ再生できなくなります。

「US」以外を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「US」を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17　レベル3：PG
レベル6：R　レベル1：G
レベル4：PG13

■ パレンタルロックの規制レベルを変えるには

手順1)〜3)を行う

■ 暗証番号を変えるには

1)「入」「切」を選んだあとで、「停止」ボタンを4回押し、さらに「決定」ボタンを押す

暗証番号が解除されます。

2) 番号ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力する

3)「決定」ボタンを押す

DVDビデオタイトル停止

DVD-RW　DVD-R　DVD-VIDEO

無：
一つのタイトルが終わってもそのまま次のタイトルが再生できます。

有：
一つのタイトルが終わったら、ディスクの作りに応じた動作をします。
本機で録画した未ファイナライズのDVD-R/RWディスクの場合は、次のタイトルが再生されます。ただし、次のタイトルがない場合、再生が停止します。

PBC

VCD

切：

ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

入：

ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。

映像・音声設定

TV画面形状

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD

接続しているテレビの画面形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。
設定の詳細は、準備編「テレビ画面形状の設定(DVD)」(➡44ページ)をご覧ください。

静止画

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO

自動：

通常はこの設定にします。動きのある画像でもぶれずに一時停止します。

フレーム：

動きのない画像を、特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。

映像調整選択

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD

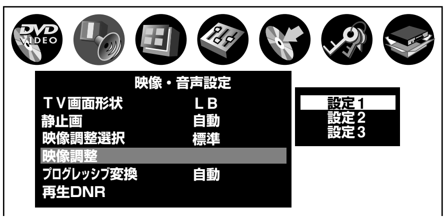
画質の設定を4種類(標準／設定1／設定2／設定3)のうちから選びます。

映像調整

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD

調整した画質の設定を3種類まで記憶できます。

1) 方向ボタン(▲/▼)で、記憶する番号(1〜3)を選び、「決定」ボタンを押す



(つづく)

2) 方向ボタン(▲/▼)で調整項目を選び、方向ボタン(◀/▶)で値を調整する

明るさ
(0)標準 ⇔ 明るくなる(7)

コントラスト
(−7)淡くなる ⇔ 標準(0)

色の濃さ
(−7)薄くなる ⇔ 標準(0)

エッジ強調
(OFF)標準 ⇔ 輪郭をシャープに(ON)

3) 調整が終わったら、「決定」ボタンを押す

プログレッシブ変換

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD

DVDビデオディスクの記録内容には、一般的にフィルム素材(フィルム映像を24コマ/秒で記録)とビデオ素材(映像情報を30コマ/秒で記録)の2種類があります。映像の種類に合わせて設定します。

自動：
通常の設定です。映像の種類がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれ適した方法でプログレッシブ出力に変換します。

ビデオ：
映像をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換します。ビデオ素材の映像の再生に適しています。

フィルム：
フィルム素材の映像を適した方法でプログレッシブ出力に変換します。

お知らせ
- 映像によっては、輪郭がギザギザになったり、映像が二重にぶれて見えることがあります。

再生DNR

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD

ノイズを低減して再生する設定を選びます。
方向ボタン(▲/▼)で設定する項目を選び、
方向ボタン(◀/▶)で「入」または「切」を設定します。

3D-DNR：

切： この機能は働きません

入： 再生時に映像信号に混入している全体的なノイズを低減します。

モスキートNR：

切： この機能は働きません。

入： MPEG圧縮時に映像の輪郭部分に発生するモスキート(ちらつき)ノイズを低減します。

ブロックNR：

切： この機能は働きません。

入： MPEG圧縮時に動きの激しい映像で画面の一部がブロック状にみえるノイズ(ブロックノイズ)を低減します。

DNRとは、Digital(デジタル) Noise(ノイズ) Reduction(リダクション)の略です。

お知らせ
- ディスクや場面によって、DNR効果がわかりにくいことがあります。
- DNR効果により、場面によっては、細かな画が見えなくなることがあります。
- 設定を「入」にしたときに、ディスクや場面によっては残像が発生したり、輪郭部のノイズが増加することがあります。このときは設定を「切」にしてください。
- プログレッシブ選択時のズーム表示中は、3D-DNR機能は働きません。

音声出力設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

接続に合わせて選びます。

出力される音声の種類については77ページをご覧ください。

ビットストリーム：
ドルビーデジタル、DTSの各デコーダを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTSで記録されたディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ 2ch：
テレビやオーディオ機器を、アナログ端子で本機に接続しているとき。

PCM：
2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタルで記録されたディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

バーチャルサラウンド設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO

二つのスピーカーだけでも奥行きや広がりのある音響効果で再生できます。

切：
バーチャルサラウンド効果は働きません。

入：
バーチャルサラウンド効果が働きます。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- ビットストリーム／PCM光音声出力端子でアンプなどに接続している場合は、音声出力設定がPCMのときだけこの機能が働きます。
- この機能が働くと、音量が変わったように感じることがあります。
- この機能が働くと、ドルビープロロジックサラウンドが働かないか、または通常と違って聞こえることがあります。
- 音声が歪む場合、「バーチャルサラウンド設定」を「切」にしてください。

（つづく）

画面表示設定

画面表示

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

切：
「 ▶ 」などの動作状態を画面に表示しません。

入：
「 ▶ 」などの動作状態を画面に表示します。

透明度

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

画面表示の濃さを変えて、下の画像が透けて見える度合いを選びます。

0%：25%：50%

スタートアップ

切：
スタートアップ画面を表示しません。

入：動画：
電源を入れたときに、自動的にスタートアップ画面を表示します。

ブラウン管保護

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

テレビ画面の焼付き防止のために、再生画像の一時停止状態やGUI表示(「見るナビ」画面など)が無操作で約15分続くと、テレビ画面などに戻る機能です。
追っかけ再生中、TVお好み再生中は再生一時停止から再生になります。
この機能を「入」にしておくと、本機がフリーズしても15分ほど放置しておくと復帰できる場合があります。

切：
ブラウン管保護機能は働きません。

入：
ブラウン管保護機能が働きます。

この機能は、テレビ画面の焼付き防止を保証するものではありません。

バックカラー

放送のないチャンネルを選んだときなど、映像入力信号のないときの画面の色を選びます。

切：色を設定しません。

黒：黒の画面色が設定されます。

青：青の画面色が設定されます。

お願い

- 受信の状態などによっては、映像が見えるときにバックカラーが働いたり、映像が見えないときにバックカラーが解除されることがあります。バックカラーの途切れが気になるときは「切」にしてください。

各種操作設定

終了時お知らせ音設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

ダビングなどを終了するときのブザー音の有無を設定します。

切：
ブザー音は鳴りません。

入：
ブザー音が鳴ります。

お知らせ

- リモコンからの予約転送エラーの際など、警告のためのブザー音はこの設定にかかわらず消せません。

リモコンモード

リモコンのモードを設定します。当社製の2台のDVDビデオレコーダーを使うときはそれぞれ異なったリモコンモードに設定すると、誤動作の防止に役立ちます。
設定の詳細は、準備編「本機のリモコンでテレビを操作する」(準備編55ページ)をご覧ください。

DVD1：DVD2

ワンタッチスキップ設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

「ワンタッチスキップ」ボタンを押すごとにスキップする幅を選びます。

5秒：10秒：30秒：5分

ワンタッチリプレイ設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVD-VIDEO VCD CD

「ワンタッチリプレイ」ボタンを押すごとに戻る幅を選びます。

5秒：10秒：30秒：5分

タイトルサムネイル設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

録画したタイトルの最初からどのくらい経過した場面をタイトルのサムネイルにするかを選びます。

0秒：3秒：10秒：35秒：1分：5分

お知らせ

- サムネイルは他の場面にも変更できます。97ページをご覧ください。

タイトル再生設定

DVD-RAM

最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させるかどうかを選びます。

タイトル毎レジューム：
最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させ、そこから再生を始められます。

タイトル連続再生：
DVD-RAMディスクのそれぞれの中にあるタイトル(オリジナル、プレイリスト)を通して再生できます。タイトルの壁がないので停止位置は最後の一箇所を記憶します。
タイトル毎のレジュームはなくなり、DVD-RAMにタイトルが一つになります。

スチル集再生速度

DVD-RAM

静止画集を再生するときの、静止画1枚あたりの表示時間を設定します。表示の単位は秒です。

1秒：2秒：3秒：5秒：10秒：ディスク指定値

(つづく)

録画機能設定

録画・画質/音質設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

録画するときの画質と音質を組み合わせて(5通りまで)、録画先ごとにあらかじめ決めておけます。
ここでの設定が、通常録画、および録画予約時の初期値として使われます。

例

画質・音質の組み合わせを作る

1)方向ボタンで、項目(「モード」、「レート」、「音質」)を選ぶ

2)「値変更」ボタンを押して設定を変える

画質・音質の組み合わせを使う

1)「値変更」ボタンで設定を変える

選んだ設定で録画できる時間の目安は、画面下部で確認できます。

2)「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 組み合わせの変更は、停止中、または「ディスク一覧」画面の「クイックメニュー」からの「録画・画質/音質設定」の選択でもできます。いずれからの変更も、本機の設定を更新します。
- 「SP」「LP」に設定すると「L-PCM」は選べません。
- 音質設定により、画質設定のレートの上限が異なります。
- 画質のマニュアルレートは、2.0から9.2の間で0.2刻みで設定できます。(1.4から2.0の間は設定できません。)

録画映像モード

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

テレビ放送や外部入力の映像信号の明るさを調整します。
(本機の「映像・音声設定」の「映像調整」(177ページ)で調整しきれない場合に使用してください。)

お願い

この設定は録画される映像信号に影響し、録画後に設定を変更しても録画済みの映像は元に戻りませんのでご注意ください。
VHSテープからダビングするときなど、事前に画像の記録状態が確認できる場合は、設定を変更しながらしばらく再生して明るさを確認し、その上で決定されることをお勧めします。

標準:
本機で受信した信号や外部入力からの信号の明るさを、自動的に調整して記録します。通常はこの設定でご使用ください。

モード1:
白とびなど画面が明るすぎた場合に暗くして記録します。

モード2、3、4:
数字が大きくなるにしたがって徐々に明るくなります。明るさの調整にご使用ください。

録音入力レベル

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

録画時の音声入力レベルを設定します。
方向ボタン(▲/▼)で、設定する項目を選び、方向ボタン(◀/▶)で入力レベルを設定します。

VHF/UHF	(L)	地上放送の左チャンネル
	(R)	地上放送の右チャンネル
入力0(VTR)	(L)	VTR→DVDダビング時の左チャンネル
	(R)	VTR→DVDダビング時の右チャンネル
外部入力1〜2	(L)	外部入力端子の左チャンネル
	(R)	外部入力端子の右チャンネル

DVD-Video記録時画面比

DVD-RW DVD-R

DVD-R/RWディスクに録画するときの画面比を設定します。

4：3固定：
アスペクト比を4：3で固定します。

16：9固定：
アスペクト比を16：9で固定します。

お知らせ

- 録画・画質設定がレート1.4Mbpsに設定されているときは、本設定を16：9固定に設定している場合でも自動的に4：3固定で録画されます。

DVD互換モード

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

録画するときに、DVD-Video規格で記録できるような形（映像や音声などの情報）で録画をするかどうかを設定します。

切：
「切」に設定してDVD-RAMに録画すると、主音声と副音声の両方が記録できます。

入（主音声）：
DVD-R/RWに記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、主音声だけをステレオ音声とみなして記録します。

入（副音声）：
DVD-R/RWに記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、副音声だけをステレオ音声とみなして記録します。

お知らせ

- DVD-R/RWへ録画するときは、「切」に設定されている場合でも「入（主音声）」で録画されます。
- 画質のマニュアルレートが3.0から3.8のときは、「入」に設定すると、「切」の場合よりも画質が下がる場合があります。
- 「クイックメニュー」からもDVD互換モードが設定できます。

DVD-Video時チャプター分割

DVD-RW DVD-R

DVD-R/RW録画時に、設定した間隔で自動的にチャプター分割するかどうかを選びます。

切：チャプター分割を設定しません。

5分、10分、15分、20分：チャプター分割の間隔を4種類（5分,10分,15分,20分）のうちから選びます。

お知らせ

- チャプター数が上限に達したときは、チャプター分割されません。チャプター数の上限はディスクの状態によって変わります。

録画DNR

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

ノイズの多い映像からノイズを低減する3次元デジタルノイズリダクションのレベルを、映像に合わせて選びます。

切：3次元デジタルノイズリダクションは働きません。

弱：効果は弱く働きます。

強：効果が強まります。

お知らせ

- 「録画DNR」を「弱」または「強」、「3次元Y/C分離」を「入」に設定すると、入力によってどちらが優先されるかが異なります。S映像端子の入力のときは「録画DNR」が、内蔵チューナーや映像端子入力のときは「3次元分離」が優先されます。VTR→DVDダビング時、L-O入力時には、「録画DNR」が優先されます。

3次元Y／C分離

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

録画時に働く3次元デジタルフィルターによるY/C（輝度／色）分離で、ドット妨害やクロスカラーを低減させます。

切：
この機能は働きません。
電波の受信状態が悪い地域での受信映像や残像が気になる場合にはこちらに設定します。

入：
この機能が働きます。
通常はこの状態に設定してください。

お知らせ

- 「切」のときは、ロジカルコムフィルターによりY/C分離を行います。
- 「録画DNR」の「お知らせ」もご覧ください。

（つづく）

管理設定

ジャンル設定

DVD-RAM DVD-RW DVD-R

よく使うジャンル名をメニューに登録しておけます。ここで登録したジャンル名が、クイックメニューの「ジャンル変更」に表示されます。

1) 方向ボタン(▲/▼)で「現在ジャンル一覧」から変更したい項目を選び、「決定」ボタンを押す

ジャンルグループの選択画面が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で登録したいジャンルを含むグループを選び、「決定」ボタンを押す

ジャンル名の選択画面が表示されます。
「グループ選択」の次ページを選択したいときは、方向ボタン(▶)を押します。

3) 方向ボタン(▲/▼)でジャンル名を選び、「決定」ボタンを押す

選んだジャンルが「現在ジャンル一覧」で選んだ項目の場合に設定されます。

4) 1)〜3)を繰り返してジャンル名を登録する

5) 登録が終わったら、「B」ボタンを押して「管理設定」のメニューに戻る

待機時省エネ設定

電源が切れている間(待機状態)に本体表示部を消灯させるかどうかを選びます。

切：
消灯しません。

セーブ：
待機状態時に自動的に消灯します。

DVD-RAM物理フォーマット

DVD-RAM

➡33ページをご覧ください。

録画画質設定と音声設定

画質設定	音質設定		
	DD D /M1	DD D /M2	L-PCM
SP	○	○	×
LP	○	○	×
マニュアル	○	○	○
ジャスト	○	○	○

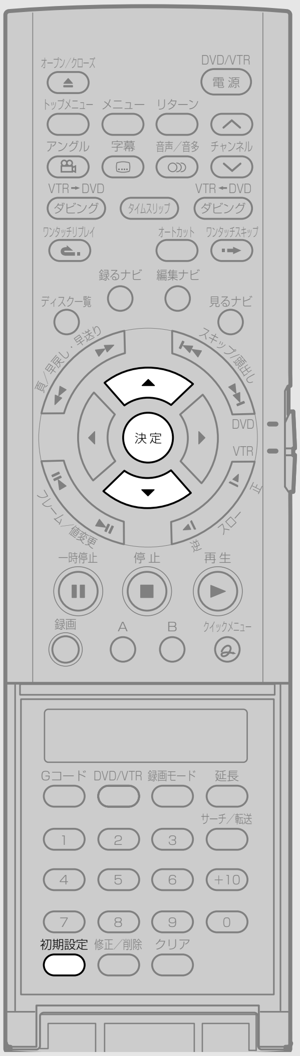
ビデオの機能をお好みに設定する(VTR)

本機の便利な機能の設定をお好みに合わせて変えることができます。

■ 準備

- テレビの電源を入れ、本機のVTR/DVD共用出力に接続している入力に切り換えてください。
- リモコンのDVD/VTR操作切換スイッチを「VTR」にしてください。
- 「出力切換」ボタンを押して出力をVTR側に切り換えてください。

お好みの設定に変える

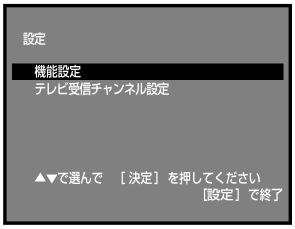


ふたをあける

1 「初期設定」ボタンを押す

VTR側の設定画面が表示されます。

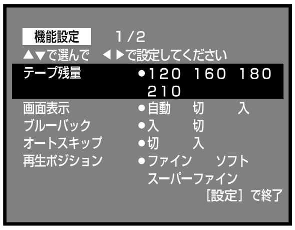
例



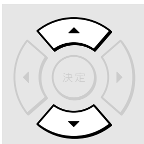
2 「決定」を押す

機能設定画面が表示されます。

例

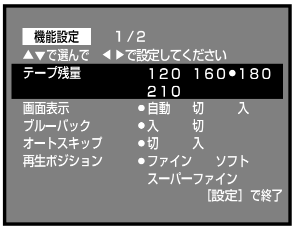


3 方向ボタン(▲/▼)を押して、設定したい項目を選ぶ



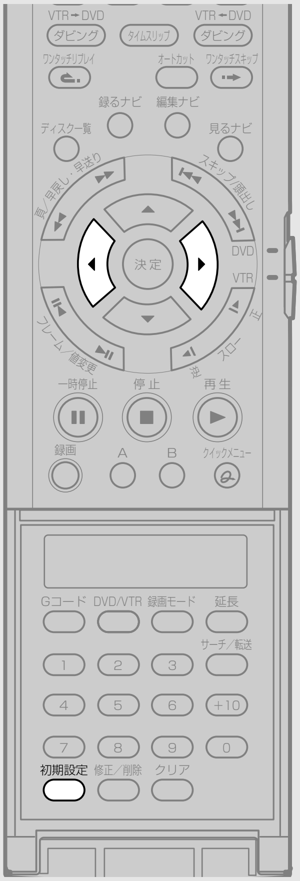
機能設定画面は2画面あります。カーソルが最後まで移動すると、次画面になります。

例



(つづく)

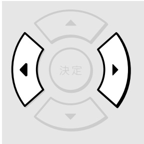
ビデオの機能をお好みに設定する(VTR)(つづき)



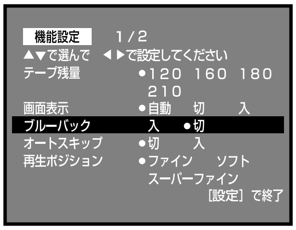
ふたをあける

（つづき）

4 方向ボタン(◀/▶)を押して、●マークを変更したい設定に合わせる



例



5 設定が終わったら、「初期設定」ボタンを押す

- 画面の右下に“[設定]で終了”と表示されていますが、「初期設定」ボタンで終了という意味です。

お知らせ

- ブルーバックが「入」のとき、次の場合に画面はブルーになります。
  ーアンテナが接続されていないとき
  ー電波が弱いとき
  ー受信できる放送がないチャンネルを選局したとき
  ー信号のない外部入力を選んだとき
- ブルーバックを「切」にしたとき、画面表示の文字が乱れることがあります。

各設定項目の詳細

項　目	設　定 (●は出荷時の設定)	設　定　内　容	説明ページ
テープ残量	●120 160 180 210	テープの残量時間を正しく計算するため、使用するテープの長さに合わせる。	⇨48ページ
画面表示	●自動	テレビ画面に操作モードなどの文字を5 秒間表示する。	⇨27ページ
	切	テレビ画面に文字を表示しない。	
	入	操作モードなどの文字を常に表示する。 (普通の再生画面やテレビ放送受信画面などのとき以外は、5秒間で表示は消えます。)	
ブルーバック	●入	放送のないチャンネルを青い画面にする。	⇨186ページ 「お知らせ」
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」にする。	
オートスキップ	●切	オートスキップを動作させせないとき。	⇨145ページ
	入	コマーシャルを飛ばして見たいとき。	
再生ポジション	●ファイン	通常の再生画面。	⇨142ページ
	ソフト	レンタルテープなど、ノイズを減らしたいとき。	
	スーパーファイン	細かい部分の再現性を上げて、くっきりした画像で見たいとき。	
リモコンモード	●ＶＴＲ１	VTR1 のモードで操作するとき。	準備編 ⇨59ページ
	ＶＴＲ２	VTR2 のモードで操作するとき。	
ダブルナビ	●入	ダブルナビ機能が動作します。	⇨133ページ
	切	ダブルナビ機能が動作しません。	

その他

- 故障かな…？と思ったら
- 本体表示窓のエラー表示
- 録画可能時間一覧表
- 言語コード表
- 仕様
- アスペクト比（画面比）について
- 索引

故障かな…？と思ったら

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

電源

■ 電源がはいらない

- 電源コードが抜けている。
  → 電源コードをしっかり差し込む。

テレビの接続

■ テレビの映像が出ない

- 本機とテレビをつなぐ接続コードが抜けている、もしくははずれかけている。
  → 本機とテレビとの接続コードをしっかり差し直す。
- テレビ側の入力切換が間違っている。
  → 本機が接続している入力端子にテレビの入力切換を合わせる。

テレビの受信

■ テレビが映らない

- アンテナ線がはずれている。
  → アンテナ線を差し直す。

■ テレビがきれいに映らない

- チャンネルの設定またはチャンネルの調整がずれている。
  → チャンネル設定またはチャンネル微調整を再設定する。（⇨準備編33、48ページ）
- アンテナ線がはずれかけている。
  → アンテナ線をしっかり差し込む。
- 電波が弱い。
  → アンテナの設置方向を調整するか、市販のアンテナブースターを使用する。

再生

■ DVDやCDの再生ができない

- 記録されているフォーマットが未対応である。または本機で再生できるリージョン番号でない。
  → ディスクを確認する。
- ディスクに汚れまたは傷が付いている。
  → ディスクの汚れを取る、または交換する。

■ DVDディスク再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある

- 以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。
  — 元の映像にブロックノイズがすでにある場合
  — 天候などにより、受信状態が悪化した場合
  — 画像レート設定が低い場合
  — 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合
  — DVDディスク上の物理エラーによる場合

  再生でDVDディスクからデータを読み出すときにエラーが発生すると、その部分でブロック状のノイズ（ブロックノイズ）が発生する場合があります。この現象は、エラーが発生した部分を何度も繰り返して読み出す（リトライ）と起こりにくくなりますが、そのかわりに再生が途中で遅くなったり止まったりする可能性が高くなるので、本機ではエラー発生時の読み直し回数を制限して、そのときの再生が遅れたり止まったりしないようにしています。

■ 画像がきれいに映らない

- 別のビデオで録画したテープを再生している。
  → トラッキングを調べる（⇨141ページ）
- ビデオヘッドが汚れている。
  → クリーニングテープでクリーニングする。（⇨13ページ）

記録

■ DVD-RAMディスクに記録ができない

- ディスクに誤消去防止がされている。
  → ディスクのライトプロテクトタブを「PROTECT」の反対側にする。（➡8ページ）
- パソコンや他社機でディスクにプロテクトがかけられている。
  → 設定した機器でプロテクトを解除する。
- ディスクの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する（➡53ページ）、もしくは新たなディスクを準備する。
- 初期化されていない。
  → ディスクを初期化する。（➡32ページ）
- 欠陥が多く発生している。
  → ディスクを物理フォーマットする。（➡33ページ）
- 物理フォーマットがされていない。
  → ディスクを物理フォーマットする。（➡33ページ）

■ テープに録画できない

- テープのツメが折れている。
  → ツメの折れていないテープを使うか、ツメを折った穴をセロハンテープなどでふさぐ。（➡25ページ）

予約

■ 録画予約ができない

- 時計の時刻設定がされていない。
  → 時刻設定をする。（➡準備編32ページ）
- 予約内容がいっぱいになった。
  → どれか予約を取り消す。（➡47、126ページ）
- テープが走行中にVTR側の予約を転送した。
  → VTR側の予約の転送は、テープを止めてから転送する。

■ Gコード予約が正しく働かない

- 地域番号またはガイドチャンネルが正しく設定されていない。
  → 地域番号またはガイドチャンネルを正しく設定し直す。（➡準備編33、36、48、50ページ）

リモコン

■ リモコンがきかない

- リモコンの電池が消耗している。
  → 電池を交換する。（準備編14ページ）
- リモコンが受光部に向けられていない。
  → リモコン送信部を本機受光部に向ける。
- リモコンと受光部が遠すぎる。
  → 約7m以内のところで操作する。
- リモコンと受光部の間に障害物がある。
  → 障害物を取り除く。
- DVD/VTR操作切換スイッチが合っていない。
  → 操作したい側にDVD/VTR操作切換スイッチを合わせる。
- リモコンモードが合っていない。
  → 本機とリモコンのリモコンモードを合わせる。（準備編57、59ページ）
- 本機がリモコンオフモードになっている。
  → リモコンオフモードを解除する。（準備編58、61ページ）
- リモコン受光部に強い光があたっている。
  → リモコン受光部に強い光があたらないようにする。

時計

■ 時計表示が「0:00」で点滅している

→ 販売店または「東芝修理ご相談センター」にご連絡ください。

本体表示窓のエラー表示(DVD)

DVDモードではメッセージ画面表示と同時に本体表示窓にもエラーの表示が出ます。
以下の表は、エラー表示の一部です。
「ERR－＊＊」で、＊＊の部分にエラーコードが表示されます。エラーの内容を確認してください。この表示を消すには、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

エラー表示	エラーの内容	
ERR−01	物理フォーマットのエラーを検出	
ERR−04	ディスク情報取得／書込み失敗を検出	
ERR−2E	メニュー作成中エラーまたはメニューエンコードエラー	・DVD-R/RWへの録画時
ERR−2F	メニューサイズオーバー	
ERR−30	メニュー数の上限オーバー	
ERR−31	ドライブとメディアの相性により、書き込み修復を実施	
ERR−32	ディスクのフォーマットモードに互換性がない	
ERR−33	ディスクへの書き込みが禁止されている	
ERR−34	書き込み不可または管理情報エラー	
ERR−35	録画前に空き容量チェックによるディスクオーバー	
ERR−36	録画失敗（タイトルは残らない）	
ERR−37	録画失敗（タイトルは残る）	
ERR−38	書き込み失敗（タイトルは残らない）	
ERR−39	書き込み失敗（タイトルは残る）	
ERR−3A	予期せぬエラー	

お知らせ

- 上記以外のエラー表示で動作に支障のある場合は、「東芝家電修理ご相談センター」（➡裏表紙）へご確認ください。

録画可能時間一覧表(DVD)

音質レート 画質レート	DD D /M1(192kbps)		DD D /M2(384kbps)		L-PCM		備考
	DVD-RAM		DVD-RAM		DVD-RAM		
	時間	分	時間	分	時間	分	
1.4	06	07	05	28	03	21	
2.0	04	22	04	02	02	44	DD D /M2時のLPの画質モードです。
2.2	04	01	03	44	02	36	DD D /M1時のLPの画質モードです。
2.4	03	43	03	28	02	28	
2.6	03	27	03	14	02	21	
2.8	03	14	03	02	02	14	
3.0	03	02	02	52	02	08	
3.2	02	51	02	42	02	03	
3.4	02	42	02	34	01	58	
3.6	02	33	02	26	01	53	
3.8	02	26	02	19	01	49	
4.0	02	19	02	13	01	45	
4.2	02	13	02	07	01	41	
4.4	02	07	02	02	01	38	DD D /M2時のSPの画質モードです。
4.6	02	02	01	57	01	35	DD D /M1時のSPの画質モードです。
4.8	01	57	01	52	01	32	
5.0	01	52	01	48	01	29	
5.2	01	48	01	44	01	26	
5.4	01	44	01	41	01	24	
5.6	01	40	01	37	01	21	
5.8	01	37	01	34	01	19	
6.0	01	34	01	31	01	17	
6.2	01	31	01	28	01	15	
6.4	01	28	01	26	01	13	
6.6	01	26	01	23	01	11	
6.8	01	23	01	21	01	09	
7.0	01	21	01	19	01	08	
7.2	01	18	01	16	01	06	
7.4	01	16	01	14	01	05	
7.6	01	14	01	13	01	03	
7.8	01	12	01	11	01	02	
8.0	01	11	01	09	01	00	L-PCM時のマニュアル最高値です。
8.2	01	09	01	07			
8.4	01	07	01	06			
8.6	01	06	01	04			
8.8	01	04	01	03			
9.0	01	03	01	01			
9.2	01	01	01	00			マニュアルモードの上限値

- 本一覧表は録画時間を保証するものではありません。
- DVD-RAMディスクが初期化状態で連続録画した場合の録画可能時間です。ディスクによって表示が若干ばらつくことがあります。
- 録画後の残量は、本一覧表に書かれた時間から録画時間を引いた時間にはなりません。
- 録画された映像や音声の状態によって、使用される容量は異なります。
- 録画後のDVD-RAMディスクの残量は、本機の残量表示機能で確認できます。

DD D /M1、DD D /M2は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。設定1としてDD D /M1はDolby Digital 192Kbps、設定2としてDD D /M2はDolby Digital 384Kbpsとなっています。

言語コード表

記号	言語名
ーーー	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語

記号	言語名
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	エスキモー語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語

記号	言語名
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語

記号	言語名
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

仕様

■ 動作時消費電力
37W

■ 待機時消費電力
4.5W(待機時省エネ設定：切)
1.5W(待機時省エネ設定：セーブ)

■ 電源
AC100V　50/60Hz

■ 質量
6.4kg

■ 外形寸法
幅430×高さ97×奥行351mm

■ 受信チャンネル
VHF：1～12CH、UHF：13～62CH、
CATV：C13～C63CH

■ アンテナ入出力端子
VHF/UHF：75Ω　F型コネクター

■ 信号方式
日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

■ DVD

● 使用レーザー
半導体レーザー　波長650nm/780nm

● 規格
DVD-VR規格
DVD-Video規格

● 録画方式
MPEG2

● 録音方式
ドルビーデジタルM1／M2、リニアPCM

■ 録画使用ディスク
DVD-RAMディスク
(片面：4.7GB／両面：9.4GB)

DVD-R/RWディスク
(片面：4.7GB)

■ VTR

● 録画方式
回転2ヘッドアジマス記録、VHS規格

● 録音方式
ハイファイ方式(2チャンネル)(従来の音声トラックへはモノラル録音)

● テープ速度
標準モード：33.35mm/s、
3倍モード：11.12mm/s

● 録画(録音)・再生時間
標準モード：2時間、3倍モード：6時間
(T-120使用時)

● 早送り／早戻し時間
約1分／約46秒(T-120使用時)

● 音声周波数特性
20Hz～20kHz(ハイファイ時)

● ダイナミックレンジ
90dB以上(ハイファイ時)

● ワウ・フラッター
0.005%(rms)以下(ハイファイ時)

■ 映像入力
1.0Vp−p (75Ω)、同期負、ピンジャック×2系統、背面1、前面1

■ 映像出力
1.0Vp−p (75Ω)、同期負、ピンジャック×2系統、背面2

■ S映像入力(入力1のみ S1対応)
(Y) 1.0Vp−p (75Ω)、同期負

(C) 0.286Vp−p (75Ω)

ミニDIN4ピン×2系統、背面1、前面1

■ S1映像出力
(Y) 1.0Vp−p (75Ω)、同期負

(C) 0.286Vp−p (75Ω)

ミニDIN4ピン×1系統、背面1

■ D1/D2映像出力

14ピン、2列、1.27mmピッチ、出力信号D1/D2
Y出力 1.0Vp−p（75Ω）
C_B出力 0.7Vp−p（75Ω）
C_R出力 0.7Vp−p（75Ω）

背面1

■ 音声入力

2.0V（rms）、50kΩ以下、ピンジャック（L、R）×2系統
背面1、前面1

■ 音声出力

2.0V（rms）、200Ω以上、ピンジャック（L、R）×2系統
背面1

■ 音声出力（ビットストリーム／PCM光音声出力端子）

光コネクター×1系統、背面1

■ DV入力端子

4ピン×1系統、前面1
（IEEE1394準拠）

■ リモコン

ワイヤレスリモコン（SE-R0114）

■ 使用条件

温度：5°C〜35°C、動作姿勢：水平

■ 時計表示

24時間デジタル表示

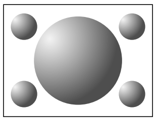
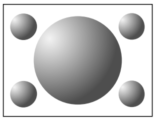
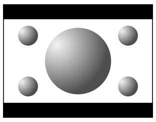
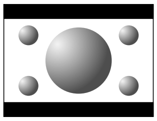
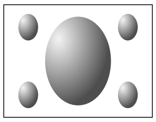
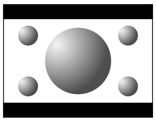
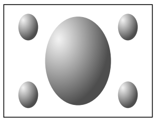
■ 時間精度

クォーツ方式（月差約±30秒程度）

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。

アスペクト比(画面比)について(DVD)

アスペクト比とは、映像を構成する一定の縦横比で、4:3放送とワイド放送（スクィーズ放送、レターボックス放送）があります。放送の収録時にはこれらの異なるアスペクト比の素材が存在し、テレビ側でこのアスペクト比を変換して表示しています。

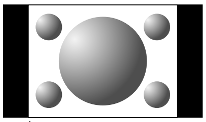
放送で送られてくる映像	4:3テレビで再生する場合
4:3放送（通常放送）  通常は4:3または「ノーマル」と呼ばれています。 （地上波、アナログBS、CATV、CS放送、BSデジタル放送）	 収録した映像をそのまま画面いっぱいに再生します。
ワイド放送（レターボックス放送）  ハイビジョンやワイドサイズで撮影した映像を、DVDやLD、一部のビデオソフトに編集する際に上下に黒い帯を入れることによってノートリミングで収録したものです。 （地上波、アナログBS、CATV、CS放送、BSデジタル放送）	 放送そのものが上下に黒い部分を含んでいるため、その状態でだけ再生できます。
ワイド放送（スクィーズ放送）  16:9のワイド映像を放送時に左右方向を縮めてほぼ4:3の比率で放送し、受信したワイドテレビ側で引き伸ばすことで16:9を復元します。 （BSデジタル放送）	■「4:3LB」時（○）  ■「16:9ワイド」時（×）  スクィーズ記録された映像の場合、本機の初期設定の「TV画面形状」の設定に応じて表示のしかたが変わります。「4:3LB」の場合、上下に黒い帯がはいるレターボックス状態となり、画面は正常な比率で表示されます。4:3テレビの場合はこの設定にしてください。「16:9ワイド」を選択しますと画面が縦長に見える状態となりますので、設定を「4:3LB」にしてください。設定が「4:3LB」にもかかわらず、画面が縦長につぶれたように見える場合、録画時に正しくスクィーズ信号が記録されていないことになります。S1出力対応の外部チューナー端子から、本機のS1対応の入力端子に接続されているかどうかご確認ください。

お知らせ

- 本機では、アナログBSの機能はサポートしていません。

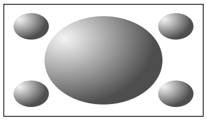
ワイドテレビで再生する場合

▼「ノーマル」時（○）



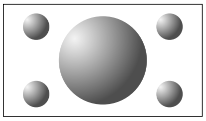
＊

▼「フル」時（×）

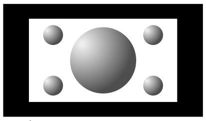


テレビの設定によって表示のしかたは変わりますが、「ノーマル」などで表示した場合、左右に黒い帯がはいった状態となり、「ワイド」などの設定の場合、無理やり引き伸ばされたように表示されます。

▼「ズーム」時（○）

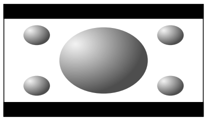


▼「ノーマル」時（△）



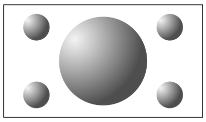
＊

▼「フル」時（×）

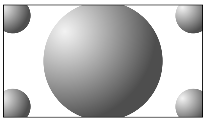


「ズーム」などの設定にすることにより、上下左右の黒い部分を除いて拡大することで、正常かつ画面いっぱいのワイド映像を楽しむことができます。テレビ側の設定が「ノーマル」などの場合、放送そのものが上下に黒い部分を含んでいるため、上下の黒い帯に加えてテレビ側が付加する左右の黒い部分が加わった状態となり、アスペクトは正常となります。テレビ側の設定が「フル」の場合、上下の帯はそのままにさらに左右に引き伸ばされた状態となります。

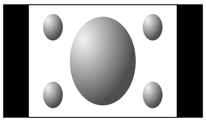
▼「フル」時（○）



▼「ズーム」時（×）



▼「ノーマル」時（×）



ほぼ4:3に縮めて収録した映像の左右方向だけをテレビ側の設定によって16:9に左右引き伸ばして再生します。テレビの設定は「フル」などの名称のものになっている必要があり、「ズーム」などの場合には、上下左右が欠けた映像になりますので、ご注意ください。「ノーマル」などの場合、左右につぶれた状態となり、さらに左右に黒がテレビによって追加されます。

■：本機側の設定　▼：テレビ側の設定

＊ 16:9シュリンク（⇨準備編45ページ）に設定し、再生した場合は、テレビ側で設定しなくてもこのような画面になります。

● アスペクト比（画面比）に関する注意点について

録画する際は、放送に含まれるスクィーズ情報に応じてGOPと呼ばれる約0.5秒単位ごとに4:3か16:9であるという区別を書き込んでいます。
本機内蔵チューナーで録画する場合は、常に4:3の放送しかありませんが、BSデジタル放送などはスクィーズ放送が多数あり、一部のチャンネルでは番組直前の宣伝と番組で4:3と16:9が切り換わることがあるため、外部チューナーやデジタルテレビから本機に入力して録画する場合には注意が必要です。

DVD-RAMに録画する場合、放送側でこの情報が切り換わっても、約0.5秒の単位内と続く約1秒は先に来た情報で記録され、実際の映像と異なる場合がありますが異なる画面比を混在して記録することができます。

DVD-R/RWはDVD-Videoモードの制約により、通常の4:3放送と16:9のスクィーズ放送が1タイトル内に混在することが許されません。（タイトルごとに異なるアスペクト比になることは問題ありません）そのため、録画する番組ごとに「DVD-Video記録時画面比」（⇨183ページ）を正しく設定する必要があります。
通常の4:3放送で上下に黒い帯がはいる場合は、ワイドではなく、単なる4:3放送ですので、「16:9固定」に設定しないでください。

索引

DVDの操作

数字・アルファベット順

1/20分割ジャンプ 67
A－Bリピート 80
DV連動録画 110
DVD-RAM物理フォーマット 33
DVD-Videoファイナライズ 106
DVD互換モード 183
DVDドライブソフトウェア 173
Gコード 50
P in P再生 72
TVお好み再生 65

あいうえお順

あ

アングル切換 73
一時停止 39、63
一括削除 102
インスタントダイジェスト再生 58
イントロスキャン 59
映像調整 177
映像調整選択 177
追っかけ再生 66
オリジナルタイトル結合 104
音声／音多切換 76

か

カラオケボーカル 175
ガイドチャンネル 準備編37、39、52
クイックメニュー 26、80
コマ送り／コマ戻し 69

さ

最高画質レート容量節約 46
再生 57
サムネイル設定 97
残量計算 48
残量表示 31
字幕切換 74
ジャンル設定 127、184
終了後電源切る 48
初期設定 170
状態表示 78
スチル集再生速度 181
スロー再生 68
ズーム 75
静止画 69
全タイトルORG（オリジナル）再生 59
全タイトルORG（オリジナル）リピート 59
ソフトウェアバージョン 173

た

待機時省エネ設定 184
タイトル毎レジューム 58、181
タイトル削除 53
タイトル情報 60
タイトル名入力 60
タイトルランダム 80
タイトルリピート 80
タイトル連続再生 59、181
タイムサーチ 71
タイムバー表示 79
チャプター削除 53
チャプター作成 87
チャプター名入力 91
チャプターランダム 80
チャプターリピート 80
チャンネル設定 準備編33
チャンネルを換える 22
ディスク一覧の表示 164
ディスク情報 61
ディスク内ダビング 100
ディスクの初期化 32
ディスクの登録 166
ディスク番号削除 167
ディスクリピート 80
電源の入/切 22、23
トラックランダム 80
トラックリピート 80
録るナビ 43

は

バーチャルサラウンド設定 179
早送り／早戻し 67
番号指定サーチ 70
ビットレート表示 82
プレイリスト編集 92
別タイトル再生 39
編集ナビ 104、106、110

ま

見るナビ 57
無音部分チャプター分割 46
メモリ 81
メモリリスト 81

や
予約ディスク 52
予約の延長 47
予約の変更 47

ら
録画 30
録画・画質/音質設定 45、182
録画映像モード 182
録画予約の削除 47

わ
ワンタッチスキップ 67
ワンタッチリプレイ 67

VTRの操作

数字・アルファベット順
2倍速再生 143
Gコード予約 118
S—VHS簡易再生(SQPB) 141

あいうえお順

あ
頭出しサーチ 148
一時停止 115、144
延長(ナイター延長) 131
オートカット 116、128
オートスキップサーチ 145
音声/音多切換 150

か
ガイドチャンネル 準備編39、52
カウンターリセット 146
画面表示の見方 27
機能設定 185
誤消去防止用ツメ 25
コマ送り再生 144

さ
再生 140
残量時間 146
ジャンルの設定 127
ジャスト録画 128
終了時刻の設定 115
スロー再生 144

た
タイマー録画の終了 130
ダビング 159
チャンネル設定 準備編 48
チャンネルを換える 22
録るナビ 133
録るナビデータの取消し 136
トラッキング調整 141

な
ノイズを少なくする 142

は
早送り/早戻し 143
標準・3倍 114
ブルーパック 187

ま
見るナビ 151
未録部を探す 115
メニュー画面 185

よ
予約 121
予約の確認・修正 124
予約の取り消し 126

ら
留守録再生 141
録画 114
録画エンド 115
録画モード 114

わ
ワンタッチスキップ 142
ワンタッチリプレイ 142

メモ

インフォメーション

D-VR1に関する取扱い方法などのお問い合わせ

『RDシリーズサポートダイヤル』

0570-00-0233

電話受付：月～金 10：00～18：00
（12：30～13：30は休止、年末年始、祝日等を除く）
※FOMA・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

■ ホームページ上によくあるお問合せ情報を掲載しておりますのでご利用ください。

『http://www.rd-style.com/support/』

本機に関する最新の情報やお知らせなどが記載されておりますので、東芝ホームページをご覧いただくことをお勧めいたします。

http://www.toshiba.co.jp　または　http://www.rd-style.com/

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品について

- 当社は、VTR一体型DVDビデオレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品名	VTR一体型DVDビデオレコーダー	
形名	D-VR1	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　—

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル トーシバ ヨイ
0120-1048-41
電話受付：365日・24時間受付

新製品などの商品選びのご相談
(操作に関するご質問は本取扱説明書203ページに記載のRDシリーズサポートダイヤルにお問い合わせ願います。)

『東芝DVDインフォメーションセンター』

フリーボイス **0120-96-3755**
携帯電話からのご利用は 0570-00-3755
(PHS・FOMAなど一部の電話ではご利用になれません)
月～土 10：00～20：00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)
日曜日・祝日 10：00～16：00(年末年始、当社指定夏季休業日等を除く)

※フリーダイヤルまたはフリーボイスは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1-1-1

古紙配合率70%再生紙を使用しています

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

79100470
Ⓗ PM0014838011